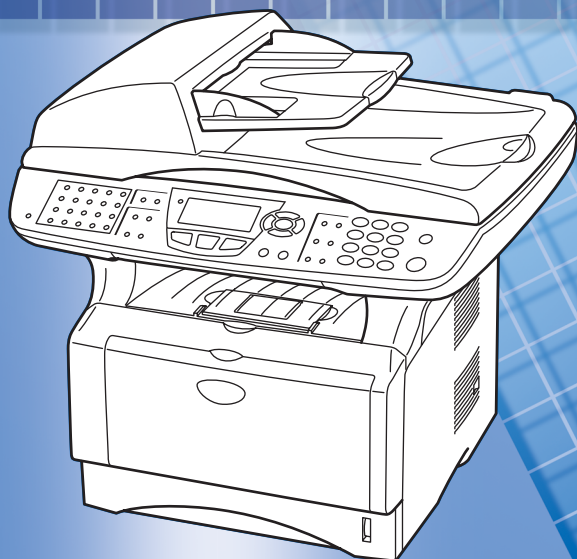
SPEEDIA CP-B300F

取扱説明書（ファクス&コピー編）

製品の基本的な説明と、パソコンにつながないで使えるファクスとコピーの機能について説明しています。
パソコンにつないで使うプリンタとスキャナの機能についての説明はCD-ROM内に収録の取扱説明書（パソコン活用編）をご覧ください。

やりたいことがすぐ探せる！ やりたいこと目次 18P

プリンタを設置・操作する前によくお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発･普及させることを目的とします。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エコマーク認定商品

本機は、地球環境に配慮した製品として、財団法人　日本環境協会によるエコマークの認定を取得しています。

VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラスⅠレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検･調整･修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

ご　注　意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載する事を禁止します。
(2) 本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。
(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバの「ヘルプ」もしくはテキストファイル「README.TXT」に記載される事があります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。

http://www.casio.co.jp/ppr/

(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響につきましては、(4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造および、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用した事等に起因して生じた障害及び、トラブル等につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(8) 重要な原稿は ADF（自動原稿送り装置）を使用しないでください。あらかじめコピーした原稿をご使用ください。万一 ADF（自動原稿送り装置）のトラブルにより原稿が汚損した場合、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(9) 本機の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。

安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

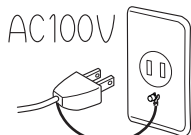
	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水に濡らしてはいけません		火気に近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		
	特定しない危険通告		感電の危険があります		火災の危険があります		やけどの 危険があります

ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

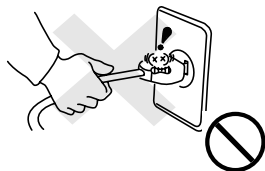
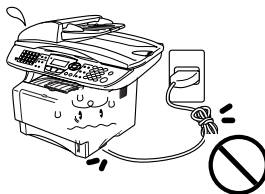
電源について

火災や感電、やけどの原因になります。

警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。

国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

タコ足配線はしないでください。

アース線を取り付けてください

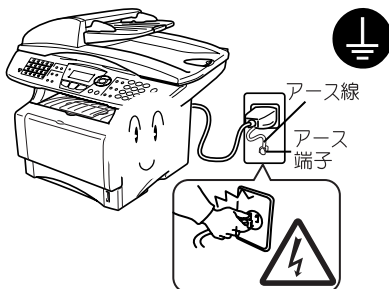
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース端子にアース線を取り付けてください。アース線のない延長用コードを使用しないでください。
保護動作が無効になります

■取り付けられるところ

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
- 設置工事（第３種）が行われている設置端子

■絶対に取り付けてはいけないところ

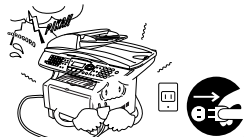
- 電話専用アース線
- 避雷針

■アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。感電、発熱や火災の原因となります。

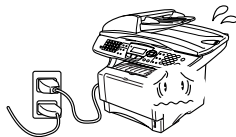
電源コードに傷が付いたときは、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口（インレット）に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因となります。

注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードも本機から抜いてください。

電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

このような場所に置かないで

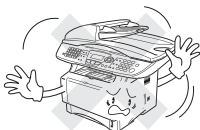
以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

警告

湿度の高い場所
ふろ場や加湿器のそばなどに置かないでください。

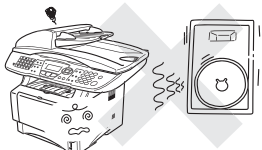
注意

温度の高いところ
直射日光のあたるところ、暖房設備のそばなど。

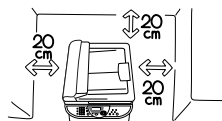
不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

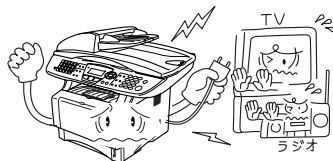
磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 ～ 32.5 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

壁のそば
本機を正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所
◎じゅうたんやカーペットの上
◎大切な家具などの上

電波障害時の対処
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

・本機をテレビから遠ざける。
・本機またはテレビなどの向きを変える。
・本機をコードレス電話の親機から遠ざける。

もしもこんなときには

下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

警告

煙が出たり、異臭や異音がしたとき

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理や注油は危険ですから絶対におやめください。

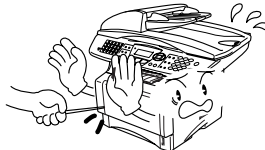
本機を落としたり、キャビネットを破損したとき

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に水が入ったとき

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

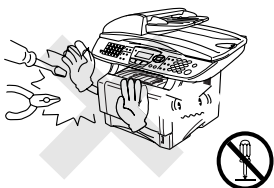
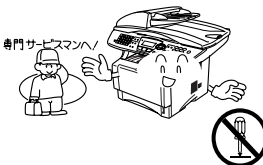
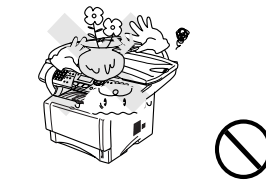
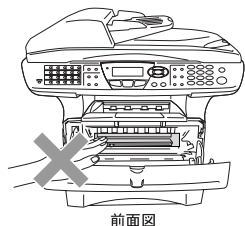
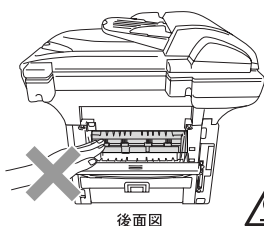
内部に異物が入ったとき

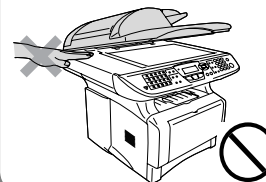
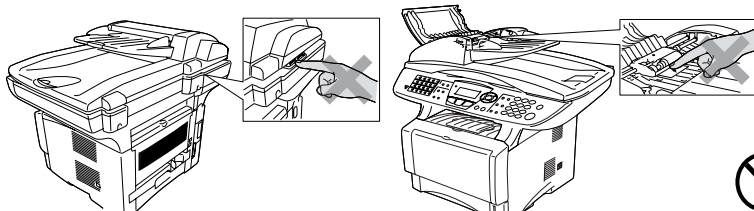
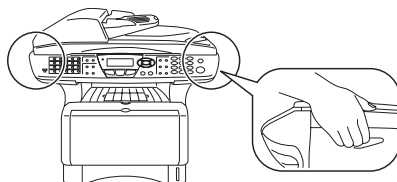
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

連休などで長期間使用しないときは、安全のために必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

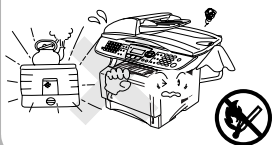
その他のご注意

故障や火災、感電、やけど、けがの原因となります。

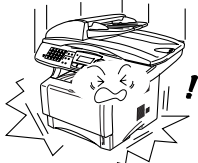
警告

分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。

改造しないでください。
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

本機の上に水、薬品などを置かないでください。

図の網掛け部を触らないでください。

前面図

後面図

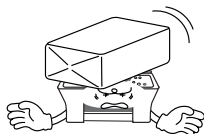
原稿台カバーのはしで手をはさまないようにしてください。

図に示す所に指を入れないでください。

本機を持ち運ぶときは、両サイドの下の図に示す場所を持ってください。本機の底面を持たないでください。

注意

火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

トナーやドラムに毒性はありませんが、トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で洗い流し、眼科医の診断を受けてください。
子供の手の届かないところに保管・設置してください。

! お願い

落下、衝撃を与えないでください。

動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

記録紙の排出の妨げになりますので本体前方には物を置かないでください。

本機の上に重い物を置かないでください。

室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

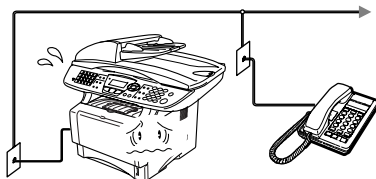
指定以外の部品は使用しないでください。

本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店、営業所へご相談ください（116 番）。

1つの電話回線に並列接続すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。

停電がおきたときは

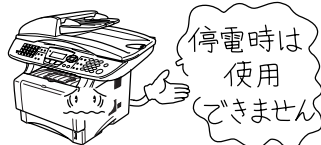
！ お願い

●次のデータはバッテリーで保持するメモリーに保存しており、停電後２～３日間保持されます。
・送信メモリー文書
・通信管理レポート
・受信メモリー文書

●次のデータは不揮発性メモリーに保存していますので停電しても保持されます。
・ワンタッチダイヤル
・短縮ダイヤル
・グループダイヤル
・各種登録・設定の内容

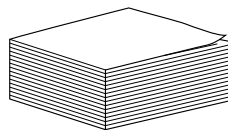
停電復旧時について
２～３日間以上停電が続いた場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

停電中はファクスの送受信ができません。

本機の機能はすべて使用できなくなります。外付電話機は使用できる機器もあります（外付電話機の取扱説明書をご覧ください）。

記録紙について

! お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

	かんたん設置ガイド 本機を使用するための準備について記載しています。
	取扱説明書（ファクス & コピー編）（本書） ファクスやコピーのしかた、本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	 CD-ROM　取扱説明書（パソコン活用編） 付属の CD-ROM に収録されている「PDF マニュアル」です。 プリンタ、スキャナなど、パソコンと接続して使う機能について記載しています。 **CD-ROM　ネットワーク設定説明書** 付属の CD-ROM に収録されている「PDF マニュアル」です。 LAN などのネットワークに接続してご使用になるときの本機やパソコンの設定方法について記載しています。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

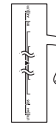
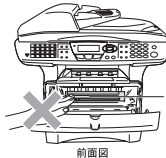
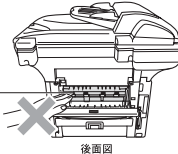
マークについて

注意	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P. XXX	参照先を記載しています（XXX はページ）。
P. XXX	CD-ROM に収録の「パソコン活用編」の参照先を記載しています。

商標について

Windows® 95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中では Windows NT® 4.0 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

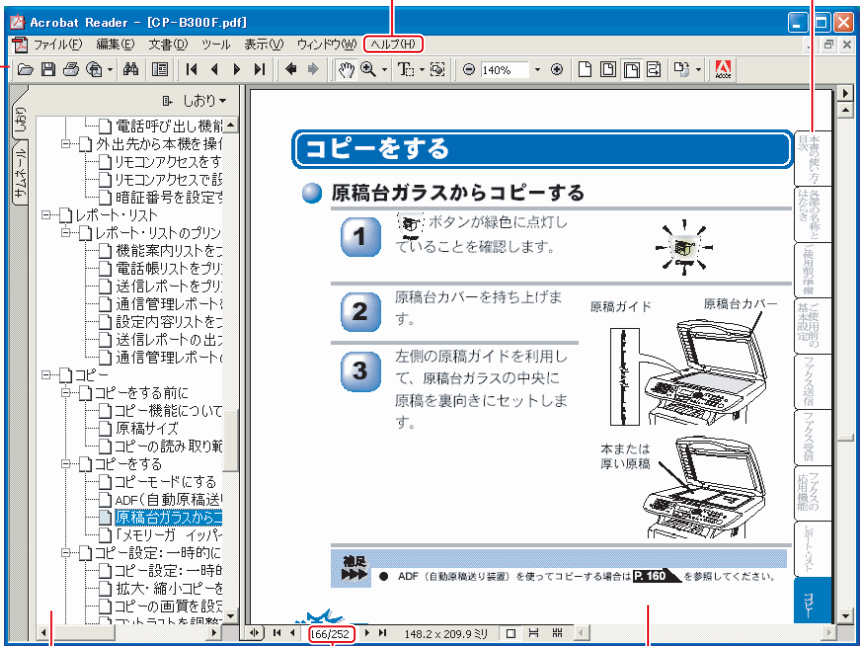
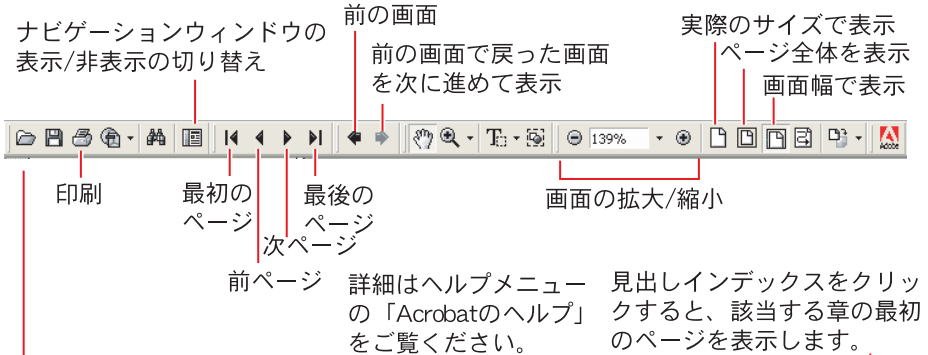
本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

奇数ページでは中見出しを、偶数ページでは章を示します。

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Acrobat Reader の表示画面と操作

付属CD-ROMに収録のPDFマニュアルをお読みになるためのAcrobat Readerの表示画面と操作を簡潔に説明します。

ナビゲーションウィンドウ
この例のように[しおり]タブで見出しを表示している状態で見出しをクリックすると、該当するページを表示します。

現在のページ/総ページ
見たいページの数値を入力して表示させることができます。

文書内容が表示されます。

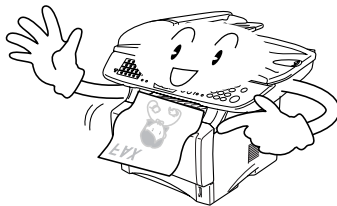
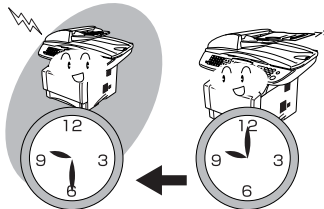
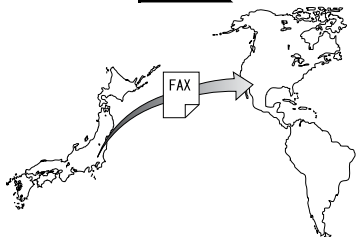
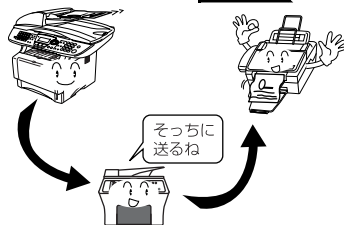
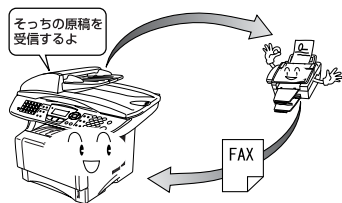
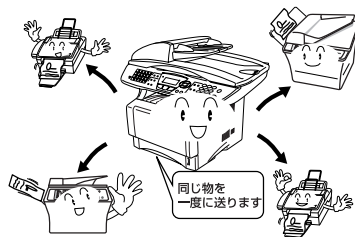
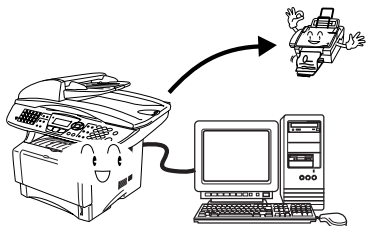
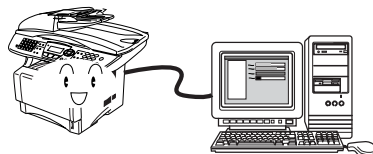
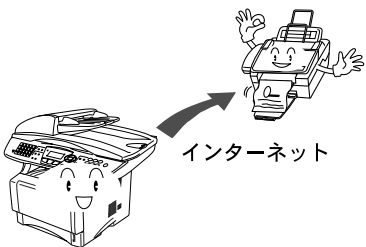
このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

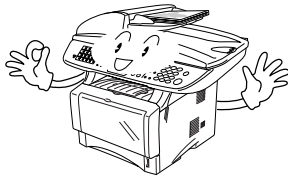
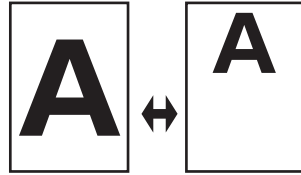
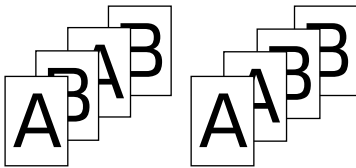
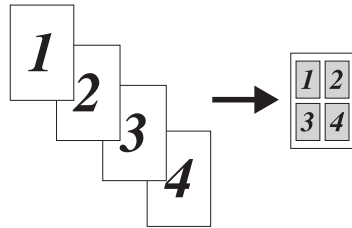
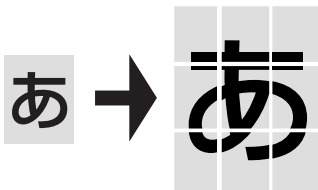
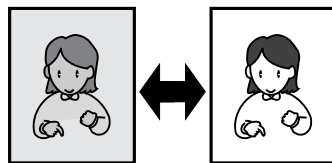
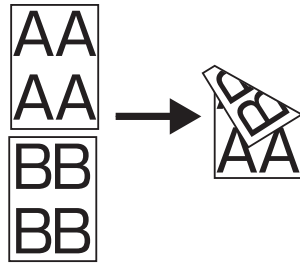
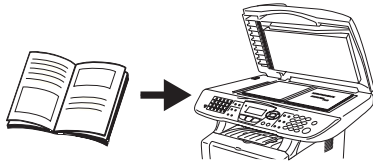
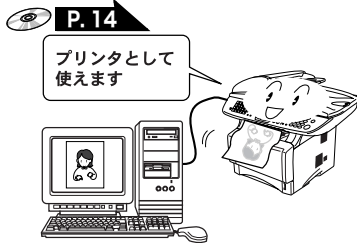
補足

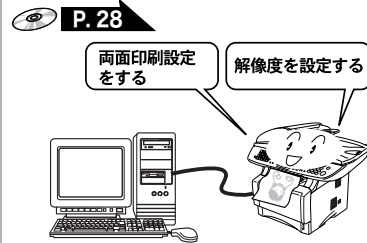
- Acrobat® Reader 5.0 または Acrobat® 5.0 をお使いの方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。
  ① PDF を開きます。
  ②ツールバーの [編集] メニューから [環境設定] を選択します。
  （Acrobat® 5.0 の場合は、ツールバーの [編集] メニューから [環境設定] ー [一般] を選択します。）
  ③画面左側の項目から [表示] を選択します。
  ④ [スムージング] の「ラインアートのスムージング」チェックボックスをチェックします。
  ⑤ [OK] をクリックします。

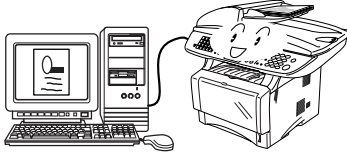
やりたいこと目次

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。
各機能をご利用になる前に「第２章 ご使用前の準備」を必ずお読みください。

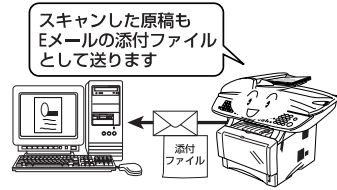
ファクス

受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。（ポーリング）P. 144

複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。（同報送信）P. 119

パソコンからファクスを送信したい。P. 68

パソコンを使って短縮ダイヤルなどの設定を簡単に行いたい。P. 75

インターネットを使用してファクスしたい。P. 198

コピー

たくさんの文書を連続コピーしたい。（ADF：自動原稿送り装置）P. 175

拡大 / 縮小コピーしたい。P. 180

効率よく複数部コピーしたい。P. 183

２枚または４枚の原稿を 1 枚の記録紙にまとめてコピーしたい。(2 in 1、4 in 1)P. 184

ポスターサイズにコピーしたい。P. 190

画質のコントラストを変えたい。P. 181

プリンタ

カスタム設定をしたい。

スキャナ

文字や写真をそのままパソコンのデータにしたい。（スキャンイメージ） P. 45

画像ファイルを E メールに添付して送りたい。 P. 44

スキャンした原稿も
Eメールの添付ファイル
として送ります

添付
ファイル

画像ファイルをテキストファイルに変換したい。
（スキャン OCR） P. 46

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議
の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議
の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

複数の原稿をまとめてスキャンしたい。
P. 44 P. 49
P. 54

その他

目　次

1章

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

①ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。P. 100

②シフトボタン

ワンタッチダイヤルの 21 ～ 40 を登録またはダイヤルするとき、このボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

③印刷機能ボタン

・セキュリティボタン

４桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。P. 22

・キャンセルボタン

プリンタのメモリーのデータを削除します。

④ファクス機能ボタン

・オンフックボタン

ファクスを手動送信するときに押します。P. 98

・ファクス画質ボタン

ファクス送信する原稿に合わせて、解像度を一時的に設定するときに押します。P. 113

・電話帳 / 短縮ボタン

短縮ダイヤルでダイヤルするときに使用します。

また、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている電話番号を検索するときに押します。P. 103

・再ダイヤル / ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。P. 101

ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

⑤ステータス（Status）ランプ

本機の状態をランプの色と点滅によって表します。P. 32

⑥液晶ディスプレイ

年月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。

⑦モード選択ボタン

・ファクスボタン

本機をファクスモードにします。

・コピーボタン

本機をコピーモードにします。

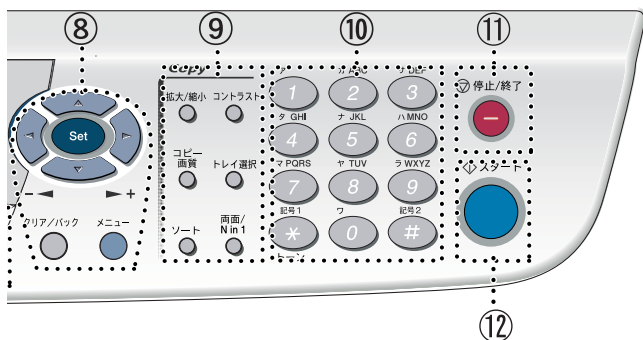
・スキャンボタン

本機をスキャンモードにします。

⑧ナビゲーションキー P. 66

・

各種データを登録するときに押します。

・

メニューから選択肢を指定する際、これらのボタンを押せば、前・次のレベルのメニューに移動します。
スピーカーやベルの音量を調節するときにも使用します。

・

メニューや選択項目をスクロールするときに押します。
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている番号を検索する場合にも使用します。

・クリア／バックボタン
入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

・メニューボタン
メニューを表示させる場合に押します。

⑨コピー機能ボタン

・拡大 / 縮小ボタン
拡大 / 縮小コピーをするときに押します。P. 180

・コントラストボタン
コピーを淡くまたは濃くとる設定を一時的に変更するときに押します。

・コピー画質ボタン
コピーの画質を一時的に変更するときに押します。P. 181

・トレイ選択ボタン
トレイを一時的に選択するときに押します。

・ソートボタン
ソートコピーするときに使用します。P. 183

・両面 /N in 1 ボタン
両面コピーP. 187 および 1 枚の記録紙に複数原稿のコピーP. 184 ／ 1 枚の原稿をポスターコピーするときに押します。P. 190

⑩ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、発信元データなどの文字入力をするときに押します。

⑪停止／終了ボタン

ファクス送信または操作を中止するときや機能設定を終了するときに押します。

⑫スタートボタン

ファクスの送受信やコピー、スキャンを開始するときなどに押します。

ステイタスランプについて

本機の状態をランプの色と点灯／点滅によって表します。

ランプ	本機の状態	説　明
消灯	スリープモード状態	電源スイッチがオフになっているかまたはスリープモードの状態です。
緑 点滅	ウォーミングアップ中	印刷のためのウォーミングアップ中です。しばらくお待ちください。
緑 点灯	印刷可能状態	印刷やコピーが可能です。
黄 点滅	データ受信中	パソコンからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。
黄 点灯	プリンタメモリーに印刷データあり	メモリーに印刷データが残っています。
赤 点滅	サービスエラー	この状態のときは、本機の電源を切り、数秒後電源を入れてください。 それでも赤点滅が止まらないときは、カシオテクノ・コールセンター　0570-033066 へご連絡ください。P. 226
赤 点灯	カバーオープン	カバーが開いています。カバーを閉じてください。
	トナー切れ	トナー切れです。トナーカートリッジを交換してください。P. 218
	記録紙エラー	記録紙をトレイにセットしてください。（「かんたん設置ガイド」参照） または紙づまりのチェック・処置をしてください。P. 206
	スキャナロック	スキャナのロックレバーが解除されているか、確認してください。（「かんたん設置ガイド」参照）
	その他	液晶ディスプレイの表示を確認してください。P. 227
	メモリーフル	メモリーがいっぱいです。メモリー内容を印刷するか、メモリーの内容を消去してください。P. 125　P. 149

各部の名称

本体

☞次ページへ続く

拡張ペーパフィーダ（オプション）

2章

ご使用前の準備

記録紙について

推奨する記録紙

記録紙種類	記録紙名	坪量
普通紙	富士ゼロックスオフィスサプライＰ紙	64g/m^2

記録紙トレイ用記録紙の規格

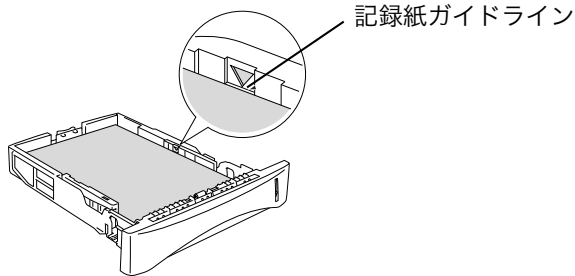
項目	規格
坪量	普通紙　：60g/m^2 ～ 105g/m^2 はがき　：官製はがきと同等
厚さ	普通紙　：0.08mm ～ 0.13mm はがき　：官製はがきと同等

多目的トレイ用記録紙の規格

項目	規格
坪量	普通紙　：60g/m^2 ～ 161g/m^2 はがき　：官製はがきと同等
厚さ	普通紙　：0.08mm ～ 0.2mm はがき　：官製はがきと同等
封筒	洋形４号と同等、または洋形定型最大と同等

セットできる記録紙枚数

給紙方法	種類	記録紙枚数
記録紙 トレイ	普通紙（64g/m^2）	約 250 枚 (オプションの拡張ペーパフィーダ約 250 枚) P. 197
	OHP フィルム	約 10 枚
	官製はがき	約 30 枚
多目的 トレイ	普通紙（64g/m^2）	約 50 枚
	OHP フィルム	約 10 枚
	官製はがき	約 10 枚
	封筒	約 3 枚

■ 記録紙トレイの最大積載は高さ 27mm(記録紙ガイドの▼マークまで) です。記録紙がガイドラインを超えないように記録紙をセットしてください。

■ 排紙トレイにスタックできる枚数は普通紙(64g/m^{2}紙)の場合、約150枚です。

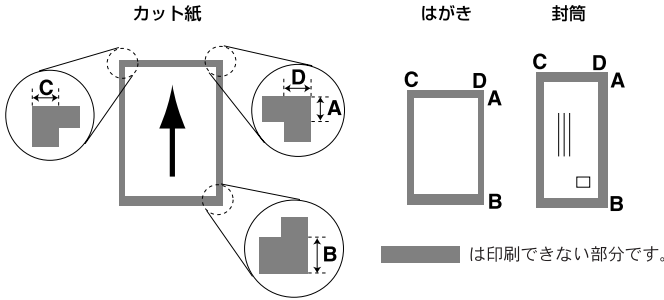
使用できる記録紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスは A4 サイズでのみ印刷できます。

給紙方法	種類	サイズ
記録紙トレイ	普通紙	A4、US レター、B5、A5
	OHP フィルム	A4、US レター
	官製はがき	官製はがきまたは同等品 （100 mm × 148 mm）
多目的トレイ	普通紙	A4、US レター、B5、A5、カスタムサイズ （幅 69.8mm ～ 220mm、長さ 116mm ～ 356mm）
	OHP フィルム	A4、US レター
	官製はがき	官製はがきまたは同等品 （100mm × 148mm）
	封筒	洋形 4 号、洋形定型最大

- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 宛名ラベル、OHP フィルムなどは、レーザープリンタ用の物をお使いください。
- 最高の印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 本機は再生紙を使用できます。

記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

種類	サイズ	モード	A	B	C	D
カット紙	A4	ファクス	3.0	3.0	1.0	1.0
		コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
		プリンタ	5.0	5.0	5.0	5.0
官製はがき	はがき	コピー	3.0	3.0	2.0	2.0
		プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2
封筒	洋形４号	プリンタ	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

- 印刷できない部分の数値（表中の A、B、C、D）は、概算値ですので、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。
- 特殊な記録紙をご使用になる場合は、必ず印字テストを行ってください。
- OHP フィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように 1 枚ずつ抜き取ってください。
- A4 幅を超える記録紙（レター等）の場合は、表中 C、D の数値が大きくなります。

注意

■ 一度、カラーコピーをした記録紙、またはカラーレーザープリンタで印刷した記録紙、インクジェット紙は、絶対に使用しないでください。

■ 一部をすでに使用した宛名ラベルやタック紙等の印刷は避けてください。故障の原因になります。

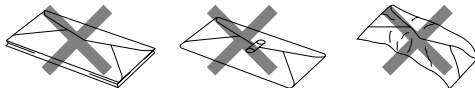
■ ビニールコーティングされた記録紙は絶対に使用しないでください。

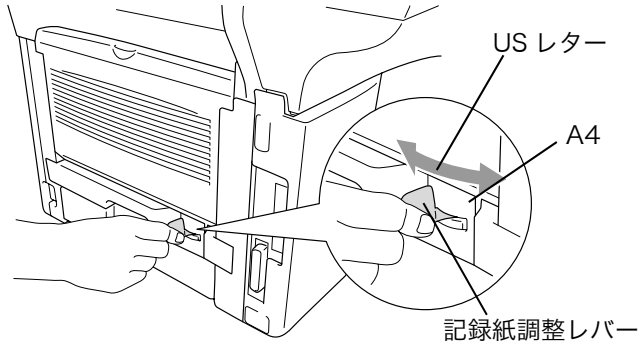
■ 極端に滑らかな記録紙は使用しないでください。

■ ルーズリーフなど穴の開いた記録紙を使用する前は、紙をよくさばいて、給紙がスムーズになるようにしてください。

■ 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。

■ 以下のような封筒は使用しないでください。

- 長形封筒
- 傷がついていたり、カールしていたり、しわが入っている封筒
- 規格外の封筒
- 表面に光沢があったり、表面がすべりやすい封筒
- 留め金付きの封筒
- エンボス加工（紙に凹凸がある）を施した封筒
- ふたに粘着のりが付いた封筒
- 一度レーザープリンタで印刷された封筒
- マチ付きの封筒
- 内側にすでに印刷されている封筒
- きちんと折り目が付いていない封筒
- 積み重ねたときに、一定に積み重ねられない封筒

記録紙調整レバーについて

ファクス、コピー、プリンタの各機能で両面に印刷するときは、使用する記録紙に合わせて、記録紙調整レバーを正しくセットしてください。

回線種別を設定する

自動で回線種別を設定する

電話機コードと電源コードを接続すると、本機は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

2004/02/21 10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ ﾃﾞｽ

：プッシュ回線に設定されたとき

2004/02/21 10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾀﾞｲﾔﾙ 10PPS ﾃﾞｽ

：ダイヤル回線（10PPS）に設定されたとき

2004/02/21 10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPS ﾃﾞｽ

：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。かんたん設置ガイドを参照して、電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま10分以上放置すると、回線種別は「プッシュ回線」に設定されます。

2004/02/21 10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸ

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定については P. 43 を参照してください。

2004/02/21 10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｾｯﾃｲ ﾃﾞ ｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ

↓

2004/02/21 10:08
FAX=ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳ
ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合でも、上記のメッセージが表示されます。メッセージを消去するには、同様に手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

を押します。

で回線種別を選択します。

回線種別の表示を以下に示します。

- プッシュ回線のとき　　　　：プッシュ　カイセン
- ダイヤル回線 10PPS のとき：ダイヤル　10PPS
- ダイヤル回線 20PPS のとき：ダイヤル　20PPS
- 自動設定を行うとき　　　　：ジドウ　セッテイ

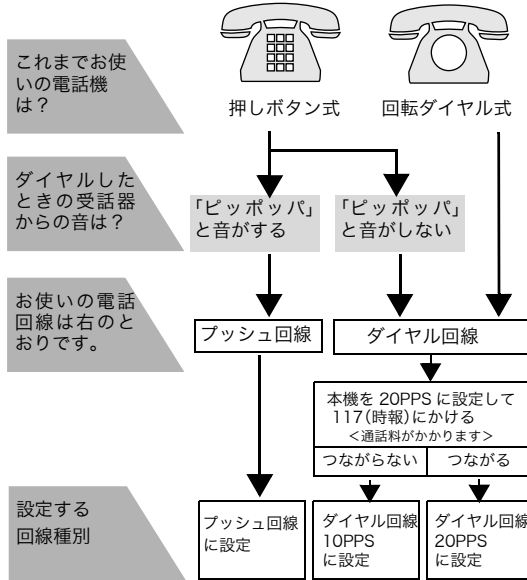
Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- プッシュ回線または ISDN 回線をお使いの場合は、「プッシュ　カイセン」を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP 電話対応機器（ADSL モデム、ルータ、IP フォンアダプタなど）に本機を接続する場合
  本機の回線種別設定は、NTT と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤル、携帯電話などに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口(116:無料)にお問い合わせください。

補足

- 電話回線には「プッシュ回線」と「ダイヤル回線（10PPS または 20PPS)」の 2 種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。
- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- 通話中は自動設定できません。
- いったん、自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

ご使用前の設定をする

日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がしてあれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1 メニュー 0（ワ） 2（カ ABC）を押します。

```
02.トケイ セット

 ネン:20XX
ニュウリョク/セットボ タン
```

2 年号（西暦の下2桁）を入力し、Set を押します。

・例：2004 年の場合は「04」

```
02.トケイ セット

 ネン:2004
ニュウリョク/セットボ タン
```

3 月を 2 桁で入力し、Set を押します。

・例： 2月の場合は「02」

```
02.トケイ セット
 2004/XX/XX
 ツキ:02
ニュウリョク/セットボ タン
```

4 日付を 2 桁で入力し、Set を押します。

・例：21 日の場合は「21」

```
02.トケイ セット
 2004/02/XX
 ヒヅ ケ:21
ニュウリョク/セットボ タン
```

5 時刻（24 時間制）を入力し、Set を押します。

例：午後 3 時 25 分の場合は「15:25」

```
02.トケイ セット
 2004/02/21 15:25

ウケツケマシタ
```

6 停止／終了 を押して登録を終了します。

補足

- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

```
2004/02/21  15:25
FAX =ファクスセンヨウ
オンライン スリープ
```

- 間違って入力した場合は、停止／終了 を押し、再度初めから入力し直してください。
- 長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう一度現在の日付と時刻に合わせてください。時刻はあくまで目安ですので、気になるときは１ヶ月おきに合わせてください。
- ２～３日間以上停電した場合は日付と時刻の再設定をしてください。

名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー ワ 0 サ DEF 3 を押します。

```
03.ハッシンモト トウロク
  ファクス:
ニュウリョク/セットボ タン
```

2 ファクス番号を入力し、Set を押します。

・20 桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

```
03.ハッシンモト トウロク
  ファクス:03 XXXXXXXX
ニュウリョク/セットボ タン
```

3 電話番号を入力し、Set を押します。

・20 桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

```
03.ハッシンモト トウロク
  ファクス:03 XXXXXXXX
  デ ンワ:03 XXXXXXXX
ニュウリョク/セットボ タン
```

4 名前を入力し、Set を押します。

・20 文字まで登録できます。

```
03.ハッシンモト トウロク
  ファクス:03 XXXXXXXX
  デ ンワ:03 XXXXXXXX
  ナマエ:スズ キ ケイコ
ウケツケマシタ
```

5 停止／終了 を押して登録を終了します。

補足

- ファクス番号、電話番号には数字しか入力できません。
- 入力した名前やファクス番号を消すときは、手順 2、3、4 でそれぞれカーソルをファクス番号や名前の末尾に ◀▶ を使って移動させ、クリア/バック を字数分押して入力済みの名前や番号を消します。文字入力のしかたについては P. 48 を参照してください。
- 入力を間違えたときは、◀▶ を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
- クリア/バック を押すと、カーソルが文字列の最後の後方にあるときはカーソルの左の 1 文字を削除します。カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の 1 文字を削除します。
- 発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと、送付書 P. 116 を送信することはできません。

発信元登録を消去する

1 メニュー 0 3 を押します。

```
03.ハッシンモト トウロク
  03XXXXXXXX
▲     1.ヘンコウ
▼     2.チュウシ
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

2 1 で「ヘンコウ」を選択します。

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:03XXXXXXXX
ニュウリョク/セットボ タン
```

3 クリア/バック を押して、登録されている文字をすべて消去します。

クリア/バック を押すと、カーソルが最後の文字列の後方にあるときはカーソルの左の 1 文字を削除します。カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の 1 文字を削除します。

```
03.ハッシンモト トウロク

  ファクス:
ニュウリョク/セットボ タン
```

を押します。

文字入力をする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

文字配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り当てられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割り当てられています。

押す回数 / ダイヤルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1						
カ ABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2								
サ DEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3								
タ GHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4							
ナ JKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5								
ハ MNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6								
マ PQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7							
ヤ TUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8							
ラ WXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9							
ワ 0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0										
記号1 *	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	−	.	/	€
記号2 #	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

基本的な文字入力のしかた

文字を入力するときは、次のような手順で入力します。例えば、発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

サ DEF 3 を3回押します。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03 XXXXXXXX
 デ ンワ:03 XXXXXXXX
 ナマエ:ス
ニュウリョク/セットボ タン
```

▶を押してカーソルを右へ移動します。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03 XXXXXXXX
 デ ンワ:03 XXXXXXXX
 ナマエ:ス_
ニュウリョク/セットボ タン
```

3

サ DEF 3 を3回、ワ 0 を4回押します。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03 XXXXXXXX
 デ ンワ:03 XXXXXXXX
 ナマエ:スズ_
ニュウリョク/セットボ タン
```

4

カ ABC 2 を2回押します。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03 XXXXXXXX
 デ ンワ:03 XXXXXXXX
 ナマエ:スズ キ
ニュウリョク/セットボ タン
```

5

▶を2回押してスペースを入力します。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03 XXXXXXXX
 デ ンワ:03 XXXXXXXX
 ナマエ:スズ キ _
ニュウリョク/セットボ タン
```

6

カ ABC 2 を4回、ア 1 を2回、カ ABC 2 を5回押します。

```
03.ハッシンモト トウロク
 ファクス:03 XXXXXXXX
 デ ンワ:03 XXXXXXXX
 ナマエ:スズ キ ケイコ
ニュウリョク/セットボ タン
```

補足

- 入力を間違えたときは、 を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。
  途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
- 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、 を押してカーソルを移動させて、文字を入力します。
- 数字と数字の間に空白を入れるときは、 を１回、文字と文字の間に空白を入れるときは、 を２回押します。
- クリア/バック を押すと、カーソルが文字列の最後の後方にあるときはカーソルの左の１文字を削除します。カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の１文字を削除します。

受信モードについて

受信モードの種類

本機の受信モードには以下の種類があります。

・ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける）
・自動切替モード（ファクスを自動で受ける）
・外付留守電モード（ファクスを自動で受ける）
・電話モード（ファクスを手動で受ける）

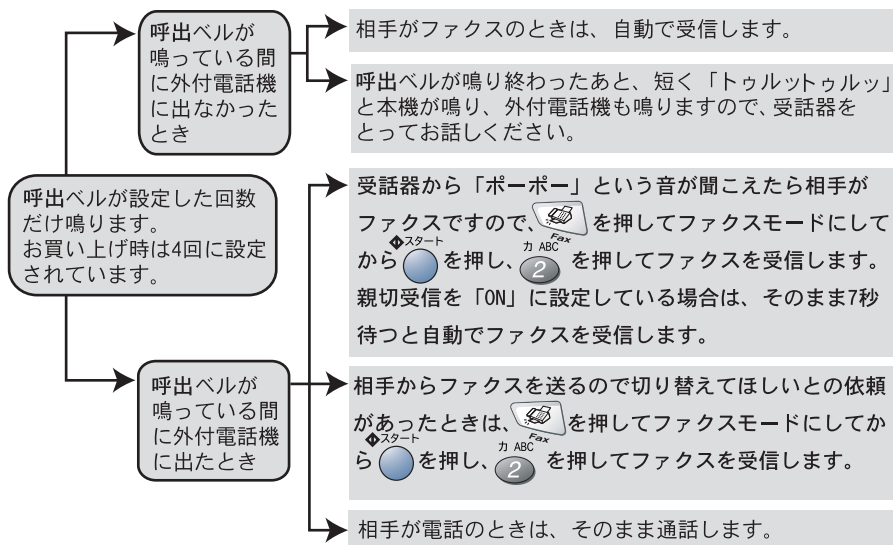
ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける）

本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足
- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。外付電話機をお使いになるときは、 ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0 ～ 10 回の中から選択できます。0 回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信（ノンコール受信）することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を 0 回か 1 回に設定してください。呼出回数の設定のしかたは P. 130 を参照してください。

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

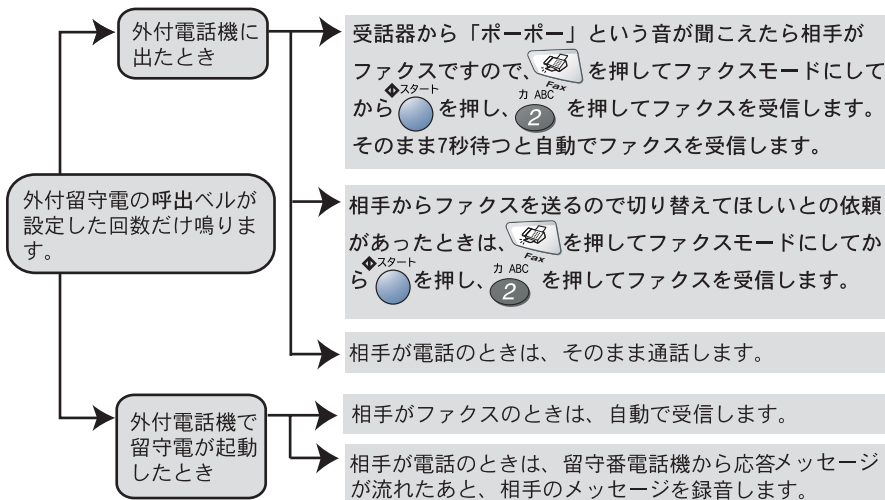
自動切替モード（ファクスを自動で受ける）

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは外付電話機を続けて呼び出す便利なモードです。
本機の外付電話端子（EXT.）にお使いの電話機が接続されていることが前提のモードです。

補足

- 呼出回数の設定のしかたは P. 130 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本機が着信すると外付電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは スタート を押し、カ ABC 2 を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「Off」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押し、カ ABC 2 を押してください。
- 相手が自動送信のファクスのときは呼出ベル（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまうことがあります。このようなときは呼出ベルを 6 回以下に設定してください。P. 130
- 一部の電話は呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。

外付留守電モード（ファクスを自動で受ける）

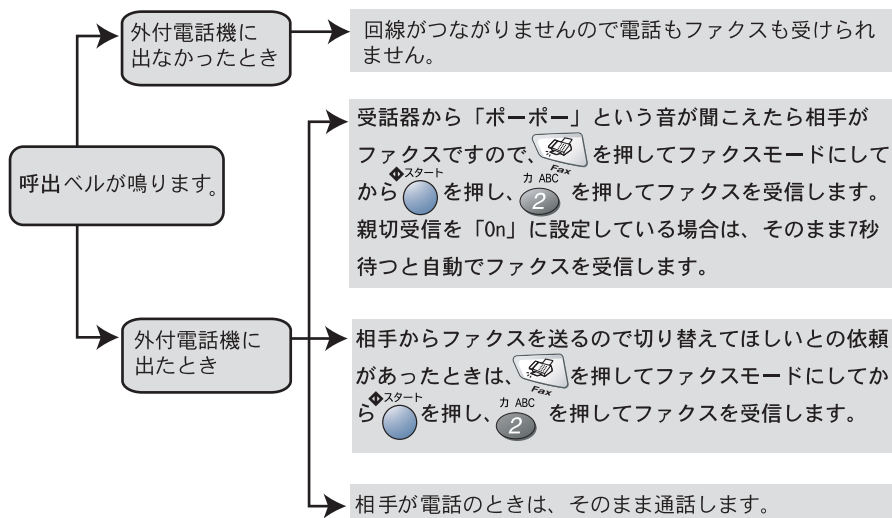
ファクスを自動で受けたい場合、また、外付けの留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。
本機の外付電話端子（EXT.）に留守番電話機が接続されていることが前提です。
留守中のファクスやメッセージに対応できる受信モードです。

補足

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

■ 外付留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

・ 外付留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
・ 応答するまでのベル回数は短め（1 ～ 2 回）に設定してください。
・ 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
・ 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
・ 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

電話モード（ファクスを手動で受ける）

主に、本機に接続した外付電話機を使う場合に適したモードです。本機の外付電話端子（EXT.）にお使いの電話機が接続されていることが前提のモードです。

補足

ファクス受信について

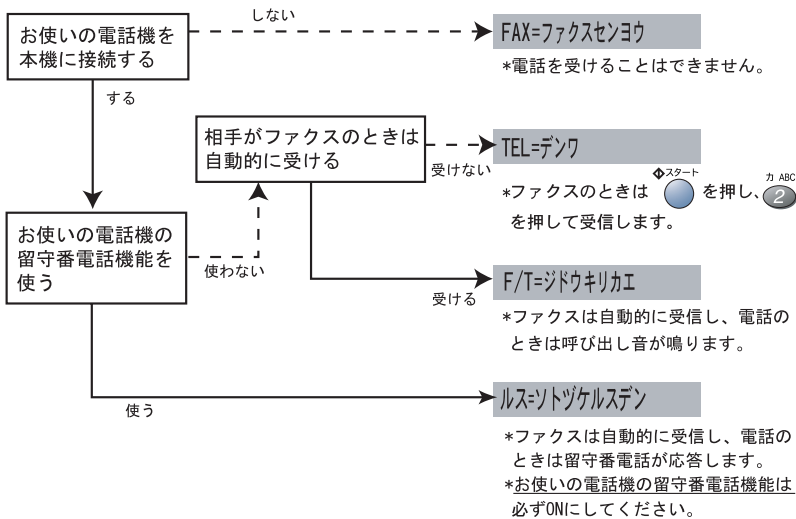
- 外付電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P. 134
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて スタート を押し、カ ABC 2 を押してください。親切受信が「On」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して スタート を押し、カ ABC 2 を押してください。

補足

キャッチホン契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの 116 番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホン II のご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選択します。

受信モードを設定する

1

を押します。

01.ジュシン モード
▲ FAX=ファクスセンヨウ ＊
F/T=ジドウキリカエ
▼ ルス=ソトヅケ ルスデン
▲▼デ センタク/セットボタン

2

でモードを選択します。

「ファクスセンヨウ」「ジドウキリカエ」「ソトヅケ　ルスデン」「デンワ」の中から選択します。

3

Set を押します。

4

停止／終了 を押して操作は終了です。

・設定後、待機状態表示になります。

2004/02/21 15:25
FAX=ファクスセンヨウ
ダイヤル/スタートボタン

補足

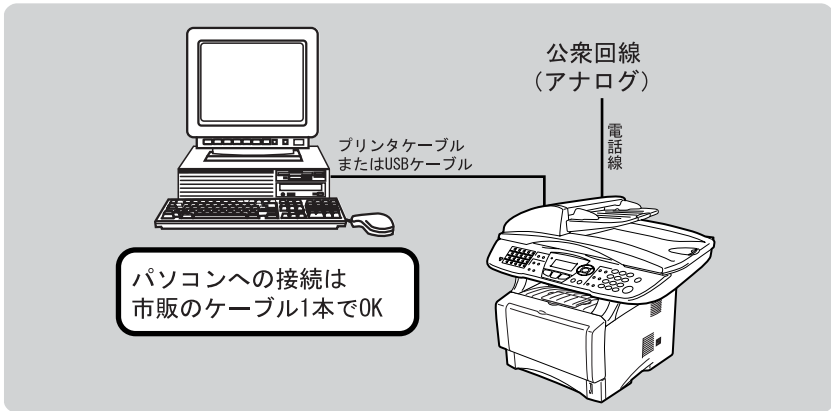
● 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「ファクスセンヨウ」モードに設定してあります。

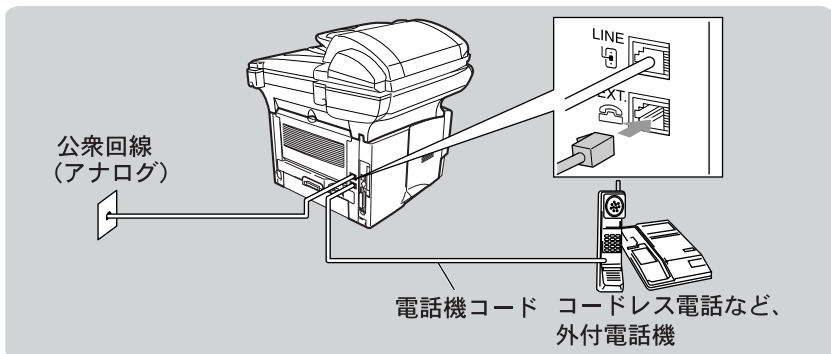
● 「ファクスセンヨウ」モード以外を設定した場合は、必ず外付電話機を接続してください。

本機の接続イメージ

本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。なお、お使いのパソコンがネットワーク接続されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

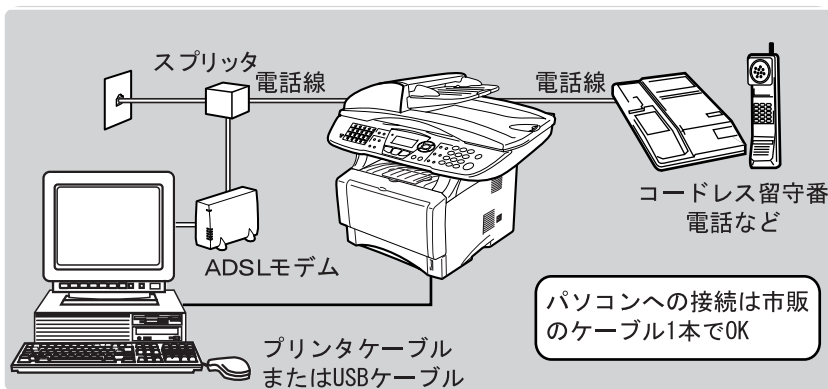
公衆回線に接続する場合（プリンタとファクスとして使う場合）

受信モードをファクス専用に設定します。

公衆回線に接続する場合（外付電話機を接続する場合）

外付電話機を接続し、電話番号１つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切替えに設定することをお勧めします。

補足

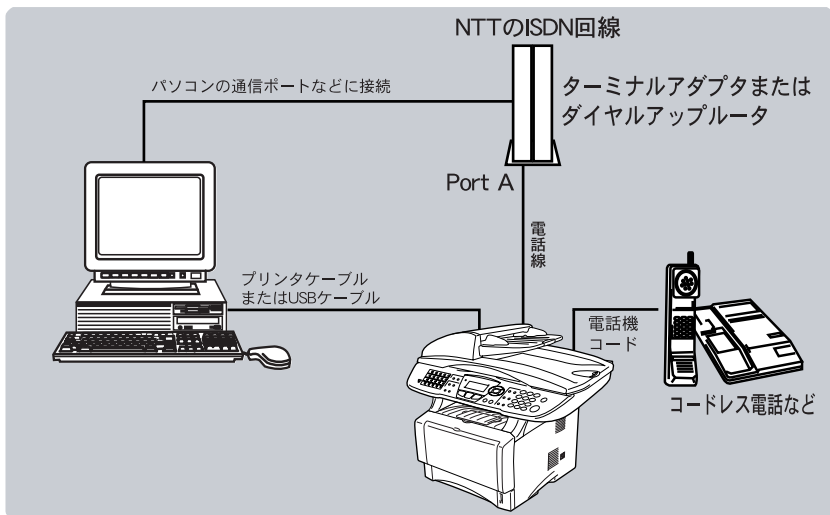
- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、最寄りの NTT 窓口（116 番）にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ソトヅケデンワ　ユウセン」に設定してください。
- 外付電話端子（EXT.) に接続できる端末（電話機など）台数は 1 台です。

ADSL（タイプ 1）環境に接続する場合

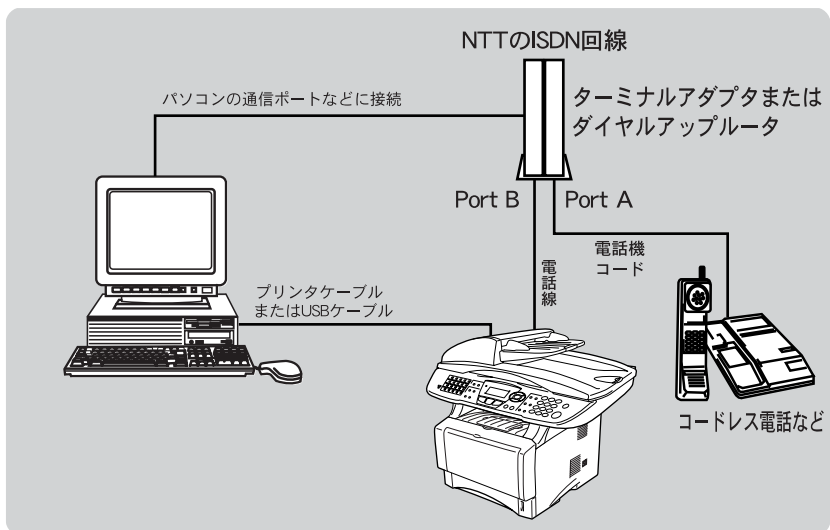
受信モードを自動切替えに設定します。

補足

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IP フォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
  IP 網で通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかない場合は、安心通信モードに設定を変えてください。P. 246

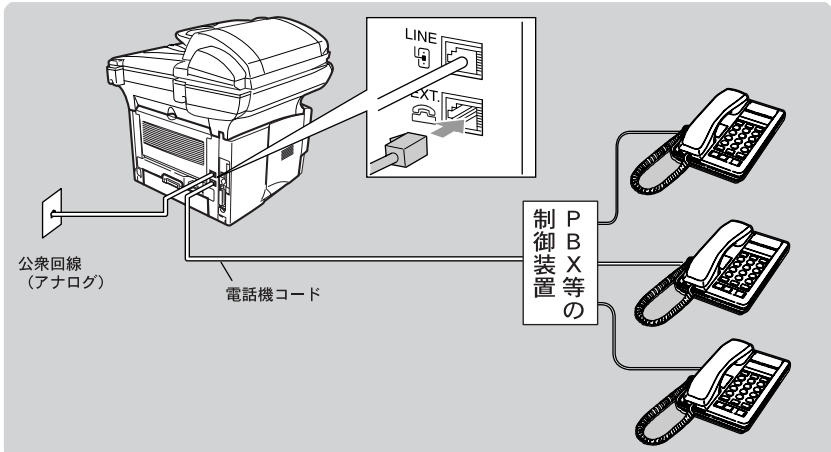
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つの場合）

電話番号が 1 つの場合は、受信モードを自動切り替えに設定します。電話とファクスの同時使用はできません。

ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つの場合）

2 回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードをファクス専用に設定します。

補足

- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN 回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - ・電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が 1 つの場合で、Port A に電話機を接続し Port B に本機を接続した場合 Port A/B 両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port A から B へ内線転送してください。
  - ・電話番号が 2 つの場合（ダイヤルインサービスまたは i・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - ・本機の回線種別は「プッシュ　カイセン」に設定してください。お買い上げ時の設定は、「プッシュ　カイセン」になっています。電話回線の設定の詳細については P. 42 を参照してください。
- ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータ側は本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧いただくか、販売メーカーにお問い合わせください。
- ファクスの送受信がうまくいかない場合は、「特別回線対応を設定する」P. 245 を参照してください。
- プリンタケーブルは IEEE1284 規格品をご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブル CP-CA554 （DOS/V パソコン用）のご使用を推奨します。
- USB ケーブルは、USB1.1 または USB2.0 ツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。弊社オプションの USB ケーブル CP-CAUSB のご使用を推奨します。

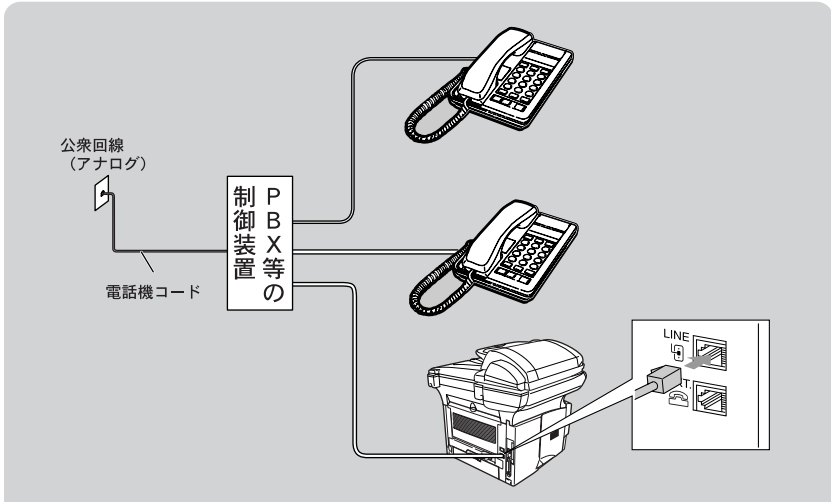
構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

回線数が１つの場合の例を以下に示します。
受信モードを自動切り替えに設定します。PBX などの制御装置は、本機の外付電話端子（EXT.）に接続します。

補足

- ビジネスホンとは
  電話回線を３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは
  電話回線１～２本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

本機の特別回線の設定を「PBX」にしてください。P. 245

CS チューナーを接続する場合

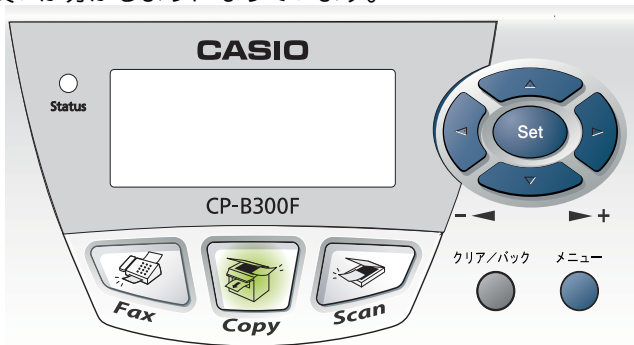
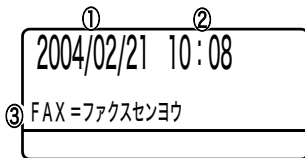
受信モードを自動切換えに設定します。CS チューナーは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続します。

3章

ご使用前の基本設定

液晶ディスプレイの特徴

液晶ディスプレイについて

本機は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイを見るだけで次に何をすれば良いか分かるようになっています。

液晶ディスプレイには、現在の設定内容や、操作方法を案内するヘルプメッセージが表示されます。

①： 年 / 月 / 日が表示されます。
②： 現在の時刻が表示されます。
③： 設定したファクスの受信モードが表示されます。

液晶ディスプレイの表示例

【例１】

コピーモードにすると、以下のメッセージが表示されます。この場合、コピーの倍率は 100%、画質は自動調整、コントラストは普通、記録紙トレイは自動給紙に設定されていることを示しています。

一番下の行は、▽または△で項目を選択して設定が変更できること、スタートボタンでコピーを開始できることを示しています。

バイリツ　　:100%
ガシツ　　　:ジドウ
コントラスト　:-□□■□□+
キロクシトレイ :ジドウ　　01
▲▼デ　センタク/スタート

【例２】

メニューを押すと、設定メニューが表示されます。

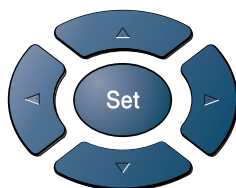
▽を押すと、反転表示行が移動します。

補足

- 表示する項目が 1 画面で表示できない場合は、▽でスクロールします。

機能設定する

ナビゲーションキーを使った基本操作

本機は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。ナビゲーションキーを使用することによって、取扱説明書を見なくても、本機に用意されている機能が活用できます。

ナビゲーションキーの外観

ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー	・メインメニューを表示する場合 ・メインメニューが表示されると、メニューモードになり、画面は ▽ △ でスクロールします。
Set	・次のメニューレベルに移る場合 ・選択項目を設定する場合 ・選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。
クリア/バック	・入力したデータの削除や、前のメニューレベルに戻る場合 ・繰り返し押すと、メニューモードを終了します。
△ ▽	・現在のメニューレベルをスクロールして選択する場合
◁	・前のメニューレベルに戻る場合
▷	・次のメニューレベルに進む場合

ダイヤルボタンを使った基本操作

メニューを押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本機に対する各種の設定ができます。

補足

- 設定を途中で終了するときは、停止／終了を押してください。
- 本書では、ダイヤルボタンを押す操作方法で説明しています。

機能一覧

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
0. ショキ セッテイ	1. ジュシン モード	ー	ファクスセンヨウ ジドウキリカエ ソトヅケルスデン デンワ	使用目的に合わせて受信モードを設定します。	P. 56 リモート ネットワーク
	2. トケイ セット	ー	ー	液晶ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。	P. 45 リモート ネットワーク
	3. ハッシンモト トウロク	ー	ファクス デンワ ナマエ	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号および送付書に印刷する電話番号を設定します。	P. 46 リモート ネットワーク
	4. トクベツカイセン　タイオウ	ー	イッパン ISDN PBX	ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。	P. 245
	5. カイセン シュベツ　セッテイ	ー	プッシュ　カイセン ダイヤル　10 PPS ダイヤル　20 PPS ジドウ　セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	P. 43 リモート ネットワーク

☞次ページへ続く

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
0. ショキセッテイ	6. ヒョウジゲンゴ (Local Language)	―	ニホンゴ English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。This setting allows you to change LCD Language to English.	P. 83
	7. ナンバーディスプレイ	―	On Off ソトヅケデンワユウセン	NTT のナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	P. 88

＊ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。
＊ 参照ページの欄に リモート マークが記載されている項目は、リモートセットアップ機能（パソコンからの設定）が使用できることを意味しています。リモートセットアップについては P. 60 を参照してください。
＊ 参照ページの欄に ネットワーク マークが記載されている項目は、ネットワークを通してウェブブラウザでのセットアップ機能（LAN を使ってパソコンからの設定）が使用できることを意味しています。ウェブブラウザでのセットアップについては、ネットワーク設定説明書を参照してください。
＊「キロクシ　トレイ #2」は、オプションの拡張ペーパフィーダを装着したときのみ有効です。
＊ 上記の記載のしかたは、以下の設定機能表すべてに共通です。

基本設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
1. キホンセッテイ	1. モードタイマー	―	0　ビョウ 30　ビョウ 1　プン 2　フン 5　フン Off	ファクスモードに戻る時間を設定します。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	P. 76 リモート
	2. キロクシタイプ	1. タモクテキトレイ	フツウシ フツウシ (アツメ) アツガミ (ハガキ) チョウアツガミ OHP フィルム	多目的トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	P. 77 リモート ネットワーク
		2. キロクシトレイ #1	フツウシ フツウシ (アツメ) アツガミ (ハガキ) チョウアツガミ OHP フィルム	記録紙トレイ #1（標準装着）にセットする記録紙のタイプを設定します。	P. 77 リモート ネットワーク

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1. キホン セッテイ	2. キロクシ タイプ	3. キロクシ トレイ #2	フツウシ フツウシ(アツメ) アツガミ チョウアツガミ OHP フィルム	記録紙トレイ#2（オプション）にセットする記録紙のタイプを設定します。	P. 77 リモート ネットワーク
	3. キロクシ サイズ	1. キロクシ トレイ #1	A4 B5 A5 A6 ハガキ US レター	記録紙トレイ#1（標準装着）にセットする記録紙のサイズを設定します。	P. 78 リモート ネットワーク
		2. キロクシ トレイ #2	A4 B5 A5 US レター	記録紙トレイ#2（オプション）にセットする記録紙のサイズを設定します。	P. 78 リモート ネットワーク
	4. オンリョウ	1. チャクシンベル　オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	ベルの音量を調節します。	P. 80 リモート ネットワーク
		2. ボタンカクニン　オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	パネルボタンにタッチしたときの音量を設定します。	P. 81 リモート ネットワーク
		3. スピーカー オンリョウ	Off ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	P. 82 リモート ネットワーク
	5. ショウエネ モード	1. トナー セーブ	On Off	トナーの使用量をセーブします。	P. 84 リモート ネットワーク
		2. スリープ モード	00 : 05 : 99	ファクス待機中の消費電力を節約することができます。このスリープ状態になるまでの時間を0～99分の間で設定します。	P. 85 リモート ネットワーク

☞ 次ページへ続く

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
1．キホン セッテイ	6．トレイ セ ンタク：コピー	ー	キロクシ トレイ #1 ノミ タモクテキトレイ ノミ ジドウ	**コピーするときの記録紙トレイを設定します。(オプションの拡張ペーパフィーダが装着されていないとき)**	P. 79 リモート ネットワーク
		ー	キロクシ トレイ #1 ノミ キロクシ トレイ #2 ノミ タモクテキトレイ ノミ ジドウ	コピーするときの記録紙トレイを設定します。(オプションの拡張ペーパフィーダが装着されているとき)	P. 79 リモート ネットワーク
	7．トレイ セ ンタク：ファク ス	ー	キロクシ トレイ #1 ノミ キロクシ トレイ #2 ノミ ジドウ	**ファクス受信するときの記録紙トレイを設定します。(オプションの拡張ペーパフィーダが装着されているとき)**	P. 79 リモート ネットワーク
	8．ガメンノ コントラスト	ー	−□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	P. 86

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ カイスウ	0 : 4 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、自動受信するまでの呼出回数を0～10回の間で設定します。	P. 130 リモート ネットワーク
		2. サイヨビ ダシ カイスウ	08 15 20	「自動切替モード」のとき、電話がかかってくると、設定した呼出ベル回数（「呼出回数」）のあとに、本機・外付電話から再度呼出ベルを鳴らす回数を設定します。	P. 131 リモート ネットワーク
		3. シンセツ ジュシン	On Off	本機がファクスを自動受信する前に外付電話をとってしまった場合でも、スタートボタンを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P. 132 リモート ネットワーク
		4. リモート ジュシン	On（#51） Off	外付電話機からファクスを受信動作させるときに設定します。	P. 134 リモート ネットワーク
		5. ジドウ シュクショウ	On Off	A4サイズ以上の長さの原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P. 136 リモート ネットワーク
		6. インサツ ノウド	−□□■□□+	印字の濃さを調整します。	P. 137 リモート ネットワーク
		7. ポーリング ジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング受信を設定します。	P. 144
		8. リョウメン インサツ	On Off	両面印刷の設定をします。	P. 138 リモート ネットワーク

☞次ページへ続く

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウ ノウド	ジドウ ウスク コク	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	P. 115
		2. ガシツ	ヒョウジュン ファイン スーパーファイン シャシン	送信時の解像度の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	P. 114 リモート ネットワーク
		3. タイマー ソウシン	シテイジコク= 00:00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	P. 123
		4. トリマト メ　ソウシン	On Off	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	P. 124 リモート ネットワーク
		5. リアルタ イム ソウシン	On Off コンカイノミ	メモリーを使わずにリアルタイムでファクスを送信するときに設定します。	P. 120 リモート ネットワーク
		6. ポーリング ソウシン	ヒョウジュン キミツ	ポーリング送信を設定します。	P. 142
		7. ソウフショ	コンカイノミ On Off プリント　サンプル	送付書を付加する / しないを設定します。	P. 116 リモート ネットワーク
		8. ソウフショ コメント	ー	送付書のコメントを作成します。	P. 118 リモート ネットワーク
		9. カイガイソ ウシン モード	On Off	海外送信を行うときに設定します。	P. 122

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	3. デンワチョウ　トウロク	1. ワンタッチ ダイヤル	ー	ワンタッチボタン 1 ～ 40 に送信先番号、名前を指定します。	P. 105 リモート ネットワーク
		2. タンシュク ダイヤル	ー	3 桁の短縮番号 001 ～ 300 に送信先番号、名前を登録します。	P. 107 リモート ネットワーク
		3. グループダイヤル	ー	同時に多数のファクス送信ができるように、グループ（1 ～ 6）を設定します。	P. 110 リモート ネットワーク
	4. レポートセッテイ	1. ソウシンレポート	On On+ イメージ Off Off+ イメージ	送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	P. 165 リモート ネットワーク
		2. ツウシンカンリ カクニン	レポートシュツリョク　シナイ 50　ケンゴト 6　ジカンゴト 12　ジカンゴト 24　ジカンゴト 2　カ　ゴト 7　カ　ゴト	通信管理レポートの確認間隔を設定します。	P. 166 リモート ネットワーク
	5. オウヨウキノウ	1. テンソウ	Off ファクス テンソウ デンワヨビダシ	ファクスメッセージを受信したとき、「ファクス転送」や「電話呼出」するための設定をします。	P. 151 リモート ネットワーク
		2. メモリージュシン	On Off	受信したファクスをメモリーに蓄積する／しないを設定します（ファクス転送、リモコンアクセスするときに、On に設定します）。	P. 148 リモート ネットワーク
		3. アンショウ　バンゴウ	アンショウバンゴウ:ーーー*	外出先から本機をリモートコントロールするときの 3 桁の暗証番号を設定します。	P. 154 リモート ネットワーク
		4. ファクスシュツリョク	ー	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	P. 149

☞ 次ページへ続く

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2．ファクス	6．ツウシン マチ　カクニン		ー	メモリー送信の待ち状態を確認し、メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。	P. 125
	7．ドラム ジュミョウ	ー	ー	ドラム寿命までの残り％が表示されます。	P. 215
	8．インサツ カウンタ	ー	ゴウケイ コピー プリンタ ファクス	インサツカウンタ値を表示します。	P. 167
	0．アンシン ソウシン　モード	ー	コウソク ヒョウジュン アンシン	通信エラーの発生しやすい回線にファクスをより確実に送信したいときに設定します。	P. 246

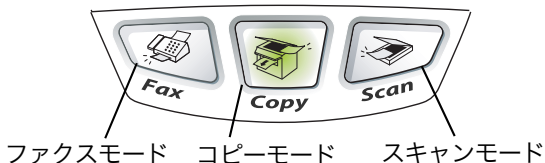
コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照 ページ
3．コピー	1．ガシツ	−	テキスト シャシン ジドウ	画質を調整します。	P. 192 リモート ネットワーク
	2．コントラスト	−	−□□■□□+	コントラストを調整します。	P. 192 リモート ネットワーク

レポート印刷機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
4. レポート インサツ	1. キノウアンナイ	ー	ー	簡単操作リストを印刷します。	P. 163
	2. デンワチョウ リスト	ー	ー	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。	P. 163
	3. ツウシン カンリ レポート	ー	ー	送信・受信した最新の 200 通分の結果を印刷します。	P. 163
	4. ソウシン レポート	ー	ー	送信後に最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	P. 164
	5. セッテイナイヨウ リスト	ー	ー	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	P. 164
	6. チャクシンリレキリスト	ー	ー	着信履歴を印刷します。	P. 164

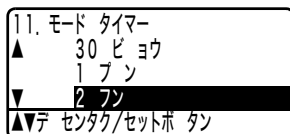
モードについて

操作パネルのモード切り替えボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードに切り替えることができます。

現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的にファクスモードに戻る時間を設定することができます。「Off」を選択すると、最後に使ったモードを維持します。

1 メニュー ア1 ア1 を押します。

11.モード タイマー
▲ 30 ビョウ
1 プン
▼ 2 フン
▲▼デ センタク/セットボ タン

2 ▲▼で時間を選択します。

「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 プン」「2 フン」「5 フン」「Off」の中から選択します。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時、モードタイマーは「2 フン」に設定されています。

基本設定を変更する

記録紙のタイプを選ぶ

トレイにセットする記録紙のタイプを選択します。
お使いの記録紙に合わせて記録紙のタイプを選択してください。
本機が記録紙のタイプに合った最適な方法で印刷します。

1 メニュー 1 2 を押します。

・オプションの拡張ペーパフィーダを装着したときのみ、「キロクシ　トレイ　#2」は表示されます。

```
12.キロクシ タイプ
 1.タモクテキトレイ
 2.キロクシ トレイ #1
 3.キロクシ トレイ #2
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

2 ▲▼で設定する記録紙トレイを選択します。

「タモクテキトレイ」「キロクシ　トレイ　#1」「キロクシ　トレイ　#2」の中から選択します。

3 Set を押します。

```
12.キロクシ タイプ
 1.タモクテキトレイ
▲  フツウシ        *
▼  フツウシ(アツメ)
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

4 ▲▼で記録紙のタイプを選択します。

「フツウシ」「フツウシ(アツメ)」「アツガミ(ハガキ)」「チョウアツガミ」「OHPフィルム」の中から選択します。

5 Set を押します。

6 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

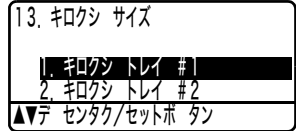
● お買い上げ時は、記録紙のタイプは「フツウシ」に設定されています。

記録紙のサイズを選ぶ

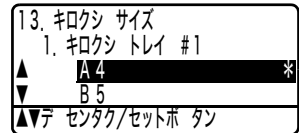
記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを選択します。
記録紙トレイの用紙サイズを変更したときは、記録紙のタイプを選択してください。

1 メニュー ア1 サDEF3 を押します。

・オプションの拡張ペーパフィーダを装着したときのみ、記録紙トレイの選択画面になります。拡張ペーパフィーダを装着していない場合は手順４へ進みます。

13. キロクシ サイズ
1. キロクシ トレイ #1
2. キロクシ トレイ #2
▲▼デ センタク/セットボ タン

2 ▲▼で設定する記録紙トレイを選択します。

「キロクシ　トレイ　#1」「キロクシ　トレイ　#2」の中から選択します。

3 Set を押します。

4 ▲▼で記録紙のサイズを選択します。

「記録紙トレイ#1」の場合は、「A 4」「B 5」「A 5」「ハガキ」「US レター」の中から選択します。
「記録紙トレイ#2」の場合は、「A 4」「B 5」「A 5」「US レター」の中から選択します。

5 Set を押します。

6 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

● お買い上げ時は、記録紙のサイズは「A 4」に設定されています。

コピーするときのトレイを選ぶ

コピーするときの記録紙トレイを選択します。

1 メニュー 1 6 を押します。

・画面および説明の中の「キロクシ　トレイ　#2ノミ」は、オプションの拡張ペーパフィーダを装着したときのみ表示され、選択できます。

2 ▲▼で記録紙トレイを選択します。

「キロクシ　トレイ　#1　ノミ」「キロクシ　トレイ　#2　ノミ」「タモクテキトレイ　ノミ」「ジドウ」の中から選択します。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は、「ジドウ」に設定されています。
- オプションの拡張ペーパフィーダを装着して「ジドウ」にセットした場合、記録紙トレイ＃１（本体）の記録紙がなくなったとき、自動的に記録紙トレイ＃２（拡張ペーパフィーダ）が選択されます。

ファクス受信するときのトレイを選ぶ
(ローワートレイを装着している時のみ)

受信したファクスを印刷するときの記録紙トレイを選択します。

1   メニュー 1 7 を押します。

2 ▲▼でトレイを選択します。

「キロクシ　トレイ　#1ノミ」「キロクシ　トレイ　#2ノミ」「ジドウ」の中から選択します。

☞次ページへ続く

3 Setを押します。

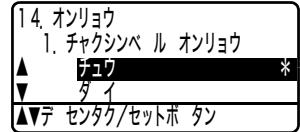
4 停止／終了を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は、「ジドウ」に設定されています。
- オプションの拡張ペーパフィーダを装着して「ジドウ」にセットした場合、記録紙トレイ＃１（本体）の記録紙がなくなったとき、自動的に記録紙トレイ＃２（拡張ペーパフィーダ）が選択されます。

着信ベルの音量を調節する

着信ベルの音量を調節します。

1 メニュー 1 4 1 を押します。

2 ▲▼で音量を選択します。

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

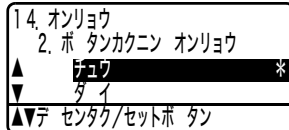
3 Setを押します。

4 停止／終了を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時、ベルの音量は「チュウ」に設定されています。
- ベルの音量の変更は、ファクスモードでファクスを使用していないときに ◀ ▶ だけで調整することもできます。

ボタン確認音量を変える〔ボタン確認音量&ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

を押します。

で音量を選択します。

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

を押します。

を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時、ボタン確認音量は「チュウ」に設定されています。
- 「Off」(ボタン確認音なし)を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

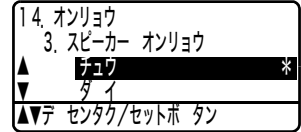
スピーカー音量を調節する

手動でファクスを送信するとき、 受信側から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

を押します。

で音量を選択します。

「Off」「ショウ」「チュウ」「ダイ」の中から選択します。

Setを押します。

を押して操作は終了です。

● お買い上げ時、スピーカー音量は「チュウ」に設定されています。

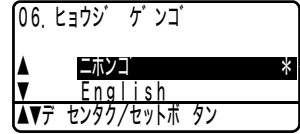
● スピーカー音量は、オンフックを押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているときに を押して調節することもできます。

液晶ディスプレイの表示言語を切り替える（英語・日本語）

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

ハ MNO 6 を押します。

で言語を選択します。

Set を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は「ニホンゴ」に設定されています。
- 英語による説明を以下に示します。

This setting allows you to change LCD language to English.

1 Press メニュー ワ 0 ハ MNO 6

2 Press [▲/▼] to select "English".

3 Press Set.

4 Press 停止／終了 to exit.

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

トナーを節約する

印字は多少薄くなりますがトナーを節約したいときは、「トナーセーブ」を「On」に設定します。

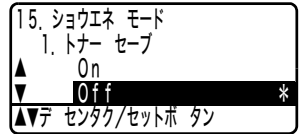
1

を押します。

2 で「On」を選択します。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。

電気の節約モードに入る時間を設定する（スリープモード）

本機は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した待機時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときに待機状態にして消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1 メニュー ア 1 ナ JKL 5 カ ABC 2 を押します。

```
15.ショウエネ モード
  2.スリープ  モード

  スリープ  カイシ:05フン
ニュウリョク/セットボ タン
```

2 ダイヤルボタンを使用して、待機時間を入力します。

00 ～ 99 分まで分単位で設定します。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために 10 秒～ 20 秒時間がかかります。
- お買い上げ時は「05 フン」に設定されています。
- 手順 2 で キャンセル と セキュア を同時に押すと「On」「Off」が選択できるようになります。「Off」を選択すると、スリープモードにはなりません。お買い上げ時は「On」に設定されています。

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

部屋の明るさなど、環境によって液晶ディスプレイが見にくいときは、コントラストを調整します。お買い上げ時は標準的なレベルに設定されています。

1

を押します。

```
17.ガ メンノ コントラスト
     -□□■□□+
ヤジ ルシボ タンデ  センタク
```

オプショントレイ装着時は

メニュー ア 1 ヤ TUV 8 を押します。

2

◀ ▶ でコントラストを調整します。

コントラストは５段階で調整できます。▶ を押して「＋」方向にするとコントラストは強くなり、◀ を押して「ー」方向にするとコントラストは弱くなります。

3

Set を押します。

4

停止／終了 を押して操作は終了です。

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本機では、電話会社（NTT）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

NTT が行っているサービスで電話がかかってきたときに相手の電話番号を液晶ディスプレイに表示します。サービスの詳細については、NTT 窓口〈116 番：無料〉にお問い合わせください。
本機ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

・ 電話番号表示機能
　電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。

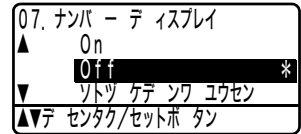
・ 名前表示機能
　電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。

・着信履歴機能
　電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）
　操作方法については「6 章ファクス / 電話の応用機能」“ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する” P. 140 を参照してください。

● 本機はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。

ナンバー・ディスプレイの設定をする

電話がかかってきたとき、またはファクスを受信したときに相手の電話番号またはファクス番号を外付電話機または本機の液晶ディスプレイに表示させることを設定します。

メニュー ワ 0 マ PQRS 7 を押します。

で「On」「Off」「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の中から選択します。

・「On」を選択した場合、本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号またはファクス番号が表示されます。
・「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」を選択した場合、外付電話機に相手の電話番号またはファクス番号が表示されます。

Set を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、NTT への契約が必要です。契約していない場合は「Off」にしてください。
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本機で利用したいときは、本機のナンバーディスプレイの設定を「On」、外付電話のナンバーディスプレイの設定を「Off」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを外付電話で利用したいときは、本機のナンバーディスプレイの設定を「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」、外付電話のナンバーディスプレイの設定を「On」にしてください。
- 「ｿﾄﾂﾞｹﾃﾞﾝﾜ ﾕｳｾﾝ」の場合、着信履歴は本機に残りません。
- 着信履歴リストを表示したり着信履歴リストを印刷するには、ナンバー・ディスプレイの設定を「On」にする必要があります。
- お買い上げ時は、「Off」に設定されています。

光源を消す

原稿をスキャンする際に出る光源は、最初のスキャンから 16 時間後に自動的に消えますが、以下の操作により手動で消すこともできます。

を同時に押します。

補足

● 上記の操作を行っても、ファクス送信、コピーなどのスキャンをともなう動作を行った場合は、光源が自動的につきます。

● 光源のウォーミングアップに多少時間がかかります。ウォーミングアップ中はスキャンおよびコピーはできません。

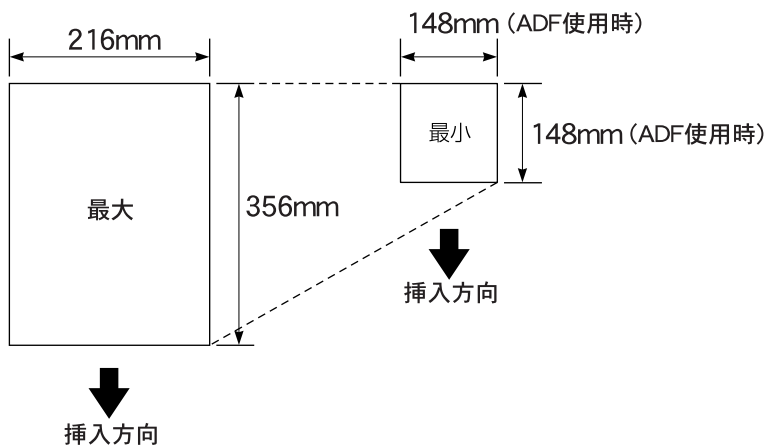
■ 光源を消す操作を頻繁に行うと、ランプの寿命が短くなる場合があります。

4章

ファクス送信

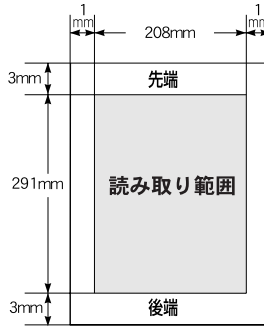
ファクスを送信する前に

原稿サイズ

ファクス送信でセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、コピー機能で拡大・縮小してからセットしてください。小さすぎる原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

厚さ	：0.08mm ～ 0.12mm （ADF（自動原稿送り装置）使用時）
坪量	：$64g/m^2$ ～ $90g/m^2$ （ADF（自動原稿送り装置）使用時）
最大厚み	：30mm（原稿台ガラス使用時）
最大質量	：2kg（原稿台ガラス使用時）

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは ADF から送信され、ADF に原稿がないときは、原稿台ガラスから送信されます。

原稿の読み取り範囲

A4 サイズの原稿の読み取り範囲を次に示します。

● 原稿の読み取り範囲は、概算値ですので、目安として参考にしてください。

■ インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

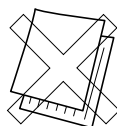
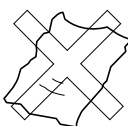
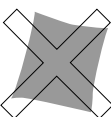
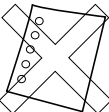
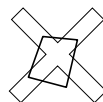
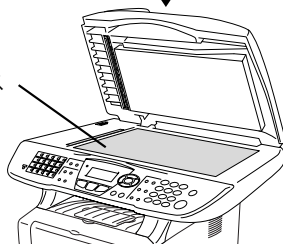
■ 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。

■ 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。

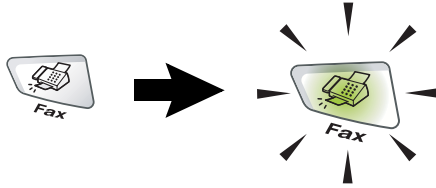
■ 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。

■ 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

☞ 次ページへ続く

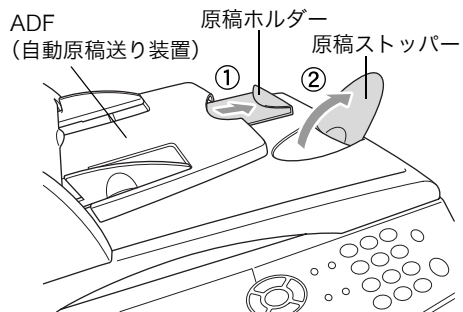
■ 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用して送信してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。

ファクスを送信する

ファクスモードにする

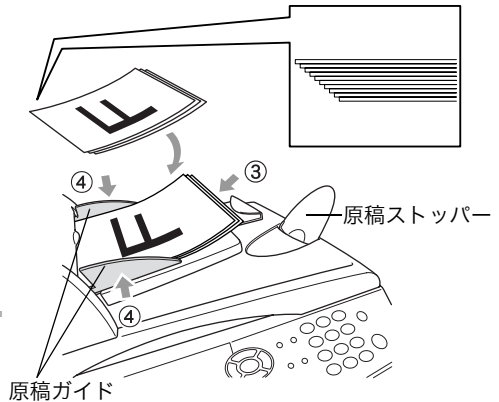
ファクスを送信するには（Fax）ボタンが緑色に点灯してファクスモードになっていることを確認してください。
もし、緑色に点灯していないときは、（Fax）ボタンを押してファクスモードにします。
ファクス以外のモードに切り替えていても、モードタイマーP. 76で設定した時間後、自動的にファクスモードに戻ります。

ADF（自動原稿送り装置）から送信する（自動送信）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。原稿をセットする前に原稿が静電気等でくっついていないことを確認してください。

（Fax）ボタンが緑色に点灯していないときは（Fax）ボタンを押します。

2 原稿ホルダー（①）と原稿ストッパー（②）を開きます。

☞次ページへ続く

3 原稿を表向きにして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込んでください(③)。

原稿は一度に 50 枚 (64g/m2) までセットできます。

4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます(④)。

5 相手先のファクス番号を入力します。

 を押します。

補足

- 送信を途中で止めたいときは P. 99 を参照してください。
- ダイヤルのしかたは P. 100 を参照してください。
- 最初のページを読み込み中に、液晶ディスプレイに「メモリーガ イッパイデス」が表示された場合は、停止／終了を押すと読み込みが中止されます。2 ページ目以降を読み込み中に、このメッセージが表示された場合は、スタートを押すと、読み込まれたページまでは送信します。送信を取りやめる場合は停止／終了を押します。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- ECM（Error Correction Mode の略称）通信とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。
  - ・送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
- ECM 通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。

- ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。
- キャリアシートにセットした原稿は、原稿台ガラスから送信してください。
- 重要な原稿は ADF（自動原稿送り装置）を使用しないでください。あらかじめコピーした原稿を使用するか、原稿台ガラスから送信してください。万一 ADF のトラブルにより原稿が汚損した場合、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

原稿台ガラスから送信する〔自動送信〕

原稿台ガラスから原稿や本のページをファクスで送信できます。原稿サイズは US レターまたは A4 です。原稿台ガラスを使うときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

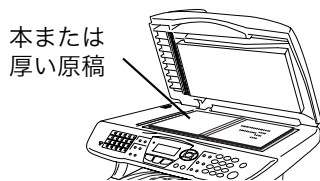
1 ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押します。

2 原稿台カバーを持ち上げます。

3 原稿台ガラスに原稿を裏向きにセットします。

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドを利用して中央にセットします。

4 原稿台カバーを閉じます。

原稿が本や厚い原稿は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押してください。

5 相手先のファクス番号を入力し、スタート を押します。

スキャンを開始します。

☞次ページへ続く

6 １枚の原稿を送信するときは、（カ ABC）2 または （スタート）を押します。

送信を開始します。

原稿が複数枚のときは、（ア）1 を押します。

手順７に進みます。

```
FB ファクス:
 ツギ ノゲ ンコウアリマスカ?
▲ 1.Yes
▼ 2.No (ソウシン)
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、Set を押します。

スキャンを開始します。送信する原稿枚数分、手順６～７を繰り返します。

```
FB ファクス:

ツギ ノゲ ンコウヲ オイテ
セットヲ オシテクダサイ
```

- 原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなることがあります。
- 原稿が本や厚さがあるときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また上からあまり強く押さないでください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、（オンフック）を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

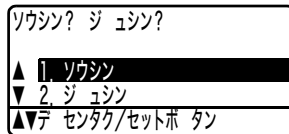
1 ボタンが緑色に点灯していないときは（Fax）ボタンを押します。

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

3 オンフック ◯ を押して、相手先のファクス番号を入力します。

4 相手先の受信音（ピー）を確認して、スタート ◯ を押します。

5 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で ア 1 を押します。

ファクスが送信されます。

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を途中で止める

1 停止／終了 ◯ を押します。

2 ア 1 を押します。

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

便利にダイヤルする

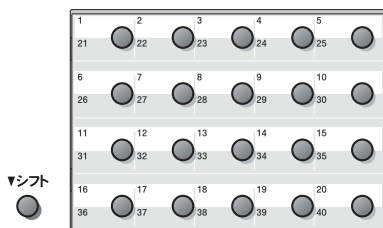
ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は４つあります。

ダイヤルボタンを使用する

以下に示すダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。最も一般的な方法です。

ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは 40 件登録できます。21 ～ 40 に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、▼シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。

短縮ダイヤルを使用する

電話帳/短縮 を押し、記号１ * トーン を押した後、001 ～ 300 の短縮番号を押すだけでダイヤルできます。短縮ダイヤルには 300 件登録できます。

電話帳を使用する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された名称を検索し、そのままダイヤルします。液晶ディスプレイ上で名前だけで検索できます。

- ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P. 105 を参照してください。
- 短縮ダイヤルの登録のしかたは P. 107 を参照してください。
- グループダイヤルの登録のしかたは P. 110 を参照してください。
- 電話帳の使い方は P. 103 を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 再ダイヤル/ポーズ を押します。

最後にかけた番号が表示されます。

3 スタート を押します。

補足

● 自動再ダイヤルについて

・自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します（リアルタイム送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください)。自動再ダイヤルは５分間隔で３回繰り返します。
・自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
・自動再ダイヤルを 3 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ケッカ」の欄が「ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ」であることを確認し、再度送信してください。
・自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
・原稿台ガラスからのリアルタイム送信の場合は、自動再ダイヤルはされません。
・送信した内容が相手先に届いても、本機が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

電話帳を使って送信する

あらかじめ、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている相手先名称を液晶ディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手にファクスを送信することができます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 電話帳/短縮 を押します。

ケンサク：
▲▼◀▶ボ タンデ センタク
タンシュク ダ イヤル：
＊ バ ンゴ ウ ニュウリョク

3 探したい名前の最初の 1 文字を入力します。

ケンサク：
▲エイギ ョウ ダ イ1
カXXX
▼サXXX
▲▼デ センタク/セットボ タン

4 ▲▼で目的の名前を選択し、Set を押して表示させます。

03XXXXXXXX
エイギ ョウ ダ イ1
ガ シツ：ヒョウジ ュン
スタートボ タンヲ オス

5 相手先が表示されたら、スタート を押します。

補足

- 入力した最初の 1 文字を含む 50 音順、アルファベット順で最初の相手先名称が表示されます。
- 原稿台ガラス使用時は、スタート を押すと読み取りが始まります。読み取り終了後、カ ABC 2 または スタート を押してください。
- 目的の名前は ▲▼ で登録番号順に表示させることもできます。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは P. 163 を参照してください。
- 文字入力のしかたについては P. 48 を参照してください。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P. 105 P. 107 P. 110 を参照してください。

「エ」から始まる名前が登録されていた場合

ｹﾝｻｸ:
▲ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1
ｶXXX
▼ｻXXX
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

「エ」から始まる名前が登録されていなかった場合

電話帳を作成する

ワンタッチダイヤルを登録する

20 桁までの電話番号と 15 文字までの相手先の名称を、1 ～ 40（最大 40 件）に登録することができます。

を押します。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  1.ワンタッチ ダ イヤル

   ワンタッチボ タン:
ワンタッチボ タン シテイ
```

2 登録するワンタッチダイヤルボタンを押します。

・21 ～ 40 に登録するときは、▼シフト を押しながらワンタッチボタンを押します。
・すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。
・LAN I/F ボード（CP-LA300）がある場合、ワンタッチボタンを押した後「ファクス / デンワ」を選択して Set を押します。

3 相手先の電話番号を入力して Set を押します。

・電話番号は 20 桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

4 相手先の名前を入力して、Set を押します。

・名前は 15 文字まで登録できます。
・続けて登録する場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返しします。

5 停止／終了

を押して操作は終了です。

- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に（記号1 ＊）を押してください。
- スペースを入力する場合、番号の間は（トーン）を１回、文字の間は（トーン）を２回押します。
- 文字入力のしかたについてはP. 48を参照してください。
- ワンタッチダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、（再ダイヤル/ポーズ）を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P. 163を参照してください。
- LAN I /F ボード（CP-LA300）がある場合、「E メールアドレス」を選択すると、E メールアドレスが登録できます。E メールアドレスで数字の０を入力した場合、続けて（Set）を押してください。

■ ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。

■ １つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

■ 電話番号を間違って登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

1 （メニュー）（カ ABC 2）（サ DEF 3）（ア 1）を押します。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  1.ワンタッチ ダ イヤル

  ワンタッチボ タン:
ワンタッチボ タン シテイ
```

2 ワンタッチボタンで変更するワンタッチダイヤルを入力します。

・登録されている内容が表示されます。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  #005:ヤマダ ゴ ロウ
▲      1.ヘンコウ
▼      2.チュウシ
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

3 (ア 1) を押します。

・変更しないときは、(カ ABC 2) を押します。

4 新しい相手先の電話番号を入力して Set を押します。

・電話番号は 20 桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

5 新しい相手先の名前を入力して、Set を押します。

・名前は 15 文字まで登録できます。

6 (停止／終了) を押して操作は終了です。

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには

● 手順３で (ア 1) を押した後、電話番号を (クリア/バック) で削除して Set を押すとワンタッチダイヤルが削除されます。

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号と相手先の名称を、001 ～ 300（最大 300 件）に登録することができます。

1 (メニュー)(カ ABC 2)(サ DEF 3)(カ ABC 2) を押します。

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  2.タンシュク ダ イヤル

  タンシュク ダ イヤル?*
ニュウリョク/セットボ タン
```

2 登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力して Set を押します。

・001 ～ 300 の間で入力します。（例：００５）

・すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

・LAN I/F ボード（CP-LA300）がある場合、短縮番号を入力して Set を押した後「ファクス / デンワ」を選択して Set を押します。

```
23.デ゛ンワチョウ トウロク
  2.タンシュク ダ イヤル

  タンシュク ダ イヤル?*005
ニュウリョク/セットボ タン
```


☞ 次ページへ続く

相手先の電話番号を入力して Set を押します。

・電話番号は 20 桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

相手先の名前を入力して、Set を押します。

・名前は 15 文字まで登録できます。
・続けて登録する場合は、手順２～４を繰り返しします。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に ＊（記号1 トーン）を押してください。
- スペースを入力する場合、番号の間は ▶ を１回、文字の間は ▶ を２回押します。
- 文字入力のしかたについては P. 48 を参照してください。
- 短縮ダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- ポーズを入力するには、再ダイヤル/ポーズ を押します。液晶ディスプレイに「－」が表示されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。P. 163 を参照してください。
- LAN I/F ボード（CP-LA300）がある場合、「E メールアドレス」を選択すると、E メールアドレスが登録できます。E メールアドレスで数字の０を入力した場合、続けて Set を押してください。

■ 電話番号を間違って登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

短縮ダイヤルを変更する

 カABC サDEF カABC を押します。

```
23.デンワチョウ トウロク
  2.タンシュク ダイヤル

  タンシュク ダイヤル?＊
ニュウリョク/セットボタン
```

2 ダイヤルボタンで変更する短縮ダイヤルを入力し、Set を押します。

・登録されている内容が表示されます。

```
23.デンワチョウ トウロク
  ＊005:ヤマダ ゴロウ
▲      1.ヘンコウ
▼      2.チュウシ
▲▼デ センタク/セットボタン
```

3 ア 1 を押します。

・変更しないときは、カABC 2 を押します。

4 新しい相手先の電話番号を入力して Set を押します。

・電話番号は20桁まで入力できます。（カッコは登録できません。）

5 新しい相手先の名前を入力して、Set を押します。

・名前は15文字まで登録できます。

6 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

短縮ダイヤルを削除するには

- 手順3で ア 1 を押した後、電話番号を クリア/バック で削除して Set を押すと短縮ダイヤルが削除されます。

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、1 グループとしてワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。

メニュー 2 (カ ABC) 3 (サ DEF) 3 (サ DEF) を押します。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  3.グ ループ  ダ イヤル

  グ ループ  ダ イヤル:
タンシュクダ イヤル マタハ ワンタッチボ
```

登録するグループダイヤル番号を入力します。

・ワンタッチダイヤルボタンを登録するときは、ワンタッチダイヤルボタンを押します。

・短縮ダイヤルを登録するときは、電話帳/短縮 を押して短縮番号（001 ～ 300）を入力し、Set を押します。

3

グループ番号をダイヤルボタンで 1 ～ 6 を入力し Set を押します。

・すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  #001

  グ ループ #:01
ニュウリョク/セットボ タン
```

4

グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力します。

・例：ワンタッチダイヤル：[5]、短縮ダイヤルをダイヤルボタンで「009」と入力した場合

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  #001:グ ループ #01

  #005*009
ニュウリョク/セットボ タン
```

5

登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力後、Set を押します。

6

グループ名を入力して、Set を押します。

グループ名は 15 文字まで登録できます。

7

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- 1 つのグループダイヤルには、最大 339 件まで登録できます。
- グループダイヤルは 6 グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- ワンタッチダイヤルの 21 ～ 40 を登録するときは、▼シフトを押しながらワンタッチボタンを押します。
- 文字入力のしかたについては P. 48 を参照してください。
- 取引先別、部署別等でグループ分けすると便利です。
- グループダイヤルはリモートセットアップからでも登録できます。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。P. 163 を参照してください。

■ グループダイヤルを登録する前にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録してください。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

■ グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

グループダイヤルを変更する

1 メニュー 2 3 3 を押します。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  3.グ ループ  ダ イヤル

  グ ループ  ダ イヤル:
タンシュクダ イヤル マタハ ワンタッチボ
```

2 変更するグループダイヤル番号を入力します。

・ワンタッチダイヤルボタンに登録されているときは、ワンタッチダイヤルボタンを押します。

短縮ダイヤルに登録されているときは、電話帳/短縮 を押して短縮番号（001 ～ 300）を入力し、

Set を押します。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  G01:エイギ ョウ
▲      1.ヘンコウ
▼      2.チュウシ
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

3 ア 1 を押します。

・変更しないときは、カ ABC 2 を押します。

4 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力し、Set を押します。

```
23.デ ンワチョウ トウロク
  #001:グ ループ #01

  #005*009
ニュウリョク/セットボ タン
```

5 グループ名を変更する場合は、新しいグループ名を入力し Set を押します。変更しない場合はそのまま Set を押します。

6 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

グループダイヤルを削除するには

● 手順３で ア 1 を押した後、グループに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル番号を クリア/バック で削除して Set を押すとグループダイヤルが削除されます。

ファクスを便利に送信する

画質を設定する（一時的に変更する）

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。
ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると設定が解除されます。

Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ファクス画質 を繰り返し押して画質を選択します。

「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。何もしなければ2秒後に待機表示に戻ります。

3 相手先のファクス番号を入力して、スタート

を押します。

原稿台ガラスからファクスするときは、P. 97「原稿台ガラスから送信する」の手順6，7を実行してください。

補足

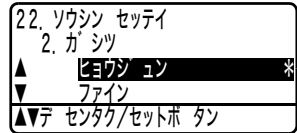
- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
  - ・ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ・ファイン（ファインモード）：小さな文字のとき
  - ・スーパーファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - ・シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くかかります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

画質を設定する（設定内容を保持する）

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。
ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

1

ボタンが緑色に点灯していないときは ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2

を押します。

3

で画質を選択します。

・「ヒョウジュン」「ファイン」「スーパーファイン」「シャシン」の中から選択します。

4

Set を押します。

5

他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

6

相手先のファクス番号を入力して、スタート を押します。

原稿台ガラスからファクスするときは、P. 97「原稿台ガラスから送信する」の手順6，７を実行してください。

補足

● お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

原稿濃度を設定する

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 メニュー 2 2 1 を押します。

3 で原稿濃度を選択します。

・「ジドウ」「ウスク」「コク」の中から選択します。

4 Set を押します。

5 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

6 相手先のファクス番号を入力して、スタート を押します。

原稿台ガラスからファクスするときは、P. 97「原稿台ガラスから送信する」の手順6，７を実行してください。

補足

- 原稿濃度は、以下の３種類の中から選択します。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
  - ・ジドウ ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
  - ・ウスク ：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
  - ・コク ：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。
- ファクス送信されたあと、原稿濃度の設定は自動的に「ジドウ」に戻ります。
- 原稿濃度を濃く設定すると全体に黒っぽくなることがあります。相手先から「原稿が読みにくい」と言われたら調整してみてください。

送付書を付けて送信する

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などが記載された送付書を、原稿と一緒に送信することができます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2

を押します。

3 ▲▼で送付書の設定を選択し、Set を押します。

・「コンカイノミ」「On」「Off」「プリント サンプル」の中から選択します。

・「プリント サンプル」を選んだ場合：Set を押して スタート を押します。

・「On」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
・「Off」を選んだ場合：手順7へ進んでください。
・「コンカイノミ」を選んだ場合：手順4へ進んでください。

4 ▲▼で「コンカイノミ：On」か「コンカイノミ：Off」を選択し、Set を押します。

・「コンカイノミ：Off」を選んだ場合：手順7へ進みます。

5 ▲▼でコメントを選択し、Set を押します。

・手順3で「On」を選んだ場合、このあと手順7へ進んでください。

6 送信枚数を入力し、Set を押します。

7 他の設定を続けるときは ア 1 を、終了するには カ ABC 2 を押します。

8 相手先のファクス番号を入力し、を押します。

原稿台ガラスからファクスするときは、P. 97「原稿台ガラスから送信する」の手順6，7を実行してください。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 手順３では以下の４つの中から選んでください。
  - ・「On」：毎回送付書をつける
  - ・「Off」：毎回送付書をつけない
  - ・「コンカイノミ」：今回のみ送付書をつけるかつけないかを選択
  - ・「プリント　サンプル」：プリントサンプルを出力する（送付書の書式を確認する場合）
- 手順５での送付書のコメントは下記の６種類の中から選べます。

  1.（コメント ナシ）

  2. オデンワ クダサイ

  3. シキュウ

  4. シンテン

  5.（オリジナル コメント）

  6.（オリジナル コメント）

  ２種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたはP. 118を参照してください。
- 送付書送信を「On」に設定したときには、送信枚数は送付書に印刷されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「TO: 」の名前はあらかじめ短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。P. 107

■ 発信元データ (ファクス番号、電話番号、名前) を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P. 46をご覧ください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1   を押します。

2 でコメントを登録する箇所を選び、Setを押します。

・コメントは5か6に登録できます。

3 コメントを入力し、Setを押します。

4 他の設定を続けるときは1を、終了するには2を押します。

補足

- オリジナルコメント5または6を入れて送付書を送信したいときは、P. 116の手順5で、コメント5または6を選択することを忘れないでください。
- コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについてはP. 48を参照してください。

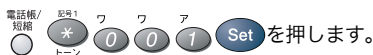
同じ原稿を数ヶ所に送信する（順次同報送信）

同じ原稿を、複数の送信先を設定して一度に送信することができます。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大 50ヶ所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大 390ヶ所まで指定できます）。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

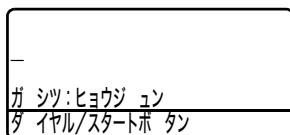
2 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索するか、またはダイヤルボタンによる直接入力で、１件目の送信先を選択します。

・例：短縮ダイヤルから指定する（001 番を指定するとき）

電話帳/短縮 ＊（記号1 トーン） 0（ワ） 0（ワ） 1（ア） Set を押します。

3 Set を押します。

（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Set を押します。）

4 液晶ディスプレイに右のように表示されてから２件目の送信先を手順２のように選択します。

```
_
ガ シツ:ヒョウジ ュン
ダ イヤル/スタートボ タン
```

5 Set を押します。

（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Set を押します。）

6 すべての送信先を入力して、スタート を押します。

7 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。

8 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

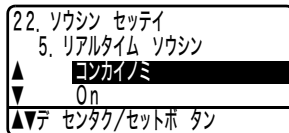
補足

- 送信途中でキャンセルするには 停止／終了 を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は メニュー カABC 2 ハMNO 6 で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P. 125
- 送信先を間違えたときは、停止／終了 を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読込み中に「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されたら 停止／終了 を押して中止するか スタート を押して、読み込まれた分だけ送信してください。

原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 メニュー カABC 2 カABC 2 ナJKL 5 を押します。

3 ▲▼ でリアルタイム送信の設定を選択します。

・「On」「Off」**「ｺﾝｶｲﾉﾐ」の中**から選択します。

・**「ｺﾝｶｲﾉﾐ」を**選択したときは Set を押して手順４に進みます。

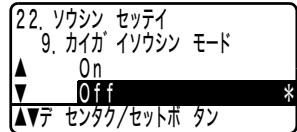
・「On」または「Off」を選択したときは、手順５に進みます。

4 ▲▼ で「ｺﾝｶｲﾉﾐ：On」か「ｺﾝｶｲﾉﾐ：Off」を選択して Set を押します。

5 他の設定を続けるときは［ア 1］を、終了するには［カ ABC 2］を押します。

6 相手先のファクス番号を入力して、

を押します。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 本機は通常、メモリー送信をしていますが、リアルタイム送信を「On」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は 1 枚しか送信できません。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、タイマー送信は設定できません。

海外へ送信する（海外送信モード）

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「On」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 メニュー 2 2 9 を押します。

3 ▲▼で「On」を選択します。

4 Set を押します。

5 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

6 相手先のファクス番号を入力して、スタート を押します。

補足

- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから スタート を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「Off」に戻ります。
- 海外送信モードを「On」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。お買い上げ時は「Off」に設定されています。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24 時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。
電話会社が提供しているサービスの時間帯に指定して送ることで、通信料を節約できます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していないときは Fax ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

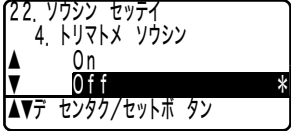
2 メニュー 2 2 3 を押します。

22.ソウシン セッテイ
3.タイマー ソウシン
シテイ ジ コク=00:00
ニュウリョク/セットボ タン

3 送信する時刻を 24 時間制で入力します。
・例：午後 3 時 5 分の場合は「15:05」

4 Set を押します。

5 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

6 相手先のファクス番号を入力して、スタート を押します。

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容に影響されます。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が「On」に設定されている場合、タイマー送信は設定できません。

メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信するタイマー時間が同じものがある場合、1 回の通信でタイマー設定された時間に送信することができます。

を押します。

で「On」を選択します。

を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

送信待ち確認・送信待ちファクス解除

メモリー送信の待ち状況を確認できます。
メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 メニュー 2(カ ABC) 6(ハ MNO) を押します。

26.ツウシン マチ カクニン
▲ #001 12:34 スズキ
#002 15:00 ヤマダ
▼ #003 17:30 サトウ
▲▼デ センタク/セットボタン

2 ▲▼で解除する内容を選択します。

確認のみのときは 停止／終了 を押します。

3 Set を押します。

4 解除するときは 1(ア) を押します。

解除を中止するときは 2(カ ABC) を押します。

5 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

● 送信待ちのファクスがないときには「セッテイガ サレテイマセン」と表示されます。

5章

ファクス受信

ファクスを受信する

メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本機は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。

・記録紙がなくなったとき（ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ）
・トナーがなくなったとき（ﾄﾅｰｶﾞ　ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ）
・記録紙がつまったとき（ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ）
・記録紙のサイズを間違ってセットしたとき（ｷﾛｸｼｻｲｽﾞｦ ｶｸﾆﾝ）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

■ メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に外付電話の受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1 呼出ベルが鳴ったら、外付電話の受話器を取ります。

2 ファクスに切り替えることを相手に伝えて を押します。

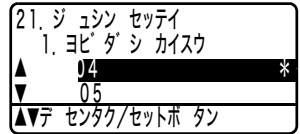
3 カ ABC 2 を押します。

4 受話器を戻します。

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについてはP. 51を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 受話器を取ったとき「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスを自動送信しているときです。スタートを押し、カ ABC 2を押してください。親切受信を「On」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。P. 132
- 相手が自動送信のファクスのときは、呼出ベル（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまう場合があります。このようなときは呼出回数を 6 回以下に設定してください。P. 130
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してスタートを押し、カ ABC 2を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

を押します。

で呼出回数を選択します。

0～10回から選択します。

を押します。

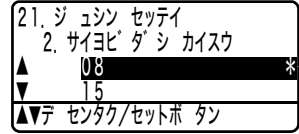
停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は「4回」に設定されています。
- 呼出回数は、「0回」に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信（ノンコール着信）することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を「0回」か「1回」に設定してください。
- 外付電話機を接続している場合、本機の呼出回数を「0回」に設定しても外付電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を7～ 10回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、外付電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには P. 80 を参照してください。

再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

メニュー カ ABC ア カ ABC

を押します。

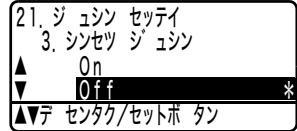
で再呼出回数を選択します。

「08」「15」「20」の中から選択します。

を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は「08」に設定されています。
- 本機は、設定した回数だけ呼出ベルを鳴らしたあと、自動的に電話を切ります。

親切受信で受信する

親切受信機能とは、自動送信でファクスが送られてきた場合、本機が自動受信を開始する前に外付電話機の受話器を上げたときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる機能です。

メニュー カ ABC ア サ DEF を押します。

2

で選択します。

を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

受信時の操作

- 親切受信を「On」に設定している場合は、外付電話機の受話器を上げて、「ポー、ポー」という音が聞こえた場合に約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシン　チュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 親切受信を「Off」に設定している場合は、外付電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、スタート を押し、カ ABC 2 を押して受信します。この時、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは スタート を押し、カ ABC 2 を押してください。

- お買い上げ時は、「Off」に設定されています。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「Off」に設定してください。
- 親切受信の設定が「Off」に設定してある場合でも、外付電話機から操作をしてリモート起動でファクス受信を開始させることができます。P. 134
- 外付電話を接続したらこの機能は大変便利です。
- 本機に外付電話機を接続してファクス、電話兼用回線で使用する場合に設定するのが一般的です。

外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕

親切受信機能 P. 132 をOnに設定しているときは、外付電話機の受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「Off」になっている場合などに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス起動を開始させることができます。

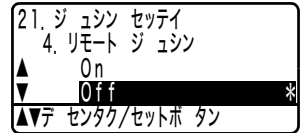
外付電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「# 51」を入力します。受話器は約5秒後に戻します。

本機がファクス受信を始めます。

- リモート起動番号とは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。

■ ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート起動を行うときは、外付電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート番号を入力します。

リモート起動設定のしかた

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を「On」にする必要があります。また、リモート受信番号を自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

を押します。

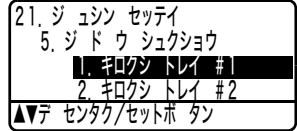
で「On」を選択します。

Set を押します。

リモート受信番号が表示されます。
リモート受信番号（3 桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

Set を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
- リモート起動番号とは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

自動的に縮小して印刷する

A4 の長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に A4 サイズの記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

を押します。

・オプションの拡張ペーパフィーダを装着したときのみ、記録紙トレイの選択画面になります。拡張ペーパフィーダを装着していない場合は手順４へ進みます。

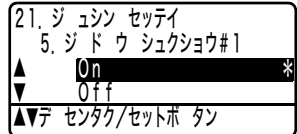
```
21.ジ ュシン セッテイ
  5.ジ ド ウ シュクショウ
     1.キロクシ トレイ #1
     2.キロクシ トレイ #2
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

2 で設定する記録紙トレイを選択します。

「キロクシ　トレイ　＃1」「キロクシ　トレイ　＃2」の中から選択します。

3 Set を押します。

4 で「On」を選択します。

5 Set を押します。

6 停止／終了 を押して操作は終了です。

- お買い上げ時は「On」に設定されています。
- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約 355mm までの原稿を A4 サイズに収まるように縮小して印刷します。約 355mm を超えた原稿は縮小せずに 2 枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小を「Off」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう 1 枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小を「On」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズが A3 や B4 などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を「Off」にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信したファクスを出力する際の印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は 5 段階で設定できます。

1

を押します。

```
21.ジュシン セッテイ
  6.インサツ ノウド
    -□□■□□+
ヤジルシボタンデ センタク
```

2 ◀ ▶ で印刷濃度を設定します。

濃度は 5 段階で調整できます。▶ を押して「+」方向にすると濃くなり、◀ を押して「−」方向にすると淡くなります。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足
- お買い上げ時は中間に設定されています。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力する際、両面印刷するように設定できます。省資源およびランニングコストが低減できます。

1

を押します。

2 で「On」を選択します。

3 Set を押します。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

● お買い上げ時は「Off」に設定されています。

6章

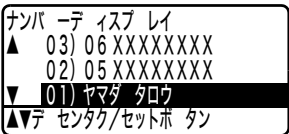
ファクス / 電話の応用機能

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用する

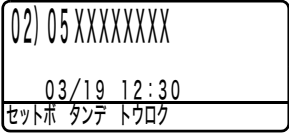
ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。
- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する（P. 164）

着信履歴を検索する

1 ▼シフト を押しながら 電話帳/短縮 を押します。

ナンバーディスプレイ
▲ 03) 06 XXXXXXXX
02) 05 XXXXXXXX
▼ 01) ヤマダ タロウ
▲▼デ センタク/セットボタン

2 ▲▼で検索します。

3 Set を押します。

詳細情報が表示されます。

4 停止／終了 を押して操作は終了です。

電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する

1 ▼シフト を押しながら 電話帳/短縮 を押します。

ナンバーディスプレイ
▲ 03) 06 XXXXXXXX
02) 05 XXXXXXXX
▼ 01) ヤマダ タロウ
▲▼デ センタク/セットボタン

2 ▲▼で電話番号を選択して Set を押します。

02) 05 XXXXXXXX
03/19 12:30
セットボタンデ トウロク

3 もう一度 Set を押します。

```
デ ンワチョウ トウロク
 1. ワンタッチ ダ イヤル
 2. タンシュク ダ イヤル
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

4 ▲▼で「ワンタッチ　ダイヤル」または「タンシュク　ダイヤル」を選択して Set を押します。

5 相手先の名前を入力して Set を押します。

- 名前は 15 文字まで入力できます。
- 登録は未登録番号の一番若い番号にされます。
- 番号に空きがないときは「トウロクガ　イッパイデス」と表示されたあと、手順２に戻ります。

```
デ ンワチョウ トウロク
 #003:05 XXXXXXXX

 ナマエ:ヤマダ ハナコ
ウケツケマシタ
```

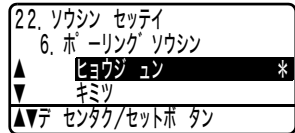
相手の操作で原稿を送信する

標準ポーリング送信をする

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリのメモリーに入っている原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときは「ポーリング送信」といいます。

1 Fax ボタンが緑色に点灯していることを確認して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 メニュー カ ABC 2 カ ABC 2 ハ MNO 6 を押します。

22.ソウシン セッテイ
6.ポ゜ーリング゛ソウシン
▲ ヒョウジ゛ュン *
▼ キミツ
▲▼デ センタク/セットボ゛タン

3 ▲▼で「ヒョウジュン」を選択して Set を押します。

4 他の設定を続けるときは ア 1 を押します。
他の送信設定を行います。
他の設定をしないときは カ ABC 2 を押します。
手順５に進みます。

5 スタート を押すと、原稿がメモリーに読み込まれます。

原稿台ガラスからファクスするときは、P. 97「原稿台ガラスから送信する」の手順６，７を実行してください。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング通信の場合、通話料は受信側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは、P. 125 の「送信待ち確認・送信待ちファクス解除」で解除してください。

機密ポーリング送信をする

受信側と送信側が同じ４桁のパスワードを使用して、ポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする「機密ポーリング送信」を行うことができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と４桁のパスワードを決めておく必要があります。

1 ［Fax］ボタンが緑色に点灯していないときは［Fax］ボタンを押して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2

［メニュー］［2］［2］［6］を押します。

3 ［▲▼］で「キミツ」を選択して［Set］を押します。

4 ４桁のパスワードを入力して［Set］を押します。

5 他の設定を続けるときは［1］を、終了するには［2］を押します。

6 ［スタート］を押すと原稿がメモリーに読み込まれます。

原稿台ガラスからファクスするときは、P. 97「原稿台ガラスから送信する」の手順6，７を実行してください。

補足

- 相手が CP-B300F の場合に、機密ポーリング通信が行えます。

本機の操作で相手の原稿を受信する

標準ポーリング受信する

受信側のファクシミリからの操作で、送信側ファクシミリのメモリーに保存されている原稿を自動的に送信させることを、ポーリング通信といいます。
本機が受信側のときは「ポーリング受信」といいます。

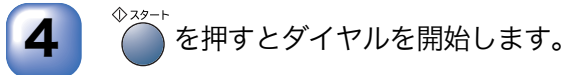
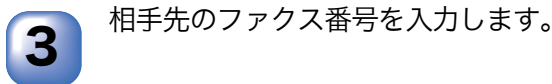
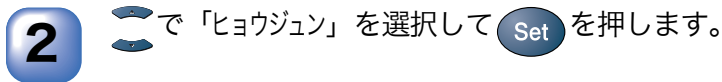
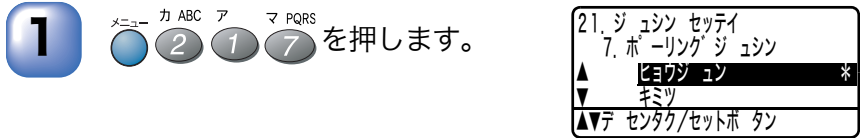
を押します。

2

で「ﾋｮｳｼﾞｭﾝ」を選択してを押します。

3

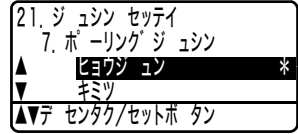
相手先のファクス番号を入力します。

を押すとダイヤルを開始します。

- ポーリング方式のファクス情報サービスも一種のポーリング受信です。

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

順次ポーリング受信する

１回の操作で、複数の相手先からポーリング送信設定してある原稿を受信することを、順次ポーリング受信といいます。

メニュー 2 1 7 を押します。

で「ヒョウジュン」を選択して を押します。

3 ポーリング受信する相手先のファクス番号をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索するか、またはダイヤルボタンによる直接入力で１件目の送信先を選択します。

・例：短縮ダイヤルから指定する（001 番を指定するとき）

電話帳/短縮 ＊ 0 0 1 Set を押します。

4 Set を押します。

（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Set を押します。）

5 ２件目の送信先を手順３のように選択します。

6 Set を押します。

（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Set を押します。）

7 すべての送信先を入力して を押します。

順次受信を行います。

機密ポーリング受信する

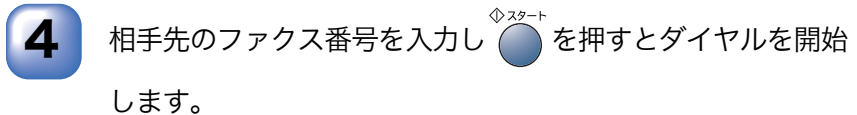
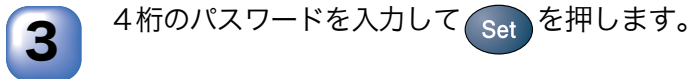
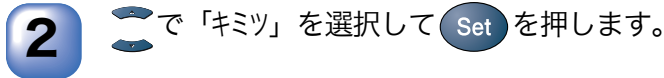
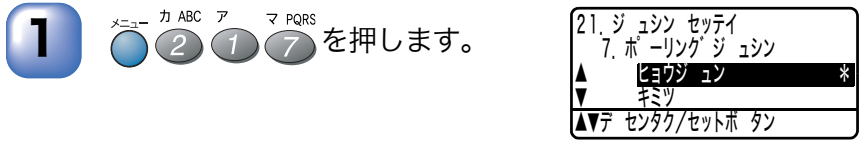
受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して「機密ポーリング受信」を行うことができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

1

を押します。

2 で「キミツ」を選択して Set を押します。

3 4桁のパスワードを入力して Set を押します。

4 相手先のファクス番号を入力し スタート を押すとダイヤルを開始します。

● 相手が CP-B300F の場合に、機密ポーリング通信が行えます。

時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

を押します。

2

で「タイマー」を選択して

Set を押します。

```
21.ジュシン セッテイ
 7.ポーリングジュシン

 シテイ ジコク=00:00
ニュウリョク/セットボタン
```

3

指定時刻を 24 時間制で入力します。

・例：午後３時５分の場合は「15:05」

4

Set を押します。

5

相手先のファクス番号を入力し を押すと設定は終了です。

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開始します。

● 時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P. 125 を参照してください。

メモリー受信を設定する

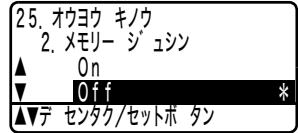
メモリー受信を設定する

メモリー受信を「On」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積します。また、電話呼び出し機能P. 150・ファクス転送機能P. 150・リモコンアクセスP. 155が使用できます。

1 メニュー 2 5 2 を押します。

```
25.オウヨウ キノウ
  2.メモリー ジュシン
▲    On
▼    Off          *
▲▼デ センタク/セットボタン
```

2 ▲▼で「On」を選択します。

3 Set を押します。

4 停止/終了 を押して設定は終了です。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- メモリー受信は最大 500 ページまでできます（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「Off」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリー受信したファクスが蓄積されているとき「Off」に設定すると「ファクス ショウキョ？ 1.Yes 2.No」が表示されます。記録紙がセットしてあれば、1 を押すとファクスメッセージがすべて印刷された後、メモリーから内容が消去されます。
- メモリー受信を「On」に設定してもメモリー受信ができなくなったときは、受信用メモリーがいっぱいです。メモリーに入ったファクスを出力P. 149してメモリーを消去してください。お買い上げ時は「Off」に設定されています。

メモリーに入ったファクスを出力する

メモリー受信が「On」に設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

を押します。

```
25.オウヨウ キノウ
  4.ファクス シュツリョク

スタートボ タンヲ オス
```

を押すと印刷を開始します。

印刷終了後

を押します。

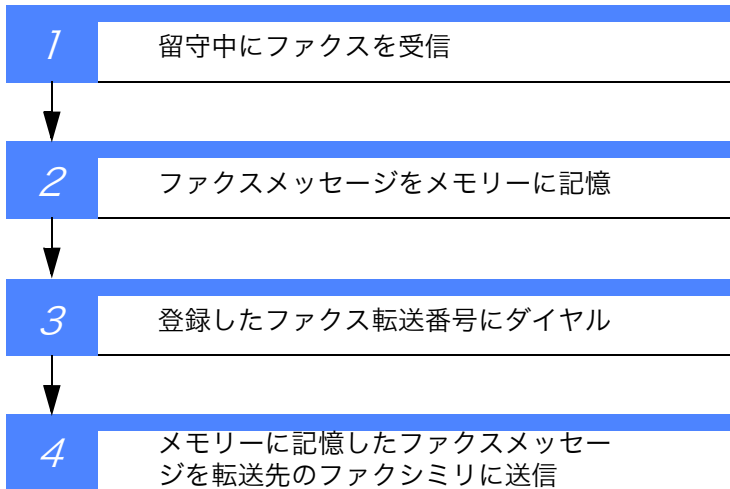
- メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ アリマセン」と表示されますので 停止／終了 を押してください。

電話呼び出し機能とファクス転送

電話呼び出し機能とファクス転送について

メモリー受信を「On」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリーに記憶されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、ファクスメッセージを転送（ファクス転送）することができます。

ファクス転送の流れ

受信したファクスメッセージを、他の場所のファクスに転送することができます。

注意

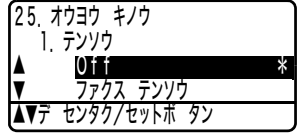
■ 電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

ファクス転送の設定を行う

ファクスを受信すると他の場所のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

を押します。

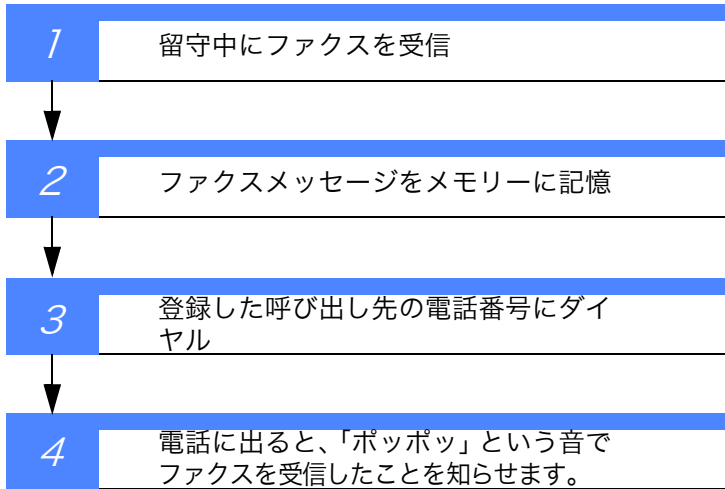
で「ファクス　テンソウ」を選択します。

Set を押します。

転送先番号（転送先の電話番号）を入力して を押します。

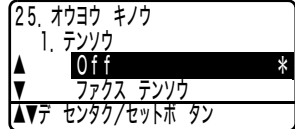
停止／終了 を押して登録と設定は終了です。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。P. 159
- 転送先番号と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。（カッコは入力できません。）
- ファクス転送が終了すると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- メモリーにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ファクス　テンソウ」に設定してもファクスは転送されません。
- ファクス転送の設定を「ファクス　テンソウ」に設定した後、ファクス受信をすると、すべてのメモリーの内容が転送されます。

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

電話呼び出し機能の流れ

電話呼び出し機能の設定を行う

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

を押します。

で「デンワ　ヨビダシ」を選択します。

Set を押します。

呼び出し先番号を入力して Set を押します。

を押して登録と設定は終了です。

補足

- お買い上げ時は「Off」に設定されています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスから暗証番号を使用してファクスメッセージを取り出すことができます。

■ 電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

外出先から本機を操作する：リモコンアクセス

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本機をリモートコントロールするための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

を押します。

```
25.ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ
 3.ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ

 ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ:---*
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

2 暗証番号を入力します。

・ダイヤルボタンで３桁の番号を入力してください。
（暗証番号は最後に「＊」を加えた４桁の番号になります。）

を押します。

を押して設定は終了です。

補足

- 暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の「＊」は変えることができません。

リモコンアクセスをする

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、暗証番号やリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1. 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。
2. 本機が応答し、約４秒間無音状態になりますので、その間に暗証番号をダイヤルボタンで入力します。
3. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示します。
4. 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンドをダイヤルボタンで入力します。
5. リモコンアクセスを終了するときは、⑨⓪を入力します。

補足

- 暗証番号を設定すると、外出先から本機をリモートコントロールすることができます。
- 暗証番号は３桁の数字と「＊」から構成されています。
- お買い上げ時、暗証番号は設定されていません。
- リモコンアクセスコマンドは、外出先から本機に対する設定を変更するための番号です。

補足

- メモリーに蓄積されていないときは「ポー」という音はしないので、そのまま手順 4 へ進みます。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1 つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - ・ファクス専用モードのとき
    メモリー受信の設定が「On」の場合、本機が応答すると、約 4 秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信の設定が「Off」のときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - ・自動切替モードのとき
    本機が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - ・外付留守電モードのとき
    外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（外付の留守番電話に応答メッセージを録音する際にあらかじめ 4 ～ 5 秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - ・電話モードのとき
    呼出ベルが約 35 回鳴るまで待った後、約 30 秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- リモコンアクセスコマンドについてはP. 157を参照してください。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。
- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が 1 回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに 30 秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。

機　　　　能	コマンド
電話呼び出し、ファクス転送の設定を Off にします。	951
ファクス転送に設定します（番号未登録時は設定できません）。	952
電話呼び出しに設定します（番号未登録時は設定できません）。	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、# を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「On」になります。	954
メモリー受信を「On」に設定します。	956
メモリー受信を「Off」に設定します。	957
メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーが記憶したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1. 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2. 本機の電話番号をダイヤルします。
このとき、リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してください。

3. 本機が応答したら、最初の無音４秒間に３桁の暗証番号と（＊）を押します。

4. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに記憶していることを示しています。

5. 取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、（9）（6）（2）を押します。

6. 続けて、外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に（#）を２回押します。

7. 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。

8. 本機からファクスが転送されます。

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2 本機の電話番号をダイヤルします。

3 本機が応答したら、最初の無音４秒間に３桁の暗証番号と ＊ を押します。

4 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、9 5 4 を押します。

5 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力し、最後に # を２回押します。

転送番号は最大 20 桁まで入力できます。（カッコは入力できません。）

6 「ピー」という応答音が聞こえたら、9 0 を押して受話器を置きます。

補足

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、# を１回押します。# を２回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順３の操作を行ってください。

7章

レポート・リスト

レポート・リストの印刷

本機では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	機能案内リスト	簡単操作リストを印刷します。
2	電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
3	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 通信分の結果を印刷します。
4	送信レポート	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

・タイマー通信レポート
　タイマー通信が終了すると印刷されます。
・ポーリングレポート
　ポーリング送信が終了すると印刷されます。
・同報送信レポート
　順次同報送信が終了すると印刷されます。

■ 電源を抜いたまま 2 ～ 3 日放置すると通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

機能案内リストを印刷する

簡単操作のリストを印刷します。

を押します。

を押します。

機能案内リストが印刷されます。

電話帳リストを印刷する

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を、登録番号順に印刷します。

を押します。

を押します。

電話帳リストが印刷されます。

通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の 200 通信分の結果を印刷します。

を押します。

2

スタート を押します。

通信管理レポートが印刷されます。

送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

1

2

スタート を押します。

送信レポートが印刷されます。

設定内容リストを印刷する

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときに印刷します。

1

2

スタート を押します。

設定内容リストが印刷されます。

着信履歴リストを印刷する

1

メニュー タ GHI 4 ハ MNO 6 を押します。

2

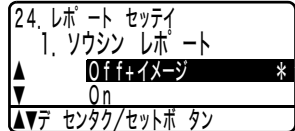
スタート を押します。

着信履歴リストが印刷されます。

- 着信履歴リストを印刷するには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- 着信履歴リストを印刷するには、ナンバー・ディスプレイを「On」に設定してください。P. 88

送信レポートの出力設定

送信レポートを自動的に印刷するときの設定を変更することができます。

1 を押します。

2 で印刷する送信レポートの出力設定を選択します。

「On」「On +イメージ」「Off」「Off +イメージ」の中から選択します。

3 Set を押します。

4 停止/終了 を押して操作は終了です。

補足

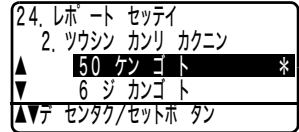
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の 4 種類の中から選択します。お買い上げ時は「Off +イメージ」に設定してあります。

On:	送信後に毎回自動的に印刷します。
On+ イメージ：	「On」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。
Off：	通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
Off+ イメージ：	「Off」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。

- リアルタイム送信時には画像は表示されません。

通信管理レポートの出力間隔を設定

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

メニュー カ ABC 2 タ GHI 4 カ ABC 2 を押します。

2

で間隔を設定し、を押します。

「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」「6 ジカンゴト」「12 ジカンゴト」「24 ジカンゴト」「2 カ ゴト」（2日ごと）「7 カ ゴト」（7日ごと）の中から選択します。

3

開始時間を入力し、を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は、「レポートシュツリョク シナイ」に設定されています。
- 「レポートシュツリョク シナイ」「50 ケン ゴト」以外に設定したときは開始時間を基準に印刷します。このとき通信管理レポートの内容はメモリーからクリアされます。
- 「レポートシュツリョク シナイ」に設定したときは、必要なときにメニュー タ GHI 4 サ DEF 3 を押すと印刷することができます。このとき通信管理レポート内容はクリアされません。
- 手順2で「7日ごと」を設定した場合、Set を押した後に曜日の設定になります。

印刷カウンタを表示する

本機は印刷した枚数をカウントし、表示する機能を持っています。

を押します。

「ゴウケイ」「コピー」「プリンタ」「ファクス」のカウンタ値が表示されます。
「プリンタ」「ファクス」のカウンタ値は、またはを押して表示させます。

```
28.インサツ カウンタ
▲    ゴ ウケイ      :XXXXXX
▼    コピ ー        :XXXXXX
```

を押して操作は終了です。

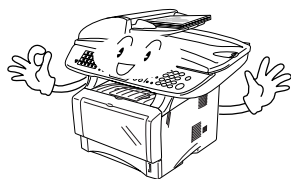
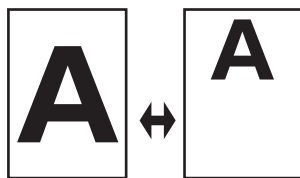
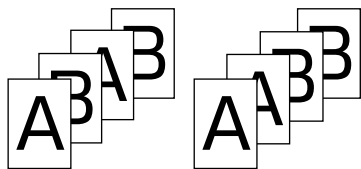
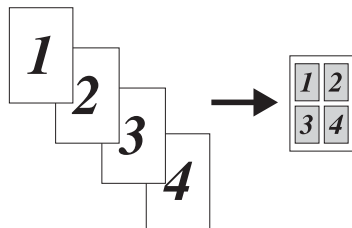
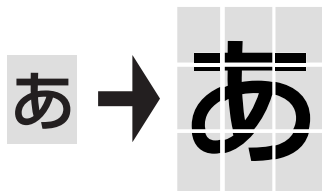
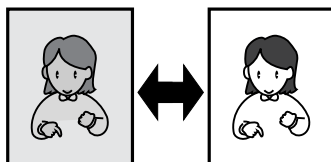
8章

コピー

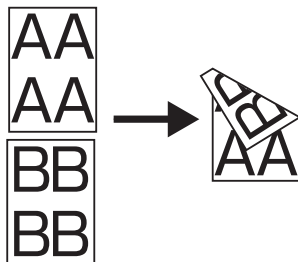
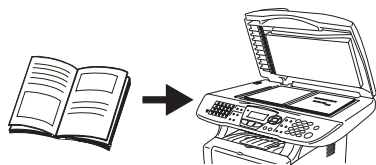
コピーをする前に

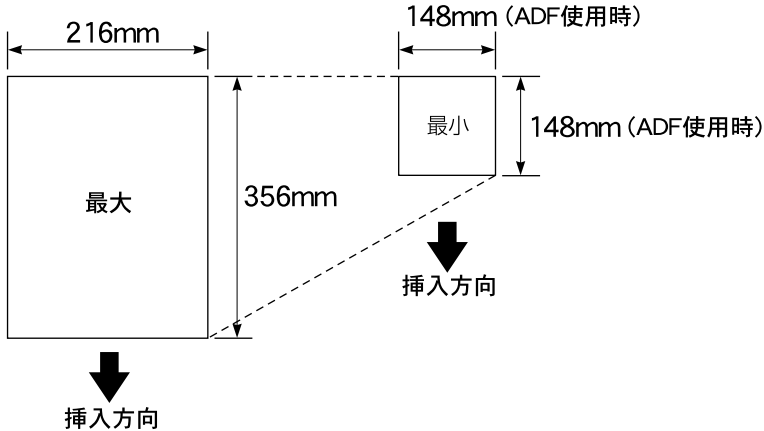
コピー機能について

本機には以下のコピー機能が備わっています。利用目的に合わせてお使いください。

たくさんの文書を連続コピーすることができます。(ADF：自動原稿送り装置) P. 175

拡大 / 縮小コピーができます。P. 180

効率よく複数部コピーできます。P. 183

２枚または４枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーできます。(2 in 1、4 in 1) P. 184

ポスターサイズにコピーできます。P. 190

画質のコントラストを変えられます。P. 181

画質をきれいにコピーできます。P. 181

両面にコピーできます。

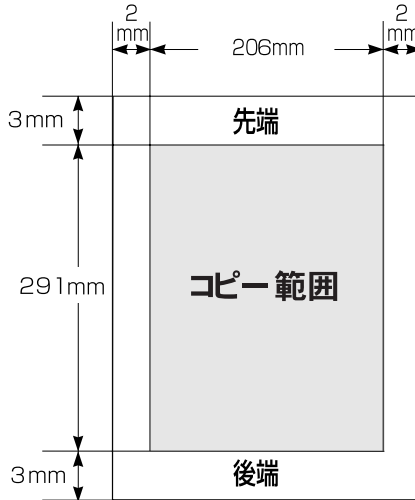
P. 184

本などの原稿を原稿台ガラスからコピーできます。P. 177

原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以下のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

厚さ	：0.08mm ～ 0.12mm（ADF（自動原稿送り装置）使用時）
坪量	：64g/m^2 ～ 90g/m^2（ADF（自動原稿送り装置）使用時）
最大厚み	：30mm（原稿台ガラス使用時）
最大質量	：2kg（原稿台ガラス使用時）

補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらでコピーするかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF からコピーされます。ADF に原稿がないときは原稿台ガラスからコピーされます。
- 原稿サイズは概算値ですので、目安としてお使いください。
- 特に濃い、または薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。
- 通常、コピー用紙は A4 をお使いください。
- 原稿がはがきの場合、ADF（自動原稿送り装置）からコピーすることはできません。

コピー範囲

コピー倍率が 100%の場合の A4 サイズのコピー範囲を次に示します。

補足

- コピー時の読み取り範囲の最大幅は 212mm ですが、印刷範囲の最大幅が 206mm のため、コピー倍率が 100%の場合の A4 サイズのコピー範囲の最大は 206mm × 291mm となります。なお、各数値は概算値です。目安として参考にしてください。

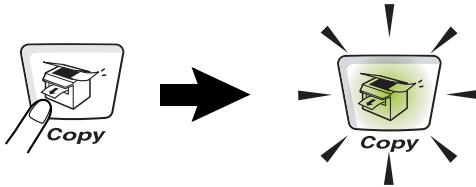
注意

■ 法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

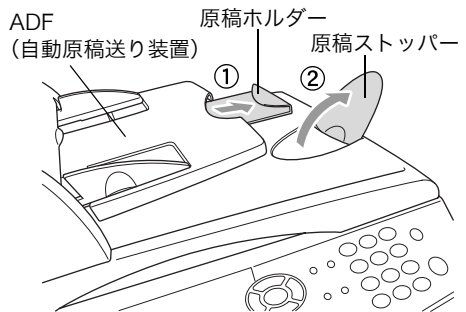
- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や官製はがき
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

コピーをする

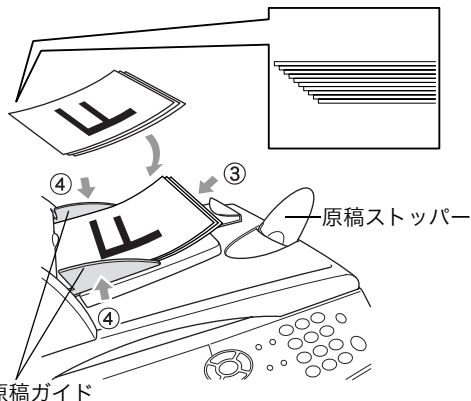
コピーモードにする

コピーをするには ボタンが緑色に点灯してコピーモードになっていることを確認してください。
もし、緑色に点灯していないときは、 ボタンを押してコピーモードにします。コピーをしないと、設定されているモードタイマーP. 76時間後、自動的にファクスモードに戻ります。

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーする

1 ボタンを押して緑色に点灯させます。

2 原稿ストッパー（②）と、原稿ホルダー（①）を開きます。

☞次ページへ続く

3 原稿を表向きにして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込んでください（③）。

・原稿は一度に 50 枚 (64g/m2) までセットできます。

4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます（④）。

5 コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときは、ソート を押します。

P. 183

6 スタート を押すと、コピーが開始されます。

補足

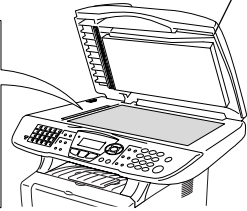
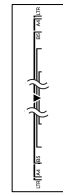
- ADF（自動原稿送り装置）に複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときは P. 207 を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは 停止／終了 を押してください。

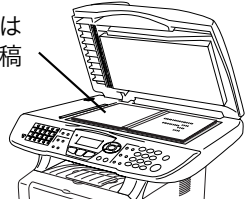
注意

- ■ ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシートはお使いになれません。
- ■ キャリアシートにセットした原稿は、原稿台ガラスからコピーしてください。
- ■ 重要な原稿は ADF（自動原稿送り装置）を使用しないでください。原稿台ガラスからコピーしてください。万一 ADF のトラブルにより原稿が汚損した場合、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

原稿台ガラスからコピーする

1 ボタンを押して緑色に点灯させます。

2 原稿台カバーを持ち上げます。

3 原稿台ガラスに原稿を裏向きにセットします。

左右方向は左端に、前後方向は左側の原稿ガイドを利用して中央にセットします。

4 原稿台カバーを閉じます。

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押してください。

5 コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。

1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

6 を押すと、コピーが開始されます。

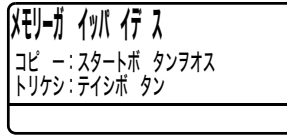
補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- 原稿台ガラスは常にきれいにしておきましょう。汚れていると、きれいなコピーができません。
- コピー枚数の取り消しは 停止/終了 を押してください。
- ソートコピーする場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。P. 175

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本機内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイに次の内容が表示されます。

```
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ
ｺﾋﾟｰ:ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦｵｽ
ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ
```

このときは、停止／終了を押すとコピーがキャンセルされます。

コピーで使用できるメモリーを増やすには

以下のいずれかの方法でコピー時に使用できるメモリーを増やすことができます。

・ファクスのメモリー受信機能を「Off」に設定します。P. 148

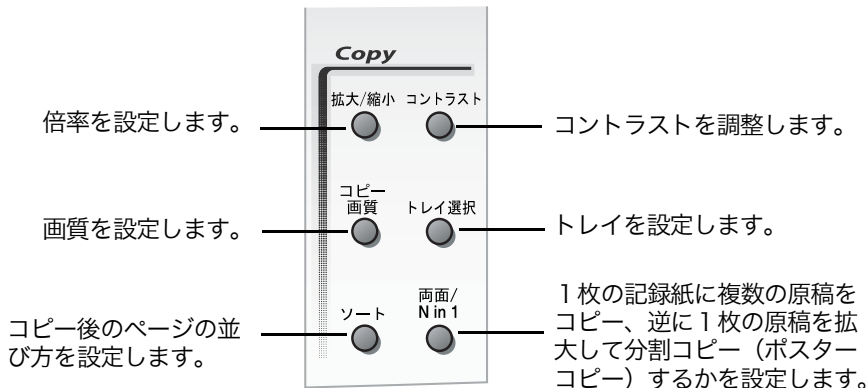
・メモリーに受信したファクスを印刷します。P. 149

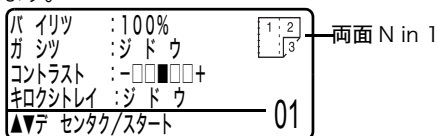
補足

● 「メモリーガ　イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

● このメッセージが頻繁に表示されるような使用状態の場合は、市販のメモリーボードを増設されることをお薦めします。P. 194

コピー設定：一時的に設定する

次のボタンを使用することで、コピーに関する設定内容を一時的に変更することができます。

- サブメニューで設定／選択後、Set を押すと、液晶ディスプレイには以下のように表示されます。

両面 N in 1

続けて、他の設定をする場合は、▲▼ で設定する項目を選択します。設定を終了する場合は スタート を押して、コピーを開始してください。

- 一時的に変更した設定内容は、約 60 秒間保持されます。
- 初期設定を変更する場合は P. 192 を参照してください。

拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。
1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 拡大/縮小 を押して ▶ を押した後、▲▼ で倍率を選択します。
倍率は以下の中から選択します。
- ・100%
- ・115%　B5 → A4
- ・141%　A5 → A4
- ・200%
- ・ジドウ
- ・カスタム（25%～ 400%：ダイヤルボタンで入力）
- ・50%
- ・70%　A4 → A5
- ・83%　サイダイ→ A4
- ・87%　A4 → B5
- ・91%　フルページ
- ・94%　A4 → US レター
- ・97%　US レター→ A4

4 Set を押します。

```
ﾊﾞｲﾘﾂ　　:100%
ｶﾞｼﾂ　　 :ｼﾞﾄﾞｳ
ｺﾝﾄﾗｽﾄ　 :-□□■□□+
ｷﾛｸｼﾄﾚｲ　:ｼﾞﾄﾞｳ
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｽﾀｰﾄ　01
```

5 スタート を押すと、コピーが開始されます。

補足
- ● 原稿によっては画像が欠ける場合があります。
- ● 「ｼﾞﾄﾞｳ」は ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときのみ液晶ディスプレイに表示されます。

コピーの画質を設定する

画質を変えてコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。
1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 コピー画質 を押し、◀または▶でコピーの画質を選択します。
「ジドウ」「テキスト」「シャシン」の中から選択します。

バ イリツ :100%
ガ シツ :ジ ド ウ ▶
コントラスト :-□□■□□+
キロクシトレイ :ジ ド ウ
01

4 Set を押します。

5 スタート を押すと、コピーが開始されます。

コントラストを調整する

コピーのコントラストを変えることができます。

1 Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。
1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 コントラスト を押し、◀または▶でコントラストを調整します。

☞ 次ページへ続く

4 Setを押します。

5 スタートを押すと、コピーが開始されます。

記録紙トレイを選択する

1 Copyボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

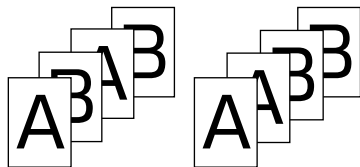
2 コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。
1部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 トレイ選択を押し、◀または▶で記録紙トレイを選択します。
「ジドウ」「#1」「#2」＊1「タモクテキ」の中から選択します。（「#1」「#2」に続く（XX）は、トレイに設定されている用紙サイズが表示されます。）
＊1：オプションの拡張ペーパフィーダを装着時のみ選択できます。

バイリツ　：100%
ガシツ　　：ジドウ
コントラスト：-□□■□□+
キロクシトレイ：ジドウ ▶
01

4 Setを押します。

5 スタートを押すと、コピーが開始されます。

ソートコピーかスタックコピーかを設定する

複数のコピーを仕分けしてコピー（ソートコピー）するときは、ソートを押して指定します。ソートを押さないと、そのまま枚数分を順にコピー（スタックコピー）します。
ソートコピーをするときは、ADF（自動原稿送り装置）を利用してください。

Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。

ソート を押します。

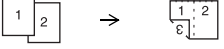
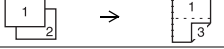
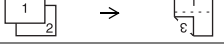
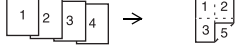
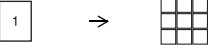
スタート を押すと、コピーが開始されます。

補足

- コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- コピー枚数を間違えて入力した場合は、停止／終了 を押して手順2からやり直してください。
- 1 枚の原稿がメモリーに入り切らないときは、複数部コピーはできません。1 枚コピーを繰り返してください。
- コピー中に記録紙がなくなったときは、記録紙をセットするとコピーは続けられます。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまったときはP. 207 を参照してください。

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

注意

■ 原稿の読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは 停止/終了 を押してコピーを停止させて、キャンセルするか、スタート を1回押して、メモリーに読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう一度コピーし直してください。

■ メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

両面 /N in 1 コピー

コピーのしかたを以下の種類から選択できます。

レベル 1	レベル 2	オプション	原稿 → コピー
N in 1	ー	2 in 1 (タテナガ)	
		2 in 1 (ヨコナガ)	
		4 in 1 (タテナガ)	
		4 in 1 (ヨコナガ)	
リョウメン (1 in 1)	タテナガ 1		
	タテナガ 2	カタメン	
		リョウメン	
	ヨコナガ 1	カタメン	
		リョウメン	
	ヨコナガ 2		

レベル１	レベル２	オプション	原稿　→　コピー
リョウメン (2 in 1)	ー	タテナガ１	
		タテナガ２	
		ヨコナガ１	
		ヨコナガ２	
リョウメン (4 in 1)	ー	タテナガ１	
		タテナガ２	
		ヨコナガ１	
		ヨコナガ２	
ポスター	ー	ー	
Off	ー	ー	ー

N in 1 コピー（片面）のしかた

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚にコピーすることができます。

1 Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。
1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 両面/N in 1 を押し、▲▼で「N in 1」を選択して Set を押します。

4 ▲▼で希望するレイアウトを選択して Set を押します。
「2 in 1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)」「2 in 1 (ﾖｺﾅｶﾞ)」「4 in 1 (ﾀﾃﾅｶﾞ)」「4 in 1 (ﾖｺﾅｶﾞ)」の中から選択します。

5 必要に応じて画質設定、コントラスト調整、トレイの選択を行います。

6 スタート を押します。
原稿を読み取ります。
・ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
・原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順 7 に進みます。

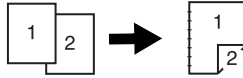
7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして ア 1 を押します。
原稿を読み取ります。

8 原稿枚数分手順 7 の操作を繰り返します。
2 in 1 のときは 2 枚の原稿を読み取る毎に、4 in 1 のときは 4 枚の原稿を読み取る毎にコピーが開始されます。

9 すべての原稿を読み取った後、カ ABC 2 を押します。
コピーが開始されます。

補足
● N in 1 コピーでは、縮小／拡大機能は使えません。

1 in 1 コピー（両面）のしかた

片面原稿から両面コピーする

1 ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。
1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 両面/N in 1 を押し、で「ﾘｮｳﾒﾝ (1 in 1)」を選択して Set を押します。

4 を押してコピー方法を選択して Set を押します。
「ﾀﾃﾅｶﾞ1」「ﾀﾃﾅｶﾞ2」「ﾖｺﾅｶﾞ1」「ﾖｺﾅｶﾞ2」から選択します。「ﾀﾃﾅｶﾞ1」「ﾖｺﾅｶﾞ2」を選択したときは、手順６に進みます。

5 を押して、原稿にあわせて「ｶﾀﾒﾝ」を選択して Set を押します。
原稿台ガラスに原稿をセットした場合、および手順２でコピー部数を変更した場合、この選択はありません。

6 スタート を押します。
原稿を読み取ります。
・ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
・原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順７に進みます。

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして ア 1 を押します。
原稿を読み取ります。

次ページへ続く

8 原稿枚数分手順７の操作を繰り返します。

両面分の原稿を読み取る毎にコピーが開始されます。

9 すべての原稿を読み取った後、カ ABC 2 を押します。

コピーが開始されます。

両面原稿から両面コピーする

（コピー部数を複数に指定することはできません。）

1 Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2 両面/N in 1 を押し、▲▼で「リョウメン（1 in 1）」を選択して Set を押します。

3 ▲▼を押して向きを選択して Set を押します。

「タテナガ2」「ヨコナガ1」から選択します。

4 ▲▼を押して、原稿にあわせて「リョウメン」を選択して Set を押します。

5 スタート を押します。

液晶ディスプレイに表面の原稿をセットするよう表示されます。再度 スタート を押します。

6 すべての原稿の片面を読み取り後、もう片面を ADF（自動原稿送り装置）に上向きにセットして スタート を押します。

原稿読み取り後、コピーが開始されます。

2 in 1／4 in 1 コピー（両面）のしかた

1 Copy ボタンを押して緑色に点灯させます。
ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 コピーしたい部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。
1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3 両面/N in 1 を押し、▲▼でコピー方法を選択して Set を押します。
「リョウメン（2 in 1)」または「リョウメン（4 in 1)」から選択します。

4 ▲▼を押して向きを選択して Set を押します。
「ﾀﾃﾅｶﾞ1」「ﾀﾃﾅｶﾞ2」「ﾖｺﾅｶﾞ1」「ﾖｺﾅｶﾞ2」から選択します。

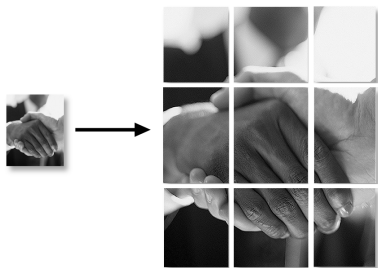
5 スタート を押します。
原稿を読み取ります。
・ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしていたときは順次原稿を読み取り、コピーが開始されます。（これで操作は終了です。）
・原稿台ガラスに原稿をセットしていたときは、手順 6 に進みます。

6 原稿台ガラスに次の原稿をセットして ア 1 を押します。
原稿を読み取ります。

7 原稿枚数分手順 6 の操作を繰り返します。
2 in 1 のときは 4 枚の原稿を読み取る毎に、4 in 1 のときは 8 枚の原稿を読み取る毎に両面コピーが開始されます。

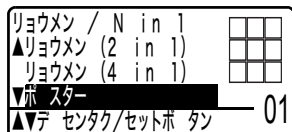
8 すべての原稿を読み取った後、カ ABC 2 を押します。
コピーが開始されます。

ポスターコピーのしかた

１枚の原稿を９枚の記録紙に分割拡大（ポスター）コピーすることができます。

■ 記録紙サイズは「A4」を選択してください。

■ ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

1 Copy ボタンが緑色に点灯していることを確認して、原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 両面/N in 1 を押し、▲▼で「ポスター」を選択して Set を押します。

3 スタート を押します。

原稿を読み取りポスターコピーが開始されます。

補足

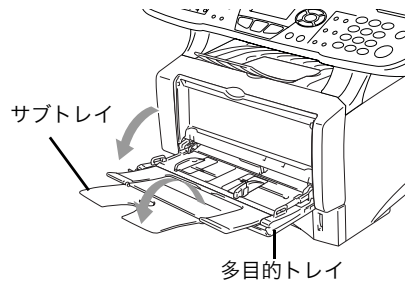
- ポスターコピーでは、縮小／拡大機能は使えません。
- ポスターコピーは２部以上のコピーをすることはできません。

多目的トレイを使用する

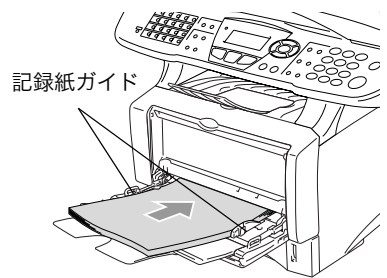
本機の前面に多目的トレイがあります。厚い記録紙にコピーするときは、多目的トレイを使用してください。

Copy ボタンが緑色に点灯していることを確認して、ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

多目的トレイを開けます。

必要に応じて、サブトレイを開きます。

3

印刷したい面を上にして記録紙をトレイへ入れます。

記録紙ガイドの凸部までの枚数の記録紙をセットしてください。

4

記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせます。

トレイ選択 を押し、◀ または ▶ を押して「ﾀﾓｸﾃﾃｷ」を選択します。

スタート を押すと、コピーが開始されます。

コピー設定：設定内容を保持する

お買い上げ時の本機の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。
一時的に設定内容を変更する場合はP. 179 を参照してください。

初期設定を変更する（画質）

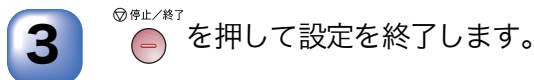
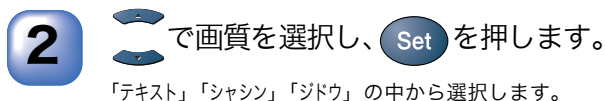
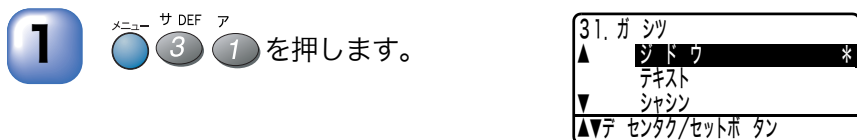
「画質」のレベルを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1

を押します。

2 で画質を選択し、Set を押します。

「テキスト」「シャシン」「ジドウ」の中から選択します。

3 停止／終了 を押して設定を終了します。

補足

- 画質は、お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

初期設定を変更する（コントラスト）

「コントラスト」のレベルを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1

を押します。

32.コントラスト
-□□■□□+
ヤジ ルシボ タンデ センタク

2 または でコントラストを調整し、Set を押します。

3 停止／終了 を押して設定を終了します。

9章

オプション

メモリーボード

メモリーボードは、本機内部のメインコントロールボード（本体の基板）に取り付けます。

メモリー容量	メモリーボード（オプション）
32 MB	㈱アドテック AD-32M100SD
64 MB	㈱アドテック AD-64M100SD
128 MB	㈱アドテック AD-128M100SD

使用できるメモリーボードは DIMM タイプです。
一般的に、DIMM は下記の仕様が必要となります。

タイプ	100 ピンおよび 32 ビットの出力
CAS レイテンシイ	2 または 3
クロック周波数	66 MHz 以上
容量	32、64、128 MB
高さ	35 ミリ以下
パリティ	なし
DRAM タイプ	SDRAM 4 バンク

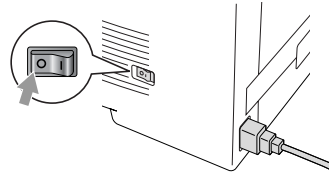
補足

- メモリーボードの空きは 1 スロットです。
- メモリーボードの中には、本機では作動しないものがあります。当社推奨のメモリーボードをお使いください。

  最新の情報は、下記の当社ホームページをご覧ください。
  http://www.casio.co.jp/ppr/

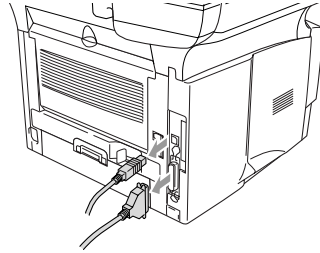
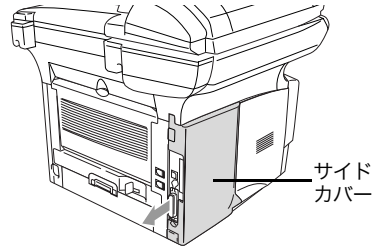
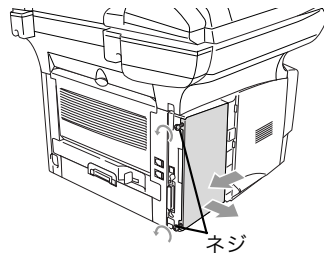
■ メモリーボードを取り付ける（あるいは取り外す）前に電源コードを外してください。

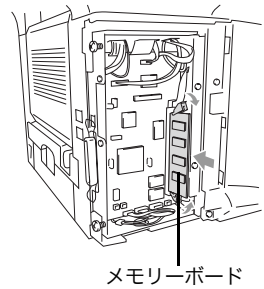
メモリーボードを取り付ける

1 本機の電源を切ります。

2 電話線を外した後、AC 差し込み口から本体の電源コードを外し、次にプリンタケーブルを外します。

3 サイドカバーを取り外します。

4 プレートを固定している２本のネジをゆるめ、プレートを取り外します。

☞次ページへ続く

5 メモリーボードをメインコントロールボードのコネクタに差し込みます。

・メモリーボードを持つときは端をお持ちください。ボードの表面には触れないでください。
・メモリーボードがメインコントロールボードにしっかり差し込まれているか確認してください。

6 プレートを取り付け、２本のネジで固定します。

7 サイドカバーを取り付けます。

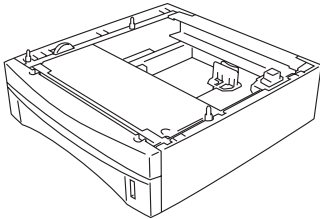
8 プリンタケーブルを接続した後、AC 差し込み口へ電源コードを差し込みます。

9 本機の電源を入れます。

補足

● 本機のメモリーサイズは、設定内容リストで確認できます。P. 164

拡張ペーパフィーダ

拡張ペーパフィーダを購入すれば、本機の記録紙トレイに加えてもう一つの給紙トレイとして使用することができます。
拡張ペーパフィーダは、64 g/m^2 の記録紙が 250 枚セットできます。

拡張ペーパフィーダ
CP-B3CPF

本機への取り付け方法は、拡張ペーパフィーダに付属の説明書をご覧ください。

● 拡張ペーパフィーダの取り付け後、本機に付いている記録紙トレイと、拡張ペーパフィーダに付いている記録紙トレイを交換してください。交換しないと印刷できません。

記録紙の規格

	普通紙
坪量	トレイ　60g/m^2 ～ 105g/m^2
厚さ	0.08mm ～ 0.13mm
水分含有量	重量の 4% ～ 6%

セットできる記録紙枚数

種類	記録紙枚数
普通紙（64g/m^2 紙）	約 250 枚

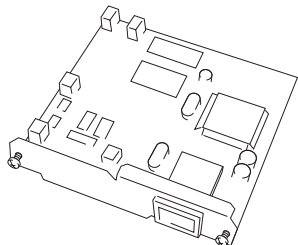
推奨する記録紙

・富士ゼロックスオフィスサプライ P 紙（64g/m^2）

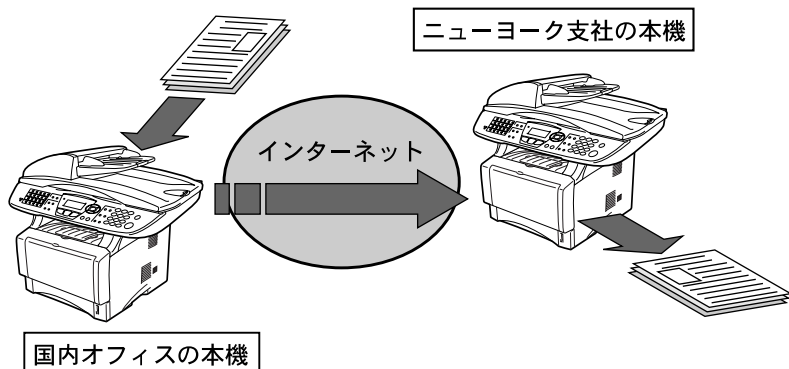
■ 拡張ペーパフィーダを取り付ける（あるいは取り外す）前に電源コードを外してください。

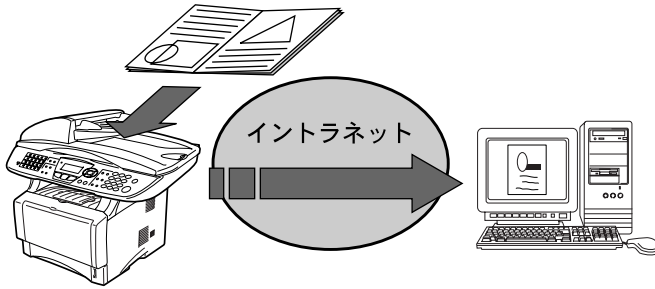
LAN I/F ボード

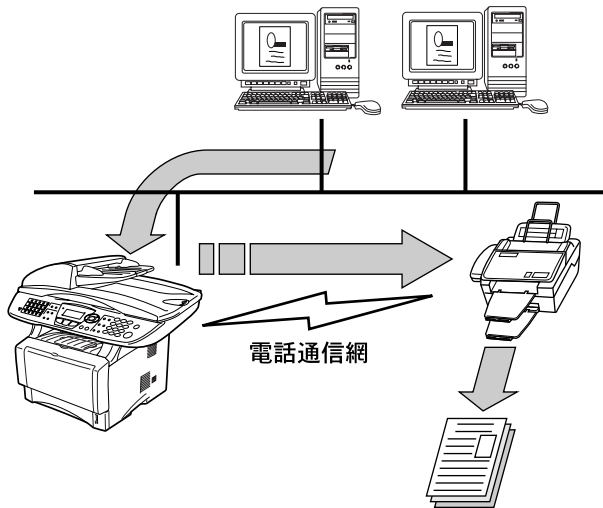
ネットワークの設定については、付属CD-ROMのネットワーク設定説明書(PDFマニュアル)を参照してください。

LAN I/F ボード(CP-LA300)を取り付けると、本機をネットワーク内で使用することが可能になります。インターネットファクス、ネットワークスキャナ、ネットワーク PC-FAX、ならびにネットワークプリンタ共有の機能など、本機の豊富な機能をネットワークの世界にまで広げます。また本機の設定をパソコンから行えるので、設定の変更や電話帳の管理なども容易になります。

インターネットファクス機能

通常の電話回線のかわりにインターネットを使用してファクス文書の送信を行いますので、遠くの相手に送る場合も通信費が節約できます(送信元、送信先の機器がインターネットファクス* に対応しており、それぞれに予め Eメールアドレスが付与されている必要があります)。

*ITU-T 勧告による T.37 Simple mode に準拠

ネットワークスキャナ機能

ネットワーク上の本機で読み取ったイメージをEメールでパソコンへ送信したり、オフィスのネットワーク内で共有スキャナとして使用ができます。

ネットワーク PC-FAX 送信機能

ネットワーク内で本機のファクス機能を共有でき、ファクスサーバとして使用できます。パソコンのアプリケーションを使用して作成した文書を本機経由で直接ファクス送信できますので、利便性が飛躍的にあがります。

ネットワークプリンタ機能

オフィスなどのネットワーク内で、本機を共有プリンタとして使用することができます。LAN I/F ボード（CP-LA300）は TCP/IP, IPX/SPX など多くの通信プロトコルに対応しており、ネットワーク環境を選びません。

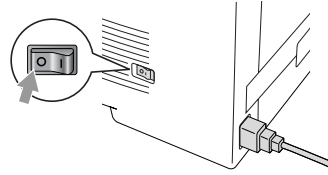
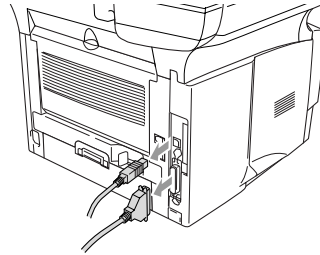
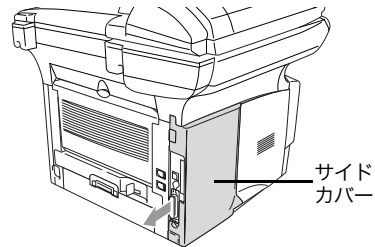
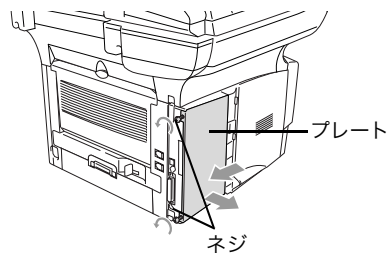
補足

- パソコンなどから TIFF-F 形式のファイルを Eメールに添付して本機に送信することも可能です。その場合、メールのヘッダや本文に使用できるのは半角英数のみになります。日本語などの２バイト文字は使用できません。
- ダイヤルアップルータ (ISDN) 経由、常時接続、または LAN(ローカルエリアネットワーク) にて、本機がメールサーバ (POP3/SMTP) へ接続できる環境が必要になります。通信速度及びセキュリティの側面から、LAN 内でメールサーバに常時接続できる環境でのご使用を推奨します。
- ISP やホスティングサービス業者等のメールサーバにおいて、メール容量上限が設けられている場合、データ量によっては送信できない場合があります。
- LAN I/F ボード（CP-LA300）に関する最新の詳しい情報は、当社ホームページに掲載されます。

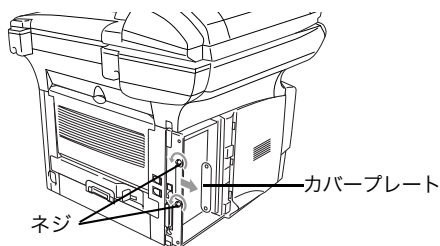
  http://www.casio.co.jp/ppr/

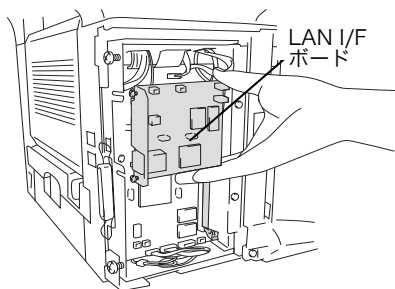
■ LAN I/F ボード（CP-LA300）を取り付ける（あるいは取り外す）前に電源コードを抜いてください。

LAN I/F ボード（CP-LA300）を取り付けます

1 本体の電源を切ります。

2 電話線を外した後、電源コードとプリンタケーブルを取り外します。

3 サイドカバーを取り外します。

4 プレートを固定している２本のネジをゆるめ、プレートを取り外します。

☞ 次ページへ続く

5 カバープレートを固定している２本のネジをゆるめ、カバープレートごと取り外します。

6 LAN I/F ボードをメインコントロールボードのコネクタに差し込みます。

・LAN I/F ボードを持つときはボードの端をお持ちください。ボードの表面には触れないでください。
・LAN I/F ボードがメインコントロールボードにしっかり差し込まれているか確認してください。

7 LAN I/F ボードを２本のネジで固定します。

8 プレートを取り付け、２本のネジで固定します。

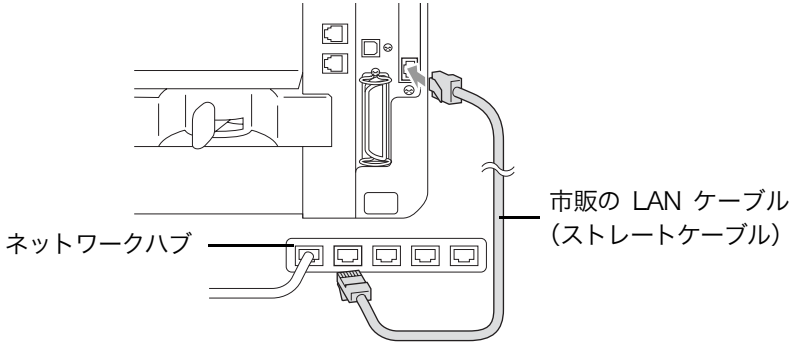
9 サイドカバーを取り付けます。

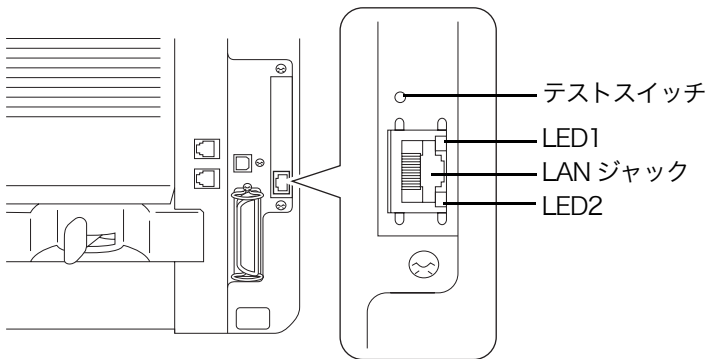
10 手順２で取り外したプリンタケーブル、電話線、電源コードを差し込みます。

11 本体の電源を入れます。

ネットワークへ接続します

市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使って、LAN I/F ボード（CP-LA300）の LAN ジャックとネットワークハブを接続します。

- 10Base-T の LAN に接続する場合：カテゴリ 3 以上のケーブル
- 100Base-TX の LAN に接続する場合：カテゴリ 5 のケーブル

LED ランプについて

- LED1、LED2 共に消灯：ネットワークに接続されていない状態
- LED1 が点灯
  100Base-TX ネットワークにリンク時はオレンジ色に点灯します。
  10Base-T ネットワークにリンク時は緑色に点灯します。
- LED2 が点滅
  ネットワークに接続されている状態では黄色で点滅します。

テストスイッチについて

・テストスイッチを短い時間押すと、ネットワーク設定ページを印刷します。
・テストスイッチを５秒以上押し続けると、ネットワーク設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

● LAN I/F ボード（CP-LA300）の設定のしかたについては、付属の CD-ROM 内のネットワーク設定説明書（PDF マニュアル）を参照してください。

10章

日常のお手入れ

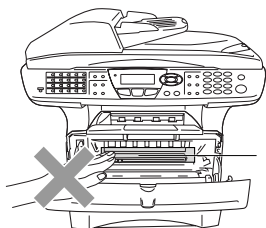
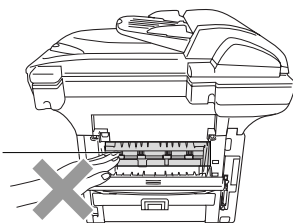
紙づまりについて

紙づまりのときのメッセージ

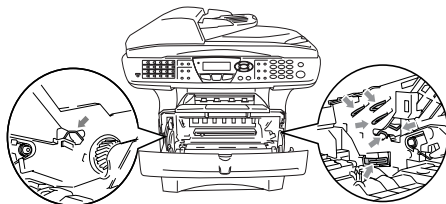
紙づまりのときは、ステイタスランプが赤色で点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

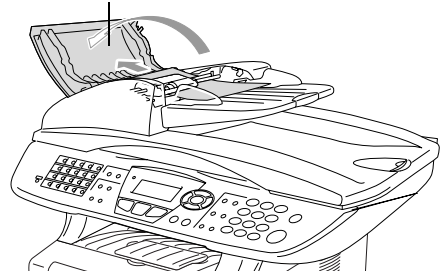
原稿がつまったとき	ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
記録紙がつまったとき	ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｷﾛｸｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ

■ 本機の内部を操作するときは、必ず電源コードをコンセントから抜き取ってから行ってください。

■ 本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機の上部カバーを開けたときは、下図の網かけされた部分には絶対に触れないでください。

前面図　　後面図

■ つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが散乱することがあります。

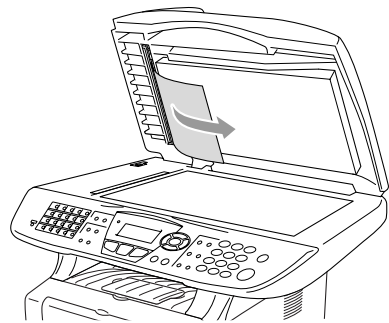
■ 本機の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本機が破損することがあります。

ADF（自動原稿送り装置）の入り口で原稿がつまったときは

1. 送り込まれていない原稿を取ります。
2. ADF（自動原稿送り装置）カバーを開きます。
3. つまった原稿を左側に引いて取り除きます。

4. ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じます。
5. 停止／終了 を押します。

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1. ADF（自動原稿送り装置）からつまっていない原稿を取ります。
2. 原稿台カバーを開きます。
3. つまった原稿を右側に引き出します。

4. 原稿台カバーを閉じます。

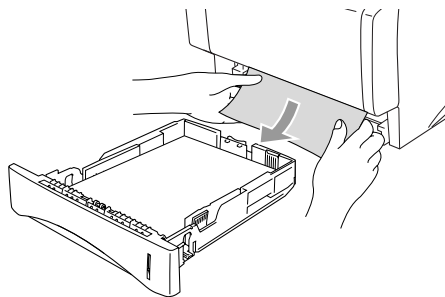
5. 停止／終了 を押します。

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

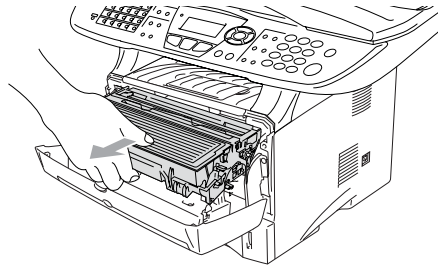
1 原稿トレイからつまっていない原稿を取ります。

2 つまった原稿を右側に引き出します。

3 停止／終了 を押します。

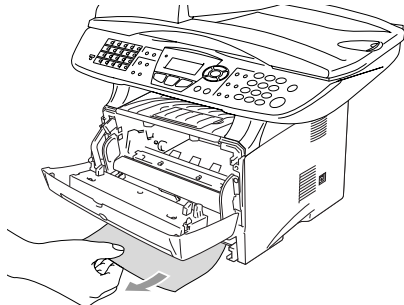
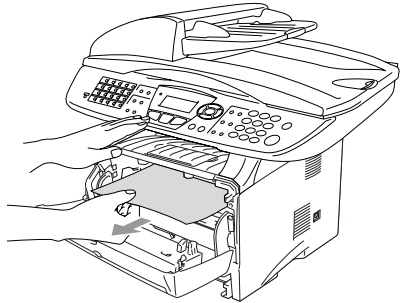
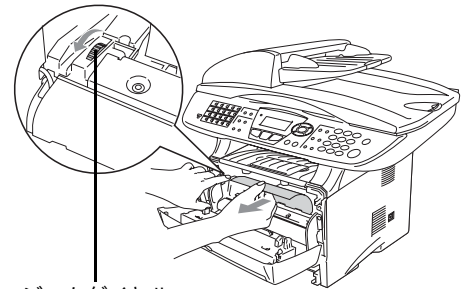
内部で記録紙がつまったときは

1 記録紙トレイを引き抜き、つまった記録紙を取り除きます。

2 本機の電源コードを抜きます。フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開きます。

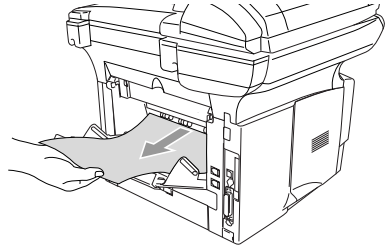
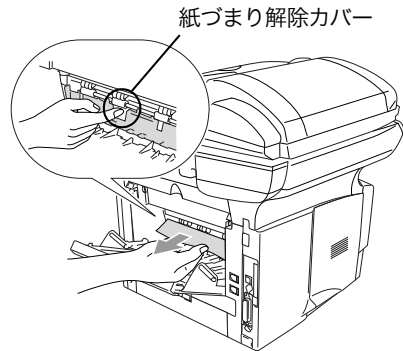
3 ドラムユニットを手前に引き出します。

4 つまった記録紙を取り除きます。

破らないようにゆっくりと引き出してください。

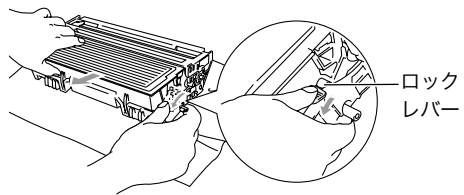
もし簡単に引き出せないときは、無理に引き出さないで、次の方法で取り除いてください。

つまった記録紙のふちを持って引き出してください。

ジャムダイヤルを図の矢印の方向に回しながら、つまった用紙を引き出してください。

☞ 次ページへ続く

5 背面排紙トレイを開き、つまった記録紙を取り除きます。

破らないようにゆっくりと引き出してください。

6 紙づまり解除カバーを開き、フューザーユニットからつまった記録紙を引き出します。

7 紙づまり解除カバーを閉じ、背面排紙トレイを閉じます。

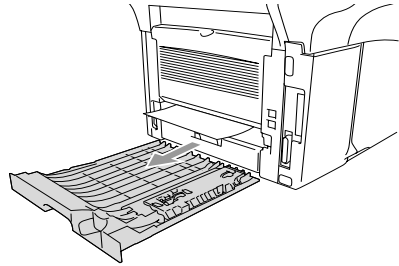
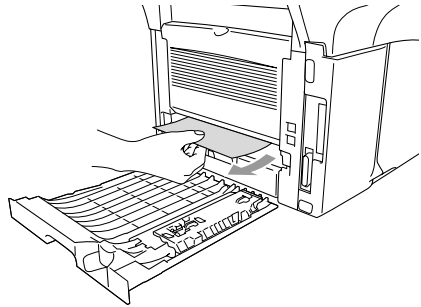
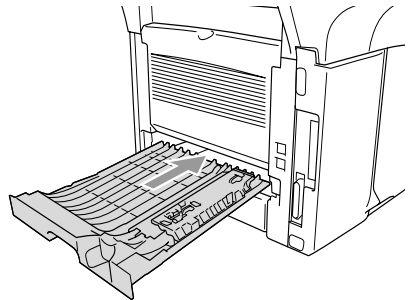
8 ドラムユニットのロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出します。

新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置き、つまった記録紙を取り出します。

9 ドラムユニットを元の位置にはめ込みます。

10 記録紙トレイを取り付けます。

11 フロントカバーを閉じます。

両面トレイに記録紙がつまったときは

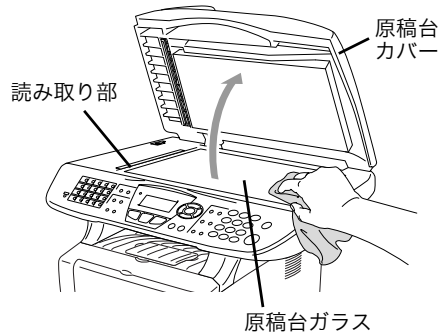
1 両面トレイを引き出します。

2 つまった記録紙を取り除きます。

3 両面トレイを挿入します。

補足

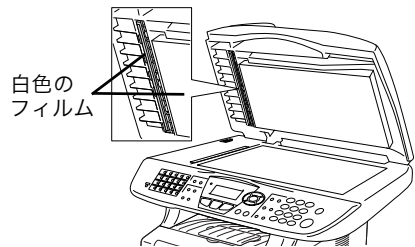
- 両面トレイから片面のみ印刷し終わった記録紙を取り除いた場合、紙づまりメッセージが表示されます。
- 記録紙サイズにあわせて両面印刷用記録紙ガイドが正しくセットされないと紙づまりが発生することがあります。また、記録紙の正しい印刷範囲に印刷されません。

定期メンテナンス

スキャナ（読み取り部）の清掃

いつもきれいな画質を得るためにスキャナの清掃を行ってください。スキャナが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。
送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナを清掃してください。

1 原稿台カバーを開きます。

2 柔らかい布にOAクリーナーを浸して、以下の部分をきれいに拭きます。

・原稿台ガラス
・読み取り部
・白色のフィルム　２箇所

3 原稿台カバーを閉じます。

補足

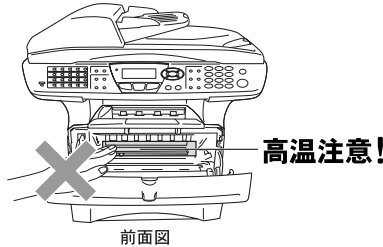
● 無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

注意

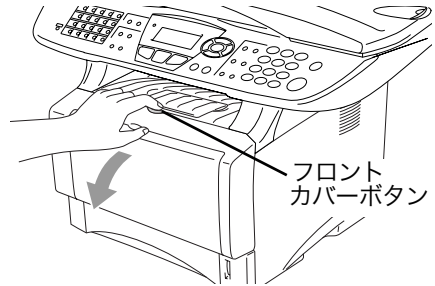
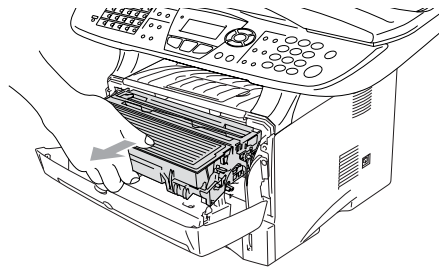
■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

スキャナウィンドウの清掃

■ 内部のお手入れをするときは、必ず電源コードをコンセントから抜き取ってから行ってください。

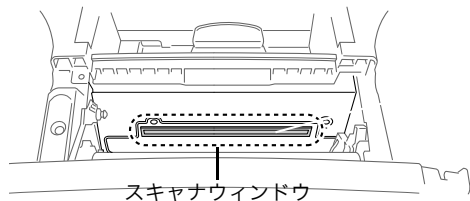
■ 本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機の上部カバーを開けたときは、下図の網かけされた部分には絶対に触れないでください。

前面図

■ スキャナウィンドウはアルコールを浸した布で拭かないでください。

1 本機の電源コードを抜きます。フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開きます。

2 ドラムユニットを手前に引き出します。

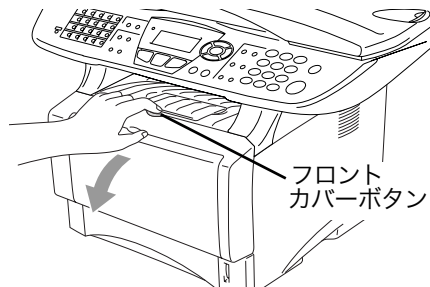
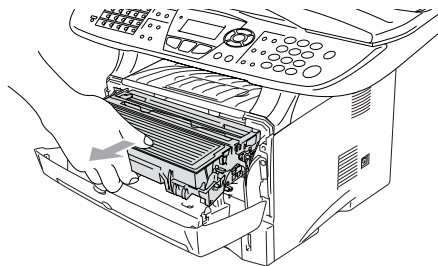
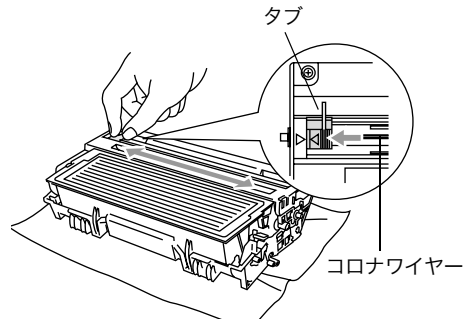
☞次ページへ続く

3 柔らかい乾いた布でスキャナウィンドウをきれいに拭きます。

スキャナウィンドウが汚れると、薄い印刷になります。

4 本機にドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉めます。

ドラムユニットのお手入れ

以下の操作でコロナワイヤーの清掃を行ってください。

1 本機の電源コードを抜きます。フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開きます。

2 ドラムユニットを手前に引き出します。

3 タブを左右に数回ゆっくりと滑らせてから、青色のタブを必ず元の位置（▲）に戻します。

4 本機にドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉めます。

ドラム寿命を確認する

ドラム寿命は、以下の操作で確認できます。

1 を押します。

液晶ディスプレイに２秒間、ドラム寿命が表示されます。

```
27.ドラム ジュミョウ

 ノコリ:100%
```

補足

- 「０％」と表示されるとドラムユニットの寿命です。印刷やコピー品質が低下しますので、早めに新しいドラムユニットに交換してください。
- ドラムユニットは消耗品で、定期的に交換する必要があります。
  実際のドラム寿命は温度、湿度、記録紙のタイプ、使用するトナー、印刷ジョブあたりのページ数など、多くの要因に影響されます。表示されたドラム寿命は目安とお考えください。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本機はトナーカートリッジの残量を検知し、残量が少なくなると液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
トナーが残り少なくなると、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰ ｷﾞﾚﾃﾞｽ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ

ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。液晶ディスプレイの表示に従って正しい順序でトナーカートリッジを交換してください。

補足

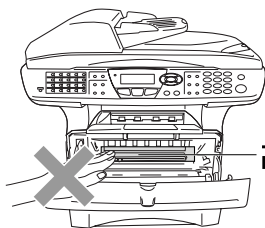
- トナーが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。「ﾏﾓﾅｸﾄﾅｰｷﾞﾚﾃﾞｽ」のメッセージが表示されてから約 500 ページを印刷した頃が交換の目安です。（A4 サイズ／印刷密度５％の場合）
トナーカートリッジを交換するタイミングに合わせて、本機も掃除されることをお勧めします。

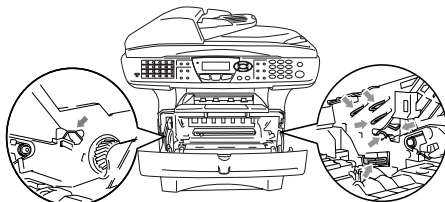
■ トナーカートリッジは、本機に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■ トナーカートリッジ及びドラムユニットは、最高の印刷品質を保証するように特別に調整されたカシオ純正品 (トナーカートリッジ：CP-B3TS、ドラムユニット：CP-B3DS) をご使用ください。純正品以外のトナーカートリッジ、ドラムユニットやリサイクルトナーを使用した場合、本機の保証が無効になります。

■ 使用済みのカシオ製トナーカートリッジとドラムユニットは地球環境保全と資源の有効活用のために無料で回収をしています。回収のお申し込み方法など詳しくは、新しい消耗品に同梱の案内書をご覧ください。
やむを得ず、使用済み消耗品を処分されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

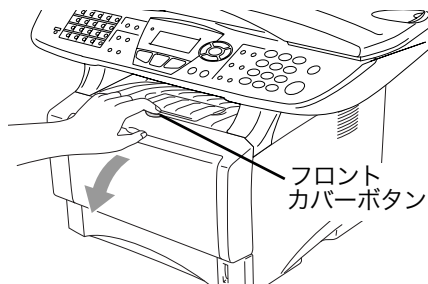
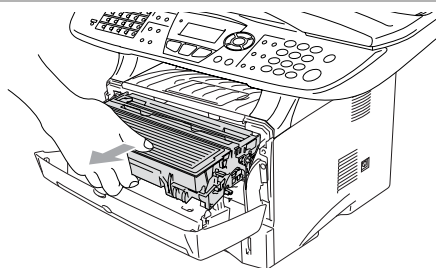
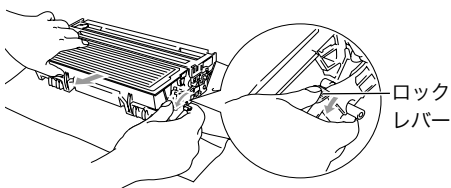
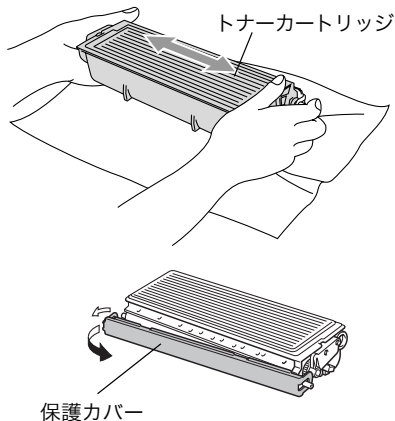
■ 消耗品を交換するときは、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いて行なってください。トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

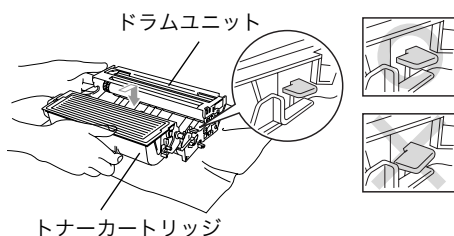
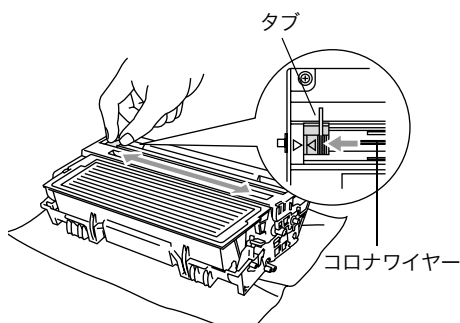
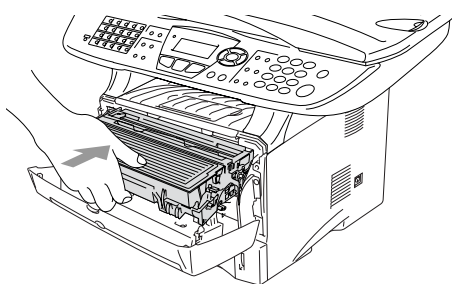
■ 本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機の上部カバーを開けたときは、下図の網かけされた部分には絶対に触れないでください。

前面図

■ 本機の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本機が破損することがあります。

トナーカートリッジ交換のしかた

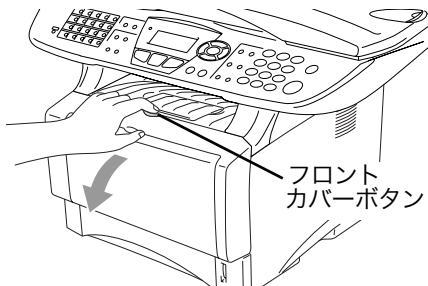
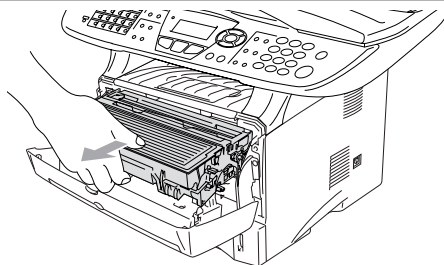
警告

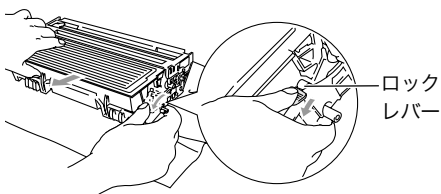
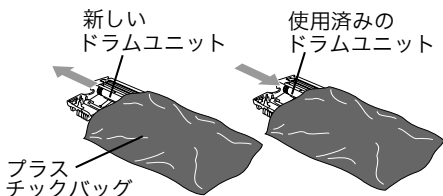
トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。
トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

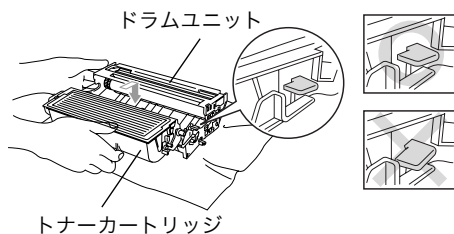
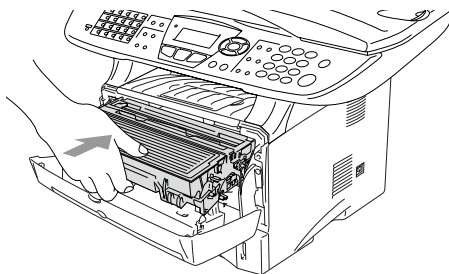
1 本機の電源コードを抜きます。フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開きます。

2 ドラムユニットを手前に引き出します。

3 ドラムユニットの青いロックレバーを押しながら、古いトナーカートリッジを取り出します。

4 新しいトナーカートリッジを開封して取り出し、トナーカートリッジを左右に5、6回ゆっくりと振ってから、黄色の保護カバーを取り除きます。

5 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに差し込みます。

このとき、青いロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

6 タブを左右に数回ゆっくりと滑らせてから、青色のタブを必ず元の位置（▲）に戻します。

7 本機にドラムユニットを取り付け、フロントカバーを閉めます。

ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換してください。

1 本機の電源コードを抜きます。フロントカバーボタンを押してフロントカバーを開きます。

2 ドラムユニットを手前に引き出します。

3 ドラムユニットの青いロックレバーを押しながら、トナーカートリッジを取り出します。

新聞紙など汚れてもよい紙などの上に置きます。

4 新しいドラムユニットを開封して取り出します。

5 トナーカートリッジを、新しいドラムユニットに取り付けます。

このとき、青いロックレバーが上に上がっていることを確認してください。

6 本機にドラムユニットを取り付けます。

7 ドラムカウンターをリセットします。

①操作パネルの (クリア/バック) を押します。

②(ア 1) を押すと、液晶ディスプレイに「ウケツケマシタ」と表示されます。

8 フロントカバーを閉めます。

- ドラムユニットを交換したときは、必ずドラムカウンターをリセットしてください。ドラムカウンターをリセットしないと「ドラム　コウカン　ジキデス」の表示が消えません。

注意

■ ドラムユニットは本機に取り付ける直前に開封してください。

■ 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■ ドラムユニットにはトナーが入っているので、取り扱いには注意してください。

■ ドラムユニットを交換した後は、本機をきれいに清掃してください。

■ トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■ スキャナウィンドウには触れないでください。

補足

● 液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換されることをお勧めします。

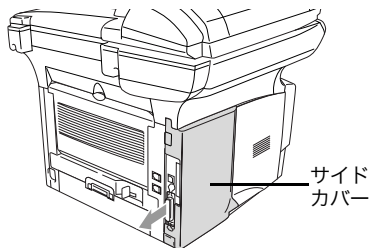
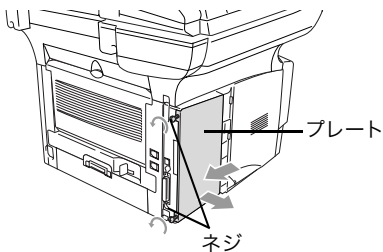
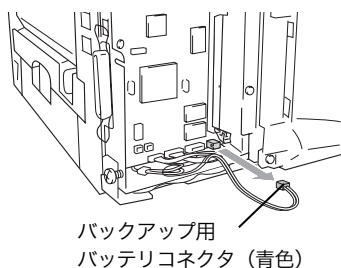
● 「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示されていなくても印刷品質が目立って低下した場合、ドラムユニットを交換することをお勧めします。

● ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本機も掃除されることをお勧めします。P. 212

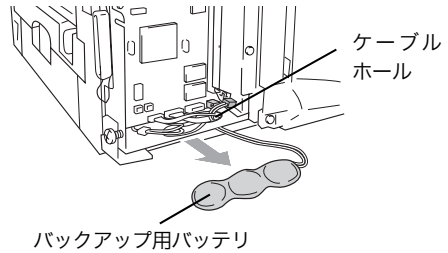
バックアップ用バッテリのリサイクルについて

・本機はニッケル水素電池を使用しています。
・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本機を廃棄される前に取り外してリサイクルにご協力ください。

バックアップ用バッテリの取り外し方

1 サイドカバーを取り外します。

2 プレートを固定している２本のネジをゆるめ、プレートを取り外します。

3 バックアップ用の青色のバッテリコネクタを引き抜きます。

☞次ページへ続く

バックアップ用バッテリを取り外します。

バッテリコネクタはケーブルホールを通して抜き取ってください。

補足

- 使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。
- リサイクル協力店のお問合せは、下記へお願いします。

ご家庭でご使用の場合

・有限責任中間法人 JBRC
（ホームページ：http://www.jbrc.com/）

・充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
※詳細は、電池工業会ホームページ：（http://www.baj.or.jp/）をご覧ください。

事務所でご使用の場合

・カシオリサイクル受付センター
（ホームページ：http://www.casio.co.jp/env/recycle/pc.html）

・問合せ先：有限責任中間法人 JBRC
（ホームページ：http://www.jbrc.com/）

注意

■ リサイクル時のご注意

・電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。

・外装カバー（皮膜・チューブなど）をはがさないでください。

・電池は分解しないでください。

11章

困ったときには

困ったときには

こんなときには

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。

●液晶ディスプレイにエラーが表示される。……P. 227

●トラブルの原因が分からない。……P. 239

●本機の詳しい仕様が知りたい。……P. 248

●用語が分からない。……P. 259

それでも解決しないときは

カシオテクノ・コールセンター

0570-033066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00 ～ 12:00　PM1:00 ～ 5:30

（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

※ 携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

※ 弊社は消耗品および補修用性能部品（修理部品）を、生産終了後も 5 年間保有しております。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに処置方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｱｲﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ	**ファクス信号に応答しません。** ポーリング先が応答しません。 ポーリング設定が間違っています。 パスワードが間違っています。	**相手先を確認してください。** ポーリングのパスワードを確認してください。 P. 143 P. 146
ｶﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**トナーがありません。**	**トナーカートリッジを交換してください。** P. 218
	トナーカートリッジが装着されていません。	**トナーカートリッジを装着してください。** 「かんたん設置ガイド」参照。
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**フロントカバーが完全に閉じていません。**	**フロントカバーを一度開け、再度閉じてください。**
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｷﾛｸｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	**機械内部で記録紙などがつまりました。**	**フロントカバーを開け、記録紙を取り除き、フロントカバーを閉じてください。**P. 206
ｿｳﾁ ｶｸﾆﾝ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦﾇｲﾃ ｺｰﾙｾﾝﾀｰﾏﾃﾞ ｺﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ	**本機に何らかの機械的な異常が発生しました。**	**カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 へ連絡してください。**
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ ｷﾛｸｼ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**記録紙がないか、正しくセットされていません。**	**記録紙を補給するか、正しくセットしてださい。**
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞｦ ｶｸﾆﾝ A4 ｻｲｽﾞ ﾉ ｷﾛｸｼｦ ｾｯﾄｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	**記録紙に A4 サイズ以外の記録紙がセットされています。**	**A4 サイズの記録紙をセットしてください。**
ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	**原稿送りが適正に行われませんでした。**	**原稿を取り除いて、停止ボタンを押してください。**
ｼﾂｵﾝｶﾞ ﾀｶｽｷﾞﾏｽ ｼﾂｵﾝｦ ｻｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	**室温が高くなっています。**	**室温を下げてお使いください。**

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

☞次ページへ続く

液晶ディスプレイ表示	原　因	処　置
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	電話回線の状態が悪いか、接続が誤っている可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 すべての通信で発生する。P. 239 特定の相手で発生する。 P. 244 P. 246
	相手が、ポーリングモードを設定していなかった可能性があります。	相手先のポーリング設定を確認してください。
ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムユニットの交換時期になりました。	ドラムユニットを交換してください。P. 220
ﾊﾅｼﾁｭｳ / ｵｳﾄｳﾅｼ	相手先が話し中か、応答がありませんでした。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 すべての通信で発生する。P. 239 ISDN 回線で発生する。 P. 242
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾖｳﾁｭｳ	本機のプリンタが、動作中です。	印刷操作が終了してから再度操作してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	メモリーがいっぱいです。	メモリー内部の記録を印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 P. 125 P. 149
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ	メモリーがいっぱいです。	停止ボタンを押し、コピーを中止してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ｺﾋﾟｰ:ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｽ ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ	メモリーがいっぱいです。	コピーする原稿を分けてコピーするか、停止ボタンを押し、コピーを中止してください。P. 178
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ｿｳｼﾝ:ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ ﾄﾘｹｼ:ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ	メモリーがいっぱいです。	スタートボタンを押して、読み込んだ分だけ送信するか、停止ボタンを押してファクスを中止してください。
ｹｰﾌﾞﾙｶｸﾆﾝ ｹｰﾌﾞﾙｦ ｾﾂｿﾞｸｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ	パソコンへの接続が正しく行われていません。	パソコンへの接続を確認してください。 「かんたん設置ガイド」参照。

Q&A

本機をご使用中に起こる可能性のある問題の解決方法を説明しています。何か問題が起こったら、関連する項目を見つけて、適切な処理を行ってください。

項　目	問　題	処　置
本機のセットアップ	本機が印刷をしない。	本機の電源が入っていますか。
		トナーカートリッジとドラムユニットが適切に取り付けられていますか。 P. 218 P. 220
		プリンタケーブルが正しく接続されていますか。
スキャン	スキャン中に TWAIN エラーが表示される。	TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。 Presto!® PageManager® で [ファイル] - [TWAIN 対応機器の選択] の選択をして、TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

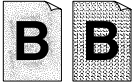
☞次ページへ続く

項　目	問　題	処　　置
ソフトウェア	「LPT1：への書き込みエラー」か「BRMFC：への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。	本機の電源は入っていますか。 プリンタケーブルをパソコンに直接接続していますか。プリンタケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM ドライブ、スイッチボックス等）を経由して接続しないでください。 本機がエラーメッセージを表示していませんか。 パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがパソコン起動時に自動で実行する状態になっていませんか。（Zip ドライブ、外付 CD-ROM ドライブのドライバ等） 原因となりそうな領域をチェックしてください。（win.ini ファイルの Load=、Run ＝コマンド行とスタートアップグループなど） パソコンの製造元に、パソコンの BIOS のパラレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。（パラレルポートモード―ECP）
	「MFC 接続エラー」か「CP-B300F はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	
	ＢＲＭＦＣ： ＢＲＵＳＢ： ＵＳＢＸＸＸＸＸ： への書き込みエラーが表示される。	液晶ディスプレイでトナーギレのメッセージが表示されているか確認してください。
	CP-B300F ドライバをインストール後、本機を接続せずにパソコンを起動すると、起動するごとに「MFC 接続エラー」が表示される。	このメッセージを無視して [キャンセル] を選択してください。 このメッセージを表示させないようにするには、添付 CD-ROM の「¥tool¥warnOff.REG」ファイルをダブルクリックしてください。ただし、この操作を行うと、本機の操作パネルの ボタンは機能しなくなります。 元に戻すには、添付 CD-ROM の「¥tool¥warnOn.REG」ファイルをダブルクリックしてください。

項　目	問　題	処　置
印刷とファクスの受信	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーをしてみてください。コピーが正常な場合、電話線に対する静電気や妨害によって接続状態が悪化している可能性があります。コピーが正常でない場合、スキャナ部分を清掃します。それでも問題が解決しない場合は、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 にご連絡ください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	本機のコロナワイヤーが汚れているか、送信側のファクススキャナが汚れている可能性があります。コロナワイヤーを清掃する P. 214 か、送信側の機器に問題がないことを確認するためにコピーをとってみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。それでも問題が解決しない場合は、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 にご連絡ください。
	本機が声をファクス信号音として誤って検出してしまう。	本機の「ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ」が「On」に設定されていると、音に対して敏感になります。本機は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。外付電話をお使いの場合は、本機の「停止 / 終了」ボタンを押します。「ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ」を「Off」にしてこの問題が解決できないか試してください。P. 132
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	通常、この現象は回線の状況が悪いことが原因です。相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて 2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小の設定がしてないときに大きなサイズのファクスを受信しています。自動縮小を「On」にしてください。

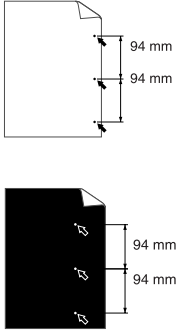
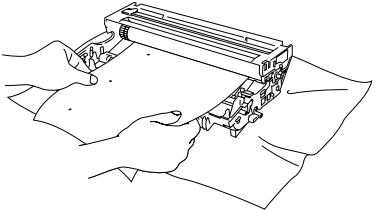
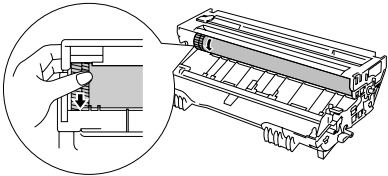
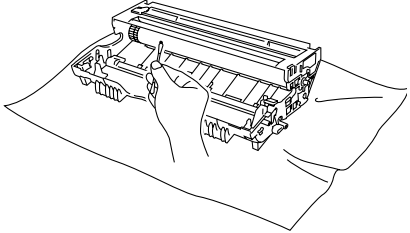
☞次ページへ続く

項　目	問　題	処　　置
電話回線または接続	ダイヤルできない。	電話回線の種別を調べます。P. 42 手動で回線種別を設定します。P. 43 すべての電話機コードの接続を確認し、電源コードの接続を確認します。
	受信時に本機が応答しない。	本機が正しい受信モードに設定されていることを確認します。発信音を確認します。可能なら本機に電話して応答が聞こえることを確認します。それでも応答しない場合は、電話機コードの接続を確認します。本機を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	外付電話機でダイヤル音が聞こえない。	本機と壁の電話機コンセントと電話機コードの接続を確認します。外付電話機が本機の外付電話（EXT）端子に接続されていることを確認します。
ファクスの送信	送信品質が低い。	解像度をファインか、スーパーファインに変更します。P. 113 本機のスキャナが汚れている可能性があるので、きれいにします。P. 212
	特定の相手にファクスが送信できない。	安心通信モードの「コウソク」を「ヒョウジュン」に設定してください。 「ヒョウジュン」でも送信できない場合は「アンシン」に設定してください。 P. 246
	送信確認レポートで「ケッカ：ＮＧ」と印刷される。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみます。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	受信側で図が明瞭でない。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信します。また、本機のスキャナが汚れている可能性があるので、きれいにします。P. 212
	受信側で受信したファクスに縦の縞が現れる。	本機のスキャナが汚れているか、受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。スキャナをきれいにしたのち P. 212 、コピーをとって、使用している機器が問題の原因ではないことを確認します。

項　目	問　題	処　　置
ファクスの受信	特定の相手からのみファクスが受信できない。	安心通信モードを「ヒョウジュン」に設定してください。 「ヒョウジュン」でも受信できない場合は「アンシン」に設定してください。 P. 246
ファクスの送受信	IP 網を使ってファクスの送受信ができない。	安心通信モードを「ヒョウジュン」に設定してください。 「ヒョウジュン」でも送受信できない場合は「アンシン」に設定してください。 P. 246 送信の場合にそれでもうまく送信できないときは、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けて送信してください。
受信通話の処理	自動切替モードで呼び出し音が鳴る。	本機は着信がファクスでないことが分かると、電話に応答するように知らせます。外付電話機で応答します。
	ファクスを本機に正常に転送できない。	外付電話機で応答した場合は、本機のリモート起動番号（初期設定は「#51」）を押します。本機が受信したら外付電話機の受話器を置きます。
一般的な印刷の問題	本機で印刷できない。	次の項目を確認します。 本機が接続されているか確認します。 トナーカートリッジとドラムユニットが適切に取り付けられているか確認します。 インタフェースケーブルが本機とパソコン間に確実に接続されているか確認します。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認します。 P. 227
	最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで文字が乱れる。	プリンタの入力バッファがいっぱいになっているという信号をパソコンが認識していません。プリンタケーブルが正しく接続されていることを確認します。
	文書のすべてのページが印刷されない。または、「メモリーガ　イッパイデス」というエラーメッセージが表示される。	プリンタの解像度を下げます。文書を簡単にしてもう一度印刷します。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らします。

☞次ページへ続く

項　目	問　題	処　　置
Windows® で設定した印刷の問題	アプリケーションソフトウェアから印刷できない。	Windows® のプリンタドライバがインストールされていて、それをアプリケーションソフトウェアで選択していることを確認します。
	本機に給紙できない。	液晶ディスプレイに「キロクシ　カクニン」と表示されているかどうか確認します。表示されている場合、記録紙トレイの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。記録紙がないときは、記録紙トレイに記録紙を補給し Fax を押します。記録紙トレイの記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認します。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにします。記録紙を取り出し、裏返して、記録紙トレイに戻すとまっすぐにできます。記録紙トレイの用紙の枚数を減らしてもう一度試します。
	封筒の給紙方法。	多目的トレイから封筒を給紙し、背面排紙トレイから排紙することができます。アプリケーションソフトウェアで、使用する封筒サイズを印刷するように設定されていなければなりません。これは、通常ソフトウェアの［ページ設定］や［文書設定］メニューで設定できます。アプリケーションのマニュアルを参照してください。P. 20
	使用できる記録紙サイズ。	普通紙、封筒、OHP フィルムを使用できます。使用できる記録紙について参照してください。P. 36
	つまった紙の除去方法。	P. 206 を参照してください。
コピー品質の問題	コピーに縦の縞が現れる。	読み取り部等が汚れている可能性があります。読み取り部と白色のフィルムをきれいにします。P. 212 コロナワイヤーが汚れている可能性があります。コロナワイヤーをきれいにします。P. 214

項　目	問　題	処　置
印刷品質の問題	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	コントラストを設定して印刷条件を調整します。お買い上げ時は中央位置に設定されています。P. 181
	印刷結果がかすれる。	湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。 トナー節約モードに設定されているときは、「Off」にしてください。P. 84
	印刷されたページに白い線が現れる。	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、この問題を解決できる場合があります。P. 213 を参照してください。それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。P. 220
	印刷されたページが汚れていたり、垂直の線が現れる。	本機の内部とドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。P. 214 コロナワイヤーのタブが元の位置にあることを確認します。清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。スキャナ（読み取り部）の清掃を行うと解決できる場合があります。P. 212 を参照してください。
	印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域に白い部分が現れる。	設定に合った記録紙を使用していることを確認します。表面が粗い場合や用紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が現れ、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。P. 220
	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。	スキャナウィンドウの清掃をします。P. 213 仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。P. 36 これらの対策後もトナーが飛び散り、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。P. 220

目次・本書の使い方
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

☞ 次ページへ続く

項　目	問　題	処　　置
印刷品質の問題	印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。 94 mm 94 mm 94 mm 94 mm	本機が長期間使用されていないと跡が現れることがあります。複数のページをコピーすると、跡は自然に消えることがあります。 ドラムの表面に傷が付いたり、過度に光にさらされて損傷している可能性があります。その場合はドラムユニットを新しいものに交換します。P. 220 ドラムに汚れが付いているのが原因の場合があります。以下の手順でドラムユニットを清掃してください。 ①印刷結果の黒点・白点を目安にして問題の場所を探します。 ②ドラムユニットの歯車を回して感光体ドラムを回転させます。 ③感光体ドラムの黒点・白点が印刷される場所を乾いたやわらかい布で汚れをふき取ります。 【ご注意】 感光体ドラムに傷を付けないよう注意してください。カッターやボールペンなど先のとがったものを当てないでください。

項　目	問　題	処　　置
印刷品質の問題	ページ全体が黒く印刷される。	コロナワイヤーを清掃してください。P. 214 また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでください。清掃後も印刷ページが黒くなり、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。
	ページに何も印刷されない。	ステイタスランプが赤で点灯してトナー切れを表していないか確認します。 スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っていないことを確認します。
	印刷されたページの中心やどちらかの端に汚れが現れる。	湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。本機が平らな面に設置されていることを確認します。トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを取り外します。トナーカートリッジとドラムユニットを左右に振ります。スキャナウィンドウを柔らかいきれいな布で拭き取ると、汚れたページの問題を解決できることがあります。P. 212 を参照してください。 清掃後も汚れたページが発生し、液晶ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 P. 220
	背景がグレイになる。	仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。 本機が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。P. 218 P. 220
	ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。	印刷条件を調整します。仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。粗い表面や厚い記録紙が原因になることがあります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。

項　目	問　題	処　　置
印刷品質の問題	斜めに印刷される。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。 多目的トレイの記録紙ガイドがセットした用紙に正しく合わされているか確認してください。
	カールしたり波打って印刷される。	仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。 高温・高湿の場所に保管されていた記録紙を使用すると、カールしたり波打って印刷されます。
	しわが寄ったり折れ曲がって印刷される。	記録紙が正しくセットされているか確認してください。 多目的トレイと背面排紙トレイを使って印刷してみてください。P. 18 記録紙を 180 度回転させてセットし直して印刷してください。
	印字面に触れると汚れる。	記録紙の設定に対して厚い記録紙をセットしています。P. 77
	記録紙がまるまって排出される。	記録紙の設定に対して薄い記録紙をセットしています。P. 77

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
原稿	原稿が送り込まれていかない。(ADF（自動原稿送り装置）使用時)	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入します。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用します。P. 36
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスやコピーをします。P. 97 P. 177
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。P. 207
	原稿が斜めになってしまう。(ADF（自動原稿送り装置）使用時)	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせます。P. 95
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。P. 207
送信および受信	Fax を押しても送信または受信しない。	電話回線が正しく接続されていますか。	電話機コードを正しく接続してください。「かんたん設置ガイド」を参照してください。
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		外付電話機が通話中ではありませんか。	外付電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。P. 44
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。(ISDN 回線の場合)	ターミナルアダプタの設定を確認します。

☞次ページへ続く

こんなときは		ここをチェック	対処方法
送信および受信	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときはスキャナの清掃をしてください。P. 212
		相手先に異常がありませんか。	別のファクスから相手先に送信してみます。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。P. 113
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホン II」のサービスに変更し、「キャッチホン II」の呼び出しベル回数を 0 回に設定してください。「キャッチホン II」の詳しい内容は NTT の 166 番にお尋ねください。
		並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。	並列接続はしないようにします。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機のスキャナが汚れているか、または受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信します。P. 212 それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。
受信	リモート起動できない。	リモート起動の設定は「On」になっていますか。	リモート起動設定を「On」にします。P. 135
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく設定します。P. 135
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	**メモリー内部のデータを印刷するか、メモリーの内容を消去してください。**P. 125 P. 149
受信	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。かんたん設置ガイド参照。
		記録紙がつまっていませんか。	本機内部を確認します。P. 208
		記録紙がなくなっていませんか。	記録紙トレイを確認します。かんたん設置ガイド参照。

こんなときは		ここをチェック	対処方法
受信	受信しても、記録紙が出てこない。	フロントカバーは確実に閉まっていますか。	リリースレバーを押し、もう一度閉め直します。
		トナーの残量は十分ですか。	液晶ディスプレイを確認します。
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長いことが考えられます。	自動縮小の設定を「On」にします。P. 136
印刷	印刷ページの端や中央がかすむ。	トナーカートリッジを交換してください。	トナーカートリッジを交換 P. 218 してもまだ印刷の質に問題がある場合、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	トナーカートリッジを交換してください。	それでも改善されない場合、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 にご連絡ください。
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	並列接続していませんか。	並列接続はおやめください。
		本機の設定が正しくされていますか。	本機の設定内容を確認します。P. 67
		NTT のナンバー･ディスプレイの契約をしていますか？	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしてください。
*1 ISDN回線	電話を受けても本機のベルが鳴らない（電話をかけた側は、呼び出し続けている）。	電話回線が正しく接続されているか確認します。	確実に本機に接続します。かんたん設置ガイド参照。
		電源が入っているか確認します。	電源コードを接続します。
		ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
	1 ～ 2 回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除します。

*1 ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

☞ 次ページへ続く

こんなときは		ここをチェック	対処方法
*1 ISDN回線	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	本機を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
			契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
			ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合 ・ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報を登録してください。 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	相手側ターミナルアダプタの設定を確認します。	相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。

*1 ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
*1 ISDN回線	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 へご連絡ください。
	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない。	本機を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認します。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。	回線に異常がなければ、カシオテクノ・コールセンター 0570-033066 へご連絡ください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。

*1 ターミナルアダプタとダイヤルアップルータの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

<table>
<tr><th colspan="2">こんなときは</th><th>ここをチェック</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ADSL環境</td><td>ADSL にする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。</td><td>ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。</td><td>ADSL 環境のスプリッタを交換すると改善する場合があります。
推奨品：NTT 東日本 / 西日本製</td></tr>
<tr><td>通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。</td><td rowspan="2">他の機器と並列接続していませんか。</td><td rowspan="2">並列接続をしないでください。
ラインセパレータを使用すると、改善する場合があります。
ラインセパレータは、パソコンショップでお買い求めになれます。</td></tr>
<tr><td>ファクス通信でエラー発生が多くなった。</td></tr>
<tr><td>特定の相手との通信ができない。</td><td>IP フォンを使用した通信ではありませんか。
IP 網を使用した専用線ではありませんか。</td><td>ご利用されているプロバイダへファクス通信が保障されていることを確認してください。
スーパー G3 の場合で、通信品質が保証されている場合は、安心通信モードを「ヒョウジュン」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。</td></tr>
<tr><td>PBX</td><td>着信ベルは鳴るがファクスを受信しない。</td><td>着信ベルの鳴動パターンが単独回線の場合と違いませんか。</td><td>本機を PBX の内線電話として使用している場合は、「特別回線対応」で「PBX」を選択してください。P. 245</td></tr>
</table>

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

を押します。

2 で回線を選択します。

「イッパン」「ISDN」「PBX」の中から選択します。

3 Set を押します。

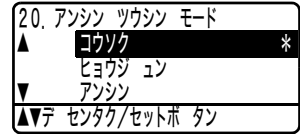
4

を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は、「イッパン」に設定されています。
- 「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度「On」にするときは、特別回線対応の設定を「ｲｯﾊﾟﾝ」にしてください。
- ADSL 環境では「ｲｯﾊﾟﾝ」に設定してください。

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。「コウソク」→「ヒョウジュン」→「アンシン」の順で送受信時間は遅くなりますが、「ヒョウジュン」または「アンシン」に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。「ヒョウジュン」→「アンシン」の順にお試しください。

を押します。

で回線を選択します。

「コウソク」「ヒョウジュン」「アンシン」の中から選択します。

Set を押します。

停止／終了 を押して操作は終了です。

補足

- お買い上げ時は、「コウソク」に設定されています。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを４つ）付けておかけください。この場合、通信料金は NTT などのお客様がご契約になっている会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - ・通信回線の品質
  - ・信号レベル
  - ・通信相手機の影響
  - ・屋内線の配線や接続している機器の影響

  本機側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

12章

仕様・お問い合わせ窓口・保証

本機の仕様

ファクシミリ

互換性	ITU-T グループ 3（スーパー G3）
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG
通信速度	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動フォールバック付き）
直流抵抗値	209Ω
原稿サイズ幅	最大：216mm（ADF（自動原稿送り装置）、原稿台ガラス） 最小：148mm（ADF（自動原稿送り装置））
原稿サイズ長さ	最大：356mm（ADF（自動原稿送り装置）、原稿台ガラス） 最小：148mm（ADF（自動原稿送り装置））
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	約 250 枚（64g/m^2）
記録紙サイズ	A4（幅 210mmx 長さ 297mm）
電送時間	2 秒台 *1
グレースケール	64 階調
液晶ディスプレイ表示	22 桁× 5 行
読み取り方式	CCD による平面走査
代行受信枚数	最大 500 枚（8MB）*2
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査：3.85 本 /mm（標準） 7.7 本 /mm（ファイン / 写真） 15.4 本 /mm（S. ファイン）
ポーリングタイプ	標準 / 機密 / 時間指定
適用回線	一般電話回線

*1: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット× 3.85 本 /mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。
*2: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.35 本 /mm）で蓄積した場合（JBIG 圧縮時）

プリンタ・スキャナ

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Windows® 95/98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT® 4.0
インターフェース	IEEE1284 準拠パラレルインターフェース（標準） USB2.0 インターフェース（標準） LAN I/F ボード（オプション）
印刷方式	半導体レーザー＋乾式電子写真方式
印刷解像度	2400 × 600 dpi
印刷速度	片面印刷：18 枚 / 分 両面印刷：8.5 面（ページ）/ 分

電源と使用環境

使用環境	温度：10 ～ 32.5 ℃ 湿度：20 ～ 80%（結露なきこと）
電源	AC100 V ± 10V　　50/60Hz
消費電力）*3	待機時：75Wh 以下（LAN I/F ボード未装着時） ピーク時：870Wh 以下（LAN I/F ボード装着時） スリープ時：14Wh 以下（LAN I/F ボード未装着時）*4
稼働音	待機時：30dB 以下　　動作時：53dB 以下
メモリー容量	32MB
外形寸法	532（横幅）× 444（奥行き）× 469（高さ）mm （突起部を除く）
質量	約 18.1kg

*3: 電源スイッチが Off でも電源プラグがコンセントに接続されているときは、1W 以下の電力が消費されます。消費電力を 0W にするためには、電源スイッチで本体の電源を切り , 電源プラグをコンセントから抜いてください。
*4: スリープ On にした状態です。

● 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主な仕様

パソコン環境（Windows®）

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。また当社ホームページ（http://www.casio.co.jp/ppr/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/ メモリー

- Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional, Windows NT® 4.0 (SP6 以降)
  Pentium® II プロセッサ (Pentium® 互換 CPU 含む) 以上 /64MB (推奨 128MB) 以上
- Windows® XP
  Pentium® II プロセッサ 300MHz (Pentium® 互換 CPU 含む) 以上 /128MB（推奨 256MB）以上

ディスク容量

270MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェース

USB 2.0
パラレル
ネットワーク（10Base-T）/（100Base-TX）

補足

- USB ケーブル
  USB ケーブルは、USB1.1 または USB2.0 ツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。
  お使いのパソコンが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合は、Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルをお使いください。(Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルには認証ロゴがはいっています)
  弊社オプション品の USB ケーブル CP-CAUSB のご使用を推奨します。
- プリンタケーブル
  プリンタケーブルは、IEEE1284 に準拠した双方向通信対応のケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブル CP-CA554（DOS/V パソコン用）のご使用を推奨します。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB 接続は、次のパソコンに対応しています。
  - ・Windows® 98/98SE/Me/2000/XP のプレインストールモデル
  - ・以下のアップグレードモデル
    Windows® 98/98SE → Windows® Me/2000/XP
    Windows® Me → Windows® 2000/XP
    Windows® 2000 → Windows® XP
- Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0 を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

お問い合わせ窓口

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った・・・というときは、お問い合わせ窓口へご相談ください。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください

・ ご氏名
・ ご連絡先の電話番号
・ 製品の機種名
・ 製品のシリアル No.
・ 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
・ 機器構成（プリンタ切り替え機電話回線・ネットワーク環境など）
・ 現在どういう状態か
・ どのような操作を行なったか
・ プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合
・ 印字サンプル
・ 設定内容リスト

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。
http://www.casio.co.jp/ppr/

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター

TEL 03-5334-4557

受付時間は AM10:00 ～ 11:55、PM1:00 ～ 5:00。
土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の故障や修理と、消耗品に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター

0570-033066

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00 ～ 12:00　PM1:00 ～ 5:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）

※ 携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

※ 弊社は消耗品および補修用性能部品（修理部品）を、生産終了後も 5 年間保有しております。

本書の使い方・目次 各部の名称とはたらき ご使用前の準備 ご使用前の基本設定 ファクス送信 ファクス受信 ファクス／電話の応用機能 レポート・リスト コピー オプション 日常のお手入れ 困ったときには 仕様・用語集・索引

保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① 製品に同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいいたします。

② カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術（メカトロニクス）および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。

(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。

(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。

(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。

(5) ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。

(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。

(7)「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項（お買い上げ日など）の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

(8)用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

・無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
・修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
・弊社は消耗品および補修用性能部品（修理用部品）を、生産終了後５年間保有しています。

保守契約制度がありますので、カシオテクノ・コールセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口として カシオテクノ・コールセンターをご利用ください。P. 253

使用済みの消耗品の回収について

注意

使用済みのドラムユニット、トナーカートリッジは焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用していますので、火災・やけど・ガスの発生など、思わぬ事故の原因になる事があります。

使用済み消耗品の無償回収について

カシオ計算機は、お客様でご使用済みとなりましたドラムユニットとトナーカートリッジを、地球環境保全と資源の有効活用のために無料にて回収をしております。
弊社の環境保全活動にご協力賜りたく、ご案内申し上げます。

回収のお申し込み方法

ご使用済みのカシオ製ドラムユニットとトナーカートリッジ回収のご用命は、ドラムユニットとトナーカートリッジに同梱の「消耗品回収申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお送りいただくか、弊社ホームページにてお申し込みください。
後日、宅配業者が回収にお伺いいたします。（費用は弊社にて負担させていただきます）
回収申込ファクシミリ番号、回収申込ホームページなど、詳細は新しい消耗品に同梱の案内書をご覧ください。

お願い

お手数ですが、ご使用済みの消耗品は、新しい消耗品が入っていた梱包箱・ポリ袋・緩衝材を再使用し、元通りに梱包して宅配業者にお渡しください。
1個でも回収にお伺いしますが、環境への負荷を極力低減するため、3～5個をまとめて、ガムテープなどでしばってください。

やむを得ず、使用済み消耗品を処分されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください

使用済みパソコン・プリンタ・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機はご使用済みとなりました事業系パソコン、プリンタおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行っております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/env/recycle/pc.html

用語集

あ

● アイコン
画面上で、ファイル、フォルダ、または プログラムなどを示す絵文字です。

● アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接 触って操作するソフトウェアです。

● インターフェース
パソコンと周辺装置のように、機能や条 件の違うものの間で、データをやりとり するためのハードウェアまたはソフト ウェアです。

● ウィザード
Windows®95/98/Me/2000/XP, Windows NT®4.0 などで、インストー ル作業を半自動化してくれる機能です。

● 液晶ディスプレイ
本機の液晶表示パネルです。

● オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて 変更できる機能です。

か

● 回線種別
電話に使われているダイヤリングの方法 です。発生したパルスを数えて検出する ダイヤル式と、周波数を検出して判別す るプッシュ式があります。

● 機密ポーリング
受信側のファクス操作で暗証番号を入れ ることによって、送信側のファクスに セットしてある原稿を暗証番号が合って いるときにだけ自動的に送信させる機能 です。

● キャリアシート
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書 き、破れた原稿、反っている原稿などの 状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送 信やコピーするときに使います。本機で 使用するときは、原稿台ガラス面をお使 いください。

● 原稿台ガラス
コピーやファクスのときに原稿を置く ところです。ここから原稿を読み取り ます。

● 公衆回線
一般の電話回線です。

さ

● 順次同報送信
同じ原稿を複数の送信先を設定して一 度に送信させる機能です。

● 親切受信
ファクスを着信したときに間違えて外 付電話を取ってしまったときでも自動 的に本機がファクス受信を行う機能で す。

● スキャン E メール
専用キーを押すだけで読み取って原稿 を自動的に E メールに添付する機能で す。

● スタックコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合 に、1 枚目を希望枚数分、2 枚目を希望 枚数分のようにコピーしていくことで す。

● スプリッタ
ADSL という通信サービスを利用する ときに必要な機器のひとつ。音声信号 とデータ信号を分けたり重ねたりする 機能を備えています。

● ソートコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合 に、原稿 1 部すべてコピーした後、再 度 1 ページ目からコピーし、希望部数 分コピーしていくことです。

た

● タスクバー
画面の上にあるプログラムの起動や フォルダの表示のためのボタンを配置 してある場所のことです。

● デバイス
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 電話呼び出し機能
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● トナー
炭素を主成分とした粉末。これを紙に転写し、定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● 取りまとめ送信
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● ナンバー・ディスプレイサービス
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。
ご利用になるには別途NTTへのお申し込みが必要です。

は

● パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。パソコンと本機を接続します。

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタケーブル
本機とパソコンを接続するケーブルです。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● ポスター
1 枚の原稿を 9 分割して拡大し、それぞれを 9 枚の記録紙にコピーします。

ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

ら

● リアルタイム送信
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモート起動
本機に接続された外付電話機から本機を操作する機能です。

● リモートセットアップ
本機に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）
パソコンやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

● 2 in1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 3 極 -2 極変換アダプタ
電源コードでアース線つき（3 極コード）のものを 2 極のコンセントに差し込むときに使うアダプタです。

● 4 in 1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● ADSL
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的に印刷したり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

● CP-B300F ドライバ
本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などを持っています。

● CSV 形式
Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● IP フォン
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN
NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの 1 回線をパソコンと電話など同時に 2 回線分使うことができます。

● OCR 機能
画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PC/AT 互換機
IBM社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● PC-FAX
パソコンのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● Presto!® PageManager®
種類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● TWAIN
イメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards（vcf 形式）
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA
Windows Imaging Acquisition の略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● Windows® 95/98/98SE/Me/2000/XP
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）、98SE は 99 年、XP は 01 年に発売されました。

● Windows NT®
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

索　引

数字

A

C

I

L

N

Q

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

ね

は

ひ

ふ

ほ

め

も

よ

り

本書の使い方・目次
各部の名称とはたらき
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス／電話の応用機能
レポート・リスト
コピー
オプション
日常のお手入れ
困ったときには
仕様・用語集・索引

わ

〈キリトリ線〉

リモート　アクセス

暗証番号

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1.プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2.ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4.次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5.90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
電話呼び出し、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※1）
	電話呼び出し	953（※1）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号+##
メモリー受信の設定	ON	956
	OFF	957
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971

③

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了		90

※1：呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

※2：「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージ を受信していません。

④

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

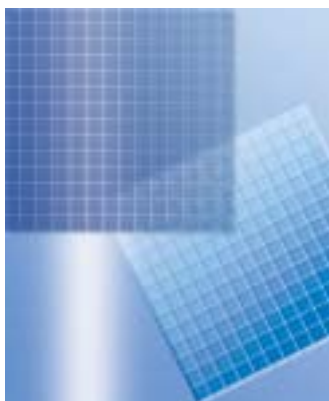
〒151-8543　東京都渋谷区本町１－６－２
電話 03-5334-4552

東京地区 電話 03-5334-4550
西日本地区 電話 06-6243-2100
中部地区 電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区 電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区 電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区 電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区 電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区 電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター 電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

取扱説明書（ファクス＆コピー編）
2004年12月22日　第2版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

CASIO®

SPEEDIA

CP-B300F

取扱説明書（ファクス&コピー編）

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

T-817PA
MA0412-B